

厚生労働科学研究費補助金
政策科学総合研究事業（統計情報総合研究事業）

医療行為にかかわる分類の国際比較と
その改善や利用価値の向上に資する研究

平成 28 年度～平成 30 年度 総合研究報告書

研究代表者 川瀬 弘一

平成 31（2019）年 3 月

目 次

I. 総合研究報告	
「医療行為にかかわる分類の国際比較とその改善や利用価値の 向上に資する研究」	
川瀬弘一	2
（資料 A） K コード外保連手術コード対応表	14
（資料 B） K 番号 STEM7 対応表 QA 及び修正	73
（資料 C） ICHI における Extension codes の概要と日本語対訳	86
（資料 D） ICHI Granularity の概要と日本語対訳	111
II. 研究成果の刊行に関する一覧表	120

厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（統計情報総合研究事業））
（総合）研究報告書

医療行為にかかわる分類の国際比較とその改善や利用価値の向上に資する研究

研究代表者 川瀬 弘一 聖マリアンナ医科大学医学部教授

研究要旨：WHO は国際統計分類（WHO-FIC）の中心分類として、国際疾病分類（ICD）と国際生活機能分類（ICF）、保健・医療関連行為に関する国際分類（ICHI）を設けている。ICHI は現在開発中で、暫定版として ICHI Beta-2 2018 版を公表しており、もう間もなく完成する。ICHI が WHO によって承認されると国際統計報告、診療報酬体系等を含め、幅広く影響を及ぼす可能性があり、ICHI 開発の情報収集・分析、国内意見の集約、ICHI 開発に対する体制作りが重要である。本研究は ICHI の動向を明らかにするとともに、ICHI コードを国内の医療行為にかかわる分類 K コードと STEM7 と比較検討した。ICHI には国内の医療行為にかかわる分類にはない Extension Code を用いることで、保健・医療関連行為の分類を精緻化することが可能である。とても便利なコードであるが理解が困難である。その具体例を提示し、「Draft ICHI Guidelines for users」や「ICHI Platform User Guide」などの翻訳をおこなった。これにより ICHI 承認後の国内対応が円滑になることが期待できる。

研究分担者

岩中 督・東京大学医学部附属病院 名誉教授

波多野賢二・国立精神・神経医療研究センター 室長

高橋長裕・公益財団法人ちば県民保健予防財団総合健診センター 顧問

荒井康夫・北里大学病院 課長

療行為にかかわる分類の国際比較に関する研究」（大井班）で、外科系学会社会保険委員会連合（以下、外保連）で作成している手術試案の分類コード（以下、STEM7）は、ICHI における分類コード（以下、ICHI コード）と類似していることが明らかになった（学会発表 2）。

本研究の目的は、国内の医療行為分類と ICHI コードをマッピングすることで、ICHI コードを理解し、国内意見を ICHI 開発に提案し、情報収集・分析、ICHI 暫定版の検証、国内意見の集約、ICHI に対する国内体制整備などを行うことである。

ICHI が WHO によって承認されると、国際統計報告、診療報酬体系等を含め、幅広く影響を及ぼす可能性があり、ICHI への対応は急務である。

A. 研究目的

WHO は国際統計分類（WHO-FIC）の中心分類として、国際疾病分類（ICD）と国際生活機能分類（ICF）、保健・医療関連行為に関する国際分類（ICHI）を設けている。ICD、ICF は WHO によって承認され各国に使用の勧告がなされているが、ICHI は現在開発中である。

平成 27 年度厚生労働科学特別研究の「医

B. 研究方法

本研究では、研究目的を達成するために以下の各研究を行うこととした。

1) ICHI の動向

平成 28 年度からの ICHI の動向について WHO-FIC ネットワークと緊密に連携する ICHI Task Force Meeting の活動、および今後の予定について記述する。

2) K コード、STEM7 と ICHI コードの基本構造

それぞれのコードの基本構造の違いについて具体例を提示しながら比較検討する。

3) Extension Code

ICHI コードは Stem code に Extension Code を連結することで、医療行為の分類を精緻化することが可能であり、とても便利なコードである。Extension Code の使用例を具体的に提示する。

4) 診療報酬手術コード（以下、K コード）から STEM7 へのマッピング

K コードは医科点数表(平成 30 年度版)、STEM7 は外保連手術試案第 9.1 版（外保連試案 2018 年に掲載）を用い、1つの K コードが複数の STEM7 に対応できるように「STEM7 を細分化する際の注意点」を付記した「K コード STEM7 対応表」を作成する。

5) K コードから ICHI コードへのマッピング

K コードは医科点数表(平成 30 年度版)、ICHI は ICHI Beta 2018 版を用いた。日本診療情報管理学会に委託したマッピング結果を分析したものを提示する。

6) ICHI に対する国内体制整備

ICHI 承認後の国内対応が円滑になるよう、すでに国内での活動を行っている。活動報告と今後について記述する。

C. 研究結果

1) ICHI の動向

WHO-FIC ネットワークは、平成 19 年に ICHI 開発をスタート、世界中の WHO-FIC コラボレーションセンターからの参加者によって検討され、平成 24 年には暫定版である ICHI α版を作成した。平成 28 年 2 月から ICHI 会議に出席し、わが国の K コードと STEM7 の紹介をした（論文 1)）。その後、平成 28 年 5 月の FDC 中間年次会議および平成 28 年 10 月の WHO-FIC 年次会議において ICHI 開発の議論に参加することが出来た。平成 28 年 10 月には戦略的かつ技術的な情報を WHO に提供する ICHI Task Force が設置されることが決定し、本研究代表者の川瀬が ICHI Task Force メンバーとして承認された。我々は ICHI Alpha 版の消化器系領域・血液リンパ系領域におけるレビュー作業レビューを行い、その結果を ICHI Task Force に提案した。平成 29 年 6 月の WHO-FIC 中間年次会議で、各国からのレビュー結果を議論し、その結果を反映させた ICHI Beta 版が平成 29 年 10 月の WHO-FIC 年次会議で公表された。オンライン上のブラウザ ICHI Platform (<https://mitel.dimi.uniud.it/ichi/>) で ICHI が閲覧できるだけでなく、だれでもそこから意見提出が可能になった（表 1）。

表 1：ICHI Platform：ICHI Beta-2 2018 がオンライン上のブラウザに公表

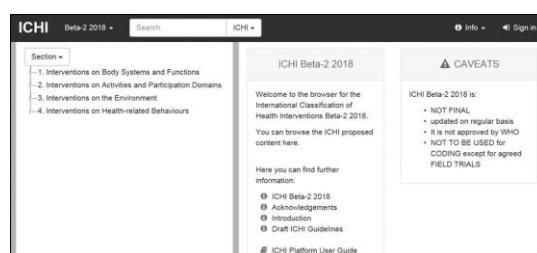


表 2：各国でのフェーズ 1 テスト結果

Phase One Testers				
	Name	Country	Specialty area	Test performed
1	Nicholas Hardiker	UK	ICNP - Nursing	Mapping, Content review
2	Dong-Gyo Shin	Korea	Medical/Surgical	Coding trial, Content review, Translation
3	Paola Lago	Italy	Perinatology	Coding trial, Mapping
4	Coen van Gool	Netherlands	Urology & Ophthalmology	Coding trial, Mapping, Content review
5	Ambimbola Olaniran	UK	Community Health	Content review
6	Chris Moser	Australia (Statistical Standards & Strategy)	Medical/Surgical	Content review
7	Sharon Baker	Canada (CIHI)	Medical/Surgical	Coding trial, Mapping
8	Julie Gordon	Australia	ICPC-2 Plus	Mapping
9	Mareese Cooney	WCPT	Physiotherapy	Content review
10	Andrea Martinuzzi	Italy	Neurorehabilitation	Coding trial
11	Hirokazu Kawase	Japan	Medical/Surgical	Coding trial, Mapping, Content review, Translation
12	Ralph Dahlgren	Sweden	NCSP+ Medical/Surgical	Mapping
13	Luisa Whitelaw	South Africa	Primary healthcare	Mapping
14	Ariane Laplante-Levesque	International Society of Audiology	Audiology	Coding trial, Mapping, Content review
15	Lena Haglund	Swedish Assoc of Occupational Therapists	Occupational therapy	Mapping, Content review
16	Sithara Satiyadev	South Africa	Medical/Surgical	Mapping
17	Arna Harðardóttir	Nordic WHO-FIC CC Iceland	NCSP-IS and Physiotherapy	Mapping
18	Giulio Castelpietra	Italy	Mental Health	Mapping
19	Miroslav Zvolosky	Czech Republic	Medical/Surgical	Coding trial

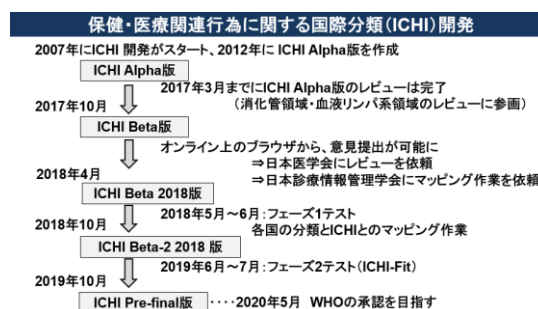
平成 30 年 1～2 月の ICHI Development Meeting 2018 では、ICHI 開発および今後のフィールドテストの進め方等について議論がなされた。平成 30 年 4 月には ICHI Beta 2018 版に改定され、2018 年 5 月からの 2 か月間にフェーズ 1 テストとして、各国の分類と ICHI とのマッピングテストが行われた。9 月の ICHI Taskforce Meeting でフェーズ 1 テスト結果の分析を行い（表 2）、この結果を反映させた ICHI Beta-2 2018 版が 2018 年 10 月に公表された。

平成 31 年 2 月 ICHI Development Meeting では 6 月から行われる予定のフェーズ 2 テスト (ICHI-Fit) の方法について議論した。その後は ICHI-Fit 結果を分析し ICHI Pre-final 版を完成させ、WHO の承認を目指している（表 3）。

2) K コード、STEM7 と ICHI コードの基本構造の違い

K コードは 2,098 件あり、原則 4 桁コード

表 3：保健・医療関連行為に関する国際分類 (ICHI) 承認までのタイムライン



である。1 桁目はアルファベット 1 桁で診療行為ごとに決められ、手術はこれが K であるため K コードと言われる。この後ろに 3 桁の数字+α (α は数字やカタカナ) が振られているが、系統立ったコードではない。

外保連手術試案 3,507 術式にはすべて STEM7 がつけられている。術式が異なるが STEM7 は同じというものもあり、コード数は 1,715 件である。その基本構造は操作対象部位 3 桁、基本操作 2 桁、手術部位へのアプローチ方法 1 桁、アプローチ補助器械

1桁の7桁を連結した7桁コードである。

ICHI コードは、Target 3桁、Action 2桁、Means 2桁の3つの基本構造からなる7桁コードで、コード数は6,436件、このうち手術に関するコードは3,840件である(表4)。

表4: Kコード、STEM7とICHIコード

	医科点数表 (平成30年度版)	外保連手術試案9.1版 (外保連試案2018年)	ICHI Beta-2 2018版
基本理念	報酬点数表の診療行為にふられたコード ・Kコード・手術コード	外科系診療における診療報酬はどうあるべきかを学術的に検討 平成25年から手術コードSTEM7を掲載	WHOにより提唱され、現在開発中の医療行為に係る国際分類体系
項目数	2,098件	コード数:1,715件 (術式数:3,507件)	6,436件(手術に関するコード:3,840件)
基本構造	4桁コード ・診療行為(大別) (アルファベット1桁) ・診療行為(細目) (3桁の数字+α)	7桁コード ・操作対象部位(3桁) ・基本操作(2桁) ・手術部位へのアプローチ方法(1桁) ・アプローチ補助器械(1桁) ○○○ ○○○ ○○○ (7桁英数字) ↑ ↑ ↑ ・操作対象部位 ・基本操作 ・手術部位への アプローチ方法 ・アプローチ補助器械	7桁コード ・Target(3桁) ・Action(2桁) ・Means(2桁) ○○○ ○○○ ○○○ (7桁英数字) ↑ ↑ ↑ ・Target ・Action ・Means

STEM7とICHIコードの基本構造を比較すると、最初の3桁は操作対象部位とTargetである。STEM7は手術を行う部位を示しており、コード数は1,046件ある(表5)。3桁コードの1桁目はアルファベットで、部位を表している。一方ICHIはすべての医療行為を網羅したコードでありTargetは4つに分類されている。STEM7の操作対象部位に対応するものはInterventions on Body Systems and Functionsのなかの「身体の部位」で325件ある。他に「身体機能」110件、学習と適用、作業、コミュニケーション、セルフケア等の「活動」111件、「環境」76件、「健康関連の行動」32件も含まれており、コード数は全部で654件ある(表6)。

次の2桁は基本操作とActionである。STEM7の基本操作は患部に対する切除10件、止血・出血予防1件、修復9件、採取・移植3件、その他1件の合計24件である(表7)。これに対してICHIのActionは治療以外のコードが含まれている。検査、画像、生検などの「診断」が11件、切除、切開、挿入などの「治療」が77件、支援、計画などの

表5: STEM7における操作対象部位

コード	部位	コード数
A__	体表・皮膚	48
B__	筋骨格・末梢神経	182
C__	脊柱・骨盤	52
D__	頭頸部	128
E__	脊髄	15
F__	全身および体の部分全体	44
N__	心臓	22
P__	肺・縦隔・乳腺	65
Q__	消化管	1
	上部消化管	19
	下部消化管	23
	肝・胆道系	29
	膵・脾	9
	腹腔・腹壁	24
S__	生殖泌尿器	73
T__	血管	192
V__	リンパ管・リンパ節	111
Y	造血組織・血液	7
Z__	不明、特定しない部位	2
	合計	1,046

表6: ICHIコードにおけるTarget

	Target 大分類	コード数
1.	Interventions on Body Systems and Functions ・Body Systems 身体の部位(325件) ・Body Functions 身体機能(110件)	435
2.	Interventions on Activities and Participation Domains 活動・「学習と適用」「作業」 「コミュニケーション」「セルフケア」等	111
3.	Interventions on the Environment 環境	76
4.	Interventions on Health-related Behaviours 健康関連の行動	32
	合計	654

「管理」が10件、「予防」が17件でその他を含めてコード数は117件である(表8)。

表7: STEM7における基本操作

目的	コード	名称	目的	コード	名称
患部の切除	10	病変切除	修復	30	損傷修復
	11	切除		31	機能修復
	12	全切除		32	形態形成
	13	広汎切除		33	心・脈管・管腔形成
	14	生検、試験切除		34	置換
	15	離断・剥離		35	閉鎖
	16	ドレナージ・瘻造設		36	縫縮
	17	除去		37	開放、開大
	18	組織壊死		38	固定
	19	娩出		採取・移植	41
止血・出血予防	20	止血、結紮	42		同種臓器採取
			43		移植等
			50	その他	

表 8：ICHI コードにおける Action

	Action 大分類	コード数
1.	Diagnostic 診断・「検査」「画像」「生検」等	11
2.	Therapeutic 治療・「切除」「切開」「挿入」等	77
3.	Managing 管理・「支援」「計画」等	10
4.	Preventing 予防	17
5.	Action, other	1
6.	Action, unspecified	1
	合計	117

STEM7 の 6 桁目は手術部位へのアプローチ方法で、どこから基本操作を行うかを示すもので、0 は開腹、開胸の手術で「open surgery」、1 は穿刺にて行う手術で「経皮的」、2 は気道、消化管、尿道などの自然孔を介して行う手術で「経孔的」などに分類され、コード数は 6 件である。7 桁目はアプローチ補助機器で、手術に際して必要な機器を示し、0 は「なし」、1 は「内視鏡」、2 が「顕微鏡」、4 が「DSA」などで、13 件のコードがある。

ICHI の 6、7 桁目は Means で、大きく 4 つに分類され、「到達方法」12 件、「技術」15 件、「方法」3 件、「資料」8 件の合計 38 件である（表 9）。

表 9：ICHI コードにおける Means

	Means 大分類	コード数
1.	Approach 到達方法・「オープン」「経皮的」「経孔的」 「鏡視下手術」等	12
2.	Technique 技術・「放射線(単純)」「放射線(造影)」「CT」 「MRI」「超音波」等	15
3.	Method 方法・「法律」「政策」	3
4.	Sample 資料・「血液」「尿」「髄液」等	8
	合計	38

到達方法は AA が open surgery、AB が Percutaneous endoscopic 鏡視下手術、AC が Per Orifice 経孔的手術、AD が Per orifice

endoscopic 気道、消化管、尿道などの自然孔を介して内視鏡を挿入して行う手術、AE が Percutaneous 経皮的手術などとなっている。外保連の STEM 7 にないものとして、鏡視下手術と経孔的手術を同時に行う Combined approach なども設定され、より詳細に分類できている。コードの 6、7 桁目だけ STEM7 と ICHI の基本構造が異なるので、対応表を作成した（表 10）。

表 10：STEM 7 の手術部位へのアプローチ方法、アプローチ補助器械と ICHI Means の対応表

外保連手術コード STEM7				ICHIコード	
手術部位へのアプローチ方法		アプローチ補助器械		Means - Approach	
コード	名称	コード	名称	Code	Title
0	open surgery	0	なし	AA	Open approach
1	経皮的	0	なし	AE	Percutaneous
1	経皮的	1	内視鏡	AB	Percutaneous endoscopic
2	経孔的	0	なし	AC	Per Orifice
2	経孔的	1	内視鏡	AD	Per orifice endoscopic

3) Extension Code

ICHI コードは、Target、Action、Means をピリオド (.) で連結した 7 桁コードを Stem Codes というが、これに Extension Code を付記することで保健・医療関連行為の分類を精緻化することが可能になる。Extension Code には Quantifiers から Therapeutic products までの 10 項目に大きく分けられ、ICHI Beta-2 2018 版では 9,939 件のコード数がある（表 11）。表示法は Stem code の後ろに「&」を付けて Extension Code を連結することで ICHI コードが完成する。なお複数の Extension Code がある場合には、何個でも連結することが可能である。なお Extension Code の提示方法は ICD11 と同じである。

表 11：ICHI Extension Code

	Extension Code 大分類	コード数
1.	Quantifiers	27
2.	Additional descriptive information	67
3.	Topology	17
4.	Telehealth	3
5.	Diagnostic tests	62
6.	Additional target	654
7.	Additional anatomy	2,940
8.	Medicaments	4,967
9.	Assistive products	136
10.	Therapeutic products	166
	合計	9,939

以下に大分類ごとの具体例を提示する。

① Quantifiers；数

・「内視鏡的に大腸ポリープを3つ切除」

内視鏡的大腸ポリープ切除術の Stem code は「KBP.JI.AD - Endoscopic excision of lesion or tissue of colon」、これに「3つのポリープを切除」という数を明記する。Extension Code として「XAB - Number of interventions performed」のなかの「XAB3 - Three of the same intervention performed」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「KBP.JI.AD & XAB3」となる。

② Additional descriptive information；付加的な記述、情報

・「腹腔鏡下で手術を開始したが途中で開腹手術に移行した胆嚢摘出術」

胆嚢摘出術の Stem code は「KCF.JK.AA - Cholecystectomy」、これに「腹腔鏡手術から開腹に移行」という付加的記述、情報を明記する。Extension Code として「XB02 - Relationship to other intervention(s)」のなかの「XB02.2 - Laparoscopic converted to open」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「KCF.JK.AA & XB02.2」となる。

・「緊急で行われた腹腔鏡下虫垂切除術」

腹腔鏡下虫垂切除術の Stem code は「KBO.JK.AB - Laparoscopic appendectomy」、

これに「緊急手術」という付加的記述、情報を明記する。Extension Code として「XB03.0 - Unplanned intervention (計画されていない、または緊急時に実施された医療行為)」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「KBO.JK.AB & XB03.0」となる。

③ Topology；部位

・「右鼠経ヘルニア手術」

鼠経ヘルニア手術の Stem code は「PAM.MK.AA - Repair of inguinal hernia」である。これが「右」に対して行われた場合には Extension Code として「XCA - Laterality」のなかの「XCA4 - Right」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「PAM.MK.AA & XCA4」となる。

・「再発右鼠経ヘルニア手術」

右鼠経ヘルニア手術の ICHI コードは「PAM.MK.AA & XCA4」であるが、これに「再発」という付加的記述、情報を追加することができる。Extension Code として「XB02 - Relationship to other intervention(s)」のなかの「XB02.4 - Re-operation」を「&」で連結し、ICHI コードは「PAM.MK.AA & XB02.4 & XCA4」となる。Extension Code を複数追加する際の順序の決まりは現在特にない。

④ Telehealth；テレヘルス（遠隔医療を含む）

これは医療を提供するための情報と通信技術を使用する場合に使用する Extension Code である。一人の患者に対して、医療行為を受ける患者がいる場所（以下、現地と略す）と患者から離れた場所（以下、遠隔地と略す）の両方で同時に治療が行われることがある。その際に現地と遠隔地の両方で登録されることになるが、これら情報が集約された際に医療行為の二重カウントを防止するために、この Extension Code が考えら

れている。

・「現地の医師の監視のもと、遠隔地の医師が行うロボット支援手術、乳房部分切除術」

乳房部分切除術の Stem code は「LCA.JI.AA - Local excision of lesion of breast」である。

現地においては、離れた場所から提供された支援(ロボット支援手術)を受けて行われた医療行為(乳房部分切除術)であり、Extension Code として「XH01 - Intervention performed with advice or assistance provided from a distant location」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「LCA.JI.AA&XH01」となる。

遠隔地の医師は、患者とは離れた場所でロボット支援機器を操作し、乳房部分切除術を行うため、Extension Code として「XH02 - Intervention provided to recipient/s in a distant location」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「LCA.JI.AA&XH02」となる。

・「遠隔地から専門家による助言をもらい、現地の医師が頭蓋内動脈の血栓融解療法を行う」

頭蓋内動脈の血栓融解療法の Stem code は「IAA.DB.AF - Thrombolysis of intracranial artery」である。

遠隔地で現地の医師から受け取った患者の身体情報等を把握した専門医は、現地の医師に血栓融解療法の指示を行っており、Extension Code として「XH02 - Intervention provided to recipient/s in a distant location」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「IAA.DB.AF&XH02」となる。

現地では、離れた場所にいる専門医の助言を受けて血栓融解療法を行っており、Extension Code として「XH01 - Intervention

performed with advice or assistance provided from a distant location」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「IAA.DB.AF&XH01」となる。

・「電話での禁煙カウンセリング」

禁煙カウンセリングの Stem code は「VAB.PP.ZZ - Counselling about tobacco use behaviours」である。医師と患者は対面の医療行為でなく、遠隔地の医師が離れた場所にいる患者にカウンセリングという医療行為を提供しており、医師を中心に考えることより Extension Code として「XH02 - Intervention provided to recipient/s in a distant location」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「VAB.PP.ZZ&XH02」となる。現地には医師がいないので、そこで行われた医療行為に ICHI コードはつかない。

・「A 病院の医師が一連の精神機能テストを行い、その結果を B 病院の神経内科医に送る。B 病院の神経内科医はその精神機能テスト結果をもとに神経学的評価を行う」

A 病院(精神機能テストを行った病院)での Stem code は「AS1.AC.ZZ - Test of mental functions」、Extension Code は「なし」で、ICHI コードは「AS1.AC.ZZ」となる。一方、送られたテスト結果をもとに神経学的評価を行った B 病院での Stem code は「AZZ.AA.AH - Neurological assessment」、Extension Code として「XH02 - Intervention provided to recipient/s in a distant location」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「AS1.AC.ZZ&XH02」となる。

5) Diagnostic tests ; 診断テスト

検体に対して何の診断目的で行われたかを記録するために使用する。

・「ヘモグロビン値を調べるために血液を

採取」

血液採取の Stem code は「PZX.AH.XA - Specimen collection, blood」、これに「ヘモグロビン値を調べるため」という診断目的を明記する。Extension Code として「XJ33 - Haemoglobin (Hb)」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「PZX.AH.XA&XJ33」となる。

⑥Additional target ; 追加 Target

これは医療行為が複数のターゲットにまたがる場合に付加する Extension Code である。

・「脳室—腹腔シャント術」

この Stem Code は「AAE.LI.AA - Ventricular shunt」だが、髄液を腹腔内にドレナージするので Extension Code として「腹腔内」の Target を追加する。「XXKM - Peritoneum」のなかの「XXKMA - Peritoneum and peritoneal cavity」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「AAE.LI.AA&XXKMA」となる。

・「肝臓を標的とした経皮的血管内投与による薬物療法」

医薬品の使用や処方が特定の部位、臓器に関連していることを示す場合も Extension Code を用いる。経皮的血管内投与による薬物療法の Stem Code は「PZX.DB.AF - Administering pharmacotherapy, percutaneous transluminal」だが、肝臓を標的とするので Extension Code として「XXKC - Hepatic and biliary structures」のなかの「XXKCA - Liver」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「PZX.DB.AF&XXKCA」となる。

・「胸部大動脈—冠動脈吻合による冠動脈バイパス手術 (CABG)」

この Stem Code は「HIA.LI.AA - Coronary

artery bypass」だが、胸部大動脈と冠動脈をバイパスするので、Extension Code として「XXHIG - Aorta, thoracic」と「XXHIA - Coronary artery」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「HIA.LI.AA&XXHIG&XXHIA」となる。

⑦Additional anatomy ; 追加の局所解剖

この Extension Code は Additional Target では説明できない、より詳細な解剖学的構造を記録する場合に使用する。

・「手の掌側骨間靭帯の再建術」

この Stem Code は「MGL.ML.AA - Reconstruction of ligament and fascia of hand or finger」だが、手・手指の靭帯のなかの掌側手根骨間靭帯を再建するので、Extension Code として「XA47N4 Volar intercarpal ligaments」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「MGL.ML.AA&XA47N4」となる。

⑧Medicaments ; 医薬品

医療行為を行う際に医薬品や化学物質を使用する際に、Extension Code を用いる。なお ICHI の医薬品コードは ICD-11 と同じであり、利用しやすく工夫されている。

⑨Assistive products ; 補助製品

これは医療行為を行う際に用いる補助製品の情報を記載する場合に使用する Extension Code である。

・「補聴器の提供 (デジタル)」

この Stem Code は「UAF.RD.ZZ - Provision of products and technology for communication」(コミュニケーションのための製品と技術の提供)だが、補聴器を使ってコミュニケーションをとる場合には Extension Code として「XP300 - Assistive products and technology for communication」のなかの「XP305.01 -

Hearing aids (digital) and batteries」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「UAF.RD.ZZ&XP305.01」となる。なお障害者が使用する用具、機器に関する分類コードには障害者のためのテクニカルエイドの分類コード (ISO9999 コード) が広く用いられているが、これを ICHI コードの一部として使用することは現在許可されていない。

⑩Therapeutic products；治療用製品

これは医療行為を行う際に用いる治療用製品の情報を記載する場合に使用する Extension Code である。

- ・「埋込型骨導補聴器移植術」

この Stem Code は「CBA.DN.AC - Implantation of internal device in middle ear, not elsewhere classified」(中耳の内部装置の移植、他に分類されていないもの)だが、治療用製品として骨導補聴器を使う場合には Extension Code として「XT03 - Ear」のなかの「XT03.02 - Bone anchored hearing system」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「CBA.DN.AC&XT03.02」となる。

4) K コードから STEM7 へのマッピング

K コードと外保連術式が 1 対 1 に対応している 1,735 件では、外保連術式には 1 つの外保連手術コードが附記されているので K コードと外保連手術コードのマッピングは容易である。また K コードに対応する外保連手術コードがないものについては、対応する外保連手術コードを新たに附記した。1 つの K コードに複数の外保連術式があるものは 363 件あり (表 12)、これには部位やアプローチ方法などに注意して、1 つの外保連手術コードを選択できるよう「外保連手術コードを細分化する時の注意点」を記

載した (表 13) (資料 A、B 参考)。

表 12：K コードから STEM7 への対応

K コードに対する STEM7 の数	K コード 件数
1	1,735
2	182
3	103
4	45
5	5
6	6
7	4
8	2
9	7
10	1
11	4
12	1
13	0
14	1
15	0
16	1
17	0
18	1
合計	2,098

表 13：K コードと外保連手術コードのマッピングの一例

Kコード	Kコード術式名	外保連手術コードを細分化する時の注意点	外保連術式名	外保連手術コード
K462-2	内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	亜全摘の場合		D88 10 11
		全摘の場合		D88 12 11
K902	胎盤用手剥離術			SA5 15 20
K007-2	経皮的放射線治療用金属マーカ留置術			ZZZ 45 14
K0631	関節脱臼親血的整復術 肩、股、膝	部位が肩関節	親血的脱臼整復術・肩関節	B28 30 04
		部位が股関節	親血的脱臼整復術・股関節	B91 30 04
		部位が膝関節	親血的脱臼整復術・膝関節	BA2 30 04
K664	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	開腹の場合	胃瘻造設術(開腹)	Q21 16 00
		腹腔鏡下の場合	胃瘻造設術(腹腔鏡下)	Q21 16 11
		内視鏡下の場合	胃瘻造設術(内視鏡下)	Q21 16 21

5) K コードから ICHI コードへのマッピング

K コード 2,098 件に対応する ICHI コードを附記することができた (表 14)。

6) ICHI に対する国内体制整備

平成 29 年に日本医学会に ICHI Beta 版のレビューを依頼するとともに、日本診療情報管理学会に K コードと ICHI のマッピング作

表 14：K コードと ICHI コードとのマッピング

グの一例

Kコード	ICHIコード	ICHI descriptor
K000 1 創傷処理 筋肉、臓器に達するもの(長径5センチメートル未満)	LAA MK AA	Repair of skin and subcutaneous cell tissue of head and neck
	LAB MK AA	Repair of skin and subcutaneous cell tissue of trunk
	LAE MK AA	Repair of skin and subcutaneous cell tissue of upper limb
	LAG MK AA	Repair of skin and subcutaneous cell tissue of lower limb
K462-2 内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	EBA JJ AB	Endoscopic thyroidectomy
	EBA JK AB	Endoscopic complete thyroidectomy

業を依頼した。その際に、東京と大阪で診療情報管理士に ICH についての概略を説明した。

平成 29 年は第 54 回日本小児外科学会学術集会(演題名「小児外科領域手術の外保連手術試案コードと ICHI コードの比較検討」、平成 30 年は第 55 回日本小児外科学会学術集会(演題名「診療報酬における手術分類(Kコード)と外保連手術コードとの比較検討」、第 96 回診療情報管理士生涯教育研修会モーニングセミナー(演題名「医療行為の国際分類(ICHI)について」、第 38 回医療情報学連合大会(第 19 回日本医療情報学会学術大会)(演題名「WHO-ICHI 医療処置手術コード標準化の動向と外保連手術コード STEM7 との比較」)において、医師や診療情報管理士に ICHI の紹介を行った。

Extension Code については「Draft ICHI Guidelines for users」や「ICHI Platform User Guide」などの翻訳を行い、その使用例を日本語で具体的に提示した(資料 C)。また ICHI の粒度についての概要も日本語で具体的に提示した(資料 D)。

D. 考察

WHO-FIC ネットワークは、2007 年に ICHI 開発をスタートさせたが、その目的は保健・医療関連行為の標準的な分類を作成し、国際比較、医療行為の分類がない国への提供、すでに分類がある国に対しては不足している項目を提供することなどが期待されている。完成間近で、これが WHO によって承認されると、我が国への国際統計報告、診療報酬体系等を含め、幅広く影響を及ぼす可能性があり、ICHI の情報収集・分析、国内意見の集約、ICHI 開発・活用に対して提案するための体制作りを戦略的に進めていくことが国内対応・国際貢献の両面から重要である。

我が国では手術に関するコードとして、診療報酬における手術コードである K コードと外保連手術試案に掲載されている STEM7 が用いられている。K コードは、ハイフンや空白で枝番号が作られており一定のルールでコーディングされていない。またハイフンと空白の意味づけも曖昧である。並び順は部位ごとにまとまっているものの、細かい部分では追加や削除が繰り返された影響で統一されていない。また術式名も「〇〇根治術」や人名が含まれた術式など、その術式名から実際の手術内容が推測できない術式名も多々含まれている。これに対して外保連手術委員会コーディングワーキンググループが中心に作成、手術試案第 8 版(外保連試案 2012)より掲載されている STEM7 は、臨床的な観点から体系的に整理されている。

2018 年診療報酬改定では、情報利活用の推進としてデータ提出加算で提出を求めるデータとして、K コードに STEM7 を併記する欄が設けられ、厚生労働省ホームページや医科点数表の解釈(いわゆる「青本」)に

「Kコード STEM7 対応表」が掲載されている(別表A、B)。病院情報を扱う医療事務職員、診療情報管理士がSTEM7を使うことで、STEM7が一般的になることが期待できる。そうなればICHIとSTEM7の基本構造が類似していることより、ICHIコードの理解が容易になる。

これまで手術を中心とした医療行為についてICHIとKコード、STEM7の比較・検証を行ってきたが、ICHIは手術だけでなく保健・医療関連行為すべてをカバーする分類であり、検査、処置、学習・作業、コミュニケーション、セルフケア等の活動や環境、健康関連の行動、伝統医学の分野などについても適切なコードかどうかを確認することが今後の課題である。

E. 結論

ICHIは現在開発中でその最終段階にある。今回ICHIの動向について明らかにするとともに、STEM7とICHIコードを比較検討することでICHIコードを明確にすることができた。ICHIコードのExtension Codeは7桁のコードでは十分表現できないあるいは区別できない保健・医療関連行為の分類を精緻化することが可能で、とても便利なコードであるが理解しにくい。Extension Codeの使用例を具体例に提示することでICHIの理解が深まれば、ICHI承認後の国内対応が円滑になることなども期待できる。

F. 健康危険情報

特記事項なし。

G. 研究発表

1. 論文発表

1) Izutsu M., Kawase H.: Comparing ICHI to the Japanese health intervention classifications. WHO Collaborating Centre for the Family of International Classifications (FIC) in the Netherlands.; Newsletter on the WHO-FIC, Volume 14, Number 1, 2016, 6-8.

[<http://www.who-fic.nl/dsresource?type=pdf&disposition=inline&objectid=rivmp:321385&versionid=&subjectname=>]

2)川瀬弘一、岩中 督、大江和彦. WHO-FIC 医療処置手術コード標準化の動向と外保連手術コード STEM 7 との比較. 医療情報学. 2018. Nov;38(Suppl.):28-30

3) 川瀬弘一. 医療行為の国際分類 (ICHI) の動向について. 保健医療科学. 2018. 67(5): 499-507

2. 学会発表

1) 川瀬弘一, 北川博昭, 岩中督, 山口俊晴, 広部誠一, 小高明雄, 田中雄一郎. シンポジウム1 小児外科を取り巻く保健・医療行政と専門医制度 外保連と小児外科. 第53回日本小児外科学会学術集会、2016.

2) Takahashi O., Suenaga H., Kawai S., Otsuka S., Anan M., Arai Y., Kamakura Y., Kawase H., Hatano K., Mori K., Izutsu M., Oi T.: Japanese Classification for Health Interventions; Application of ICHI to domestic classification. WHO-FIC Network Annual Meeting, 8-12 October 2016, Tokyo, Japan.

3) 川瀬弘一, 北川博昭, 岩中督. 小児外科領域手術の外保連手術試案コードとICHIコードの比較検討. 第54回日本小児外科学会学術集会、2017

4) 川瀬弘一, 廣部誠一, 小高明雄, 田中裕次郎, 古田繁行, 岩中督, 瀬戸泰之. 外保連

試案の考え方. 第 79 回日本臨床外科学会総会、2017.

5) 川瀬弘一、北川博昭、古田繁行、岩中 督. 診療報酬における手術分類 (K コード) と外保連手術コードとの比較検討. 第 55 回日本小児外科学会学術集会. 2018

6) 川瀬弘一. 医療行為の国際分類 (ICHI) について. 第 96 回診療情報管理士生涯教育研修会モーニングセミナー. 2018.

7) 川瀬弘一、岩中 督、大江和彦. 学会企画シンポジウム「医療情報の国際標準化の状況と動向」WHO-FIC 医療処置手術コード標準化の動向と外保連手術コード STEM 7 との比較. 第 38 回医療情報学連合大会. 2018.

H. 知的財産権の出願・登録状況

特記事項なし

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K000 1	創傷処理 筋肉、臓器に達するもの(長径5センチメートル未満)	A11 30 00	創傷処理(6歳以上)長径5cm未満(筋、臓器に達する)の場合
K000 1	創傷処理 筋肉、臓器に達するもの(長径5センチメートル未満)	T61 17 00	埋め込み型中心静脈カテーテル抜去術の場合
K000 1	創傷処理 筋肉、臓器に達するもの(長径5センチメートル未満)	A23 34 00	腹部開放創用局所陰圧閉鎖キット交換の場合
K000 2	創傷処理 筋肉、臓器に達するもの(長径5センチメートル以上10センチメートル未満)	A11 30 00	創傷処理(6歳以上)長径5cm以上10cm未満(筋、臓器に達する)の場合
K000 2	創傷処理 筋肉、臓器に達するもの(長径5センチメートル以上10センチメートル未満)	A23 34 00	腹部開放創用局所陰圧閉鎖キット交換の場合
K000 3 イ	創傷処理 筋肉、臓器に達するもの(長径10センチメートル以上) 頭頸部のもの(長径20センチメートル以上のものに限る。)	A11 30 00	
K000 3 ロ	創傷処理 筋肉、臓器に達するもの(長径10センチメートル以上) その他のもの	A11 30 00	創傷処理(6歳以上)長径10cm以上(筋、臓器に達する)の場合
K000 3 ロ	創傷処理 筋肉、臓器に達するもの(長径10センチメートル以上) その他のもの	A23 34 00	腹部開放創用局所陰圧閉鎖キット交換の場合
K000 4	創傷処理 筋肉、臓器に達しないもの(長径5センチメートル未満)	A11 30 00	
K000 5	創傷処理 筋肉、臓器に達しないもの(長径5センチメートル以上10センチメートル未満)	A11 30 00	
K000 6	創傷処理 筋肉、臓器に達しないもの(長径10センチメートル以上)	A11 30 00	
K000-2 1	小児創傷処理(6歳未満) 筋肉、臓器に達するもの(長径2.5センチメートル未満)	A11 30 00	
K000-2 2	小児創傷処理(6歳未満) 筋肉、臓器に達するもの(長径2.5センチメートル以上5センチメートル未満)	A11 30 00	
K000-2 3	小児創傷処理(6歳未満) 筋肉、臓器に達するもの(長径5センチメートル以上10センチメートル未満)	A11 30 00	
K000-2 4	小児創傷処理(6歳未満) 筋肉、臓器に達するもの(長径10センチメートル以上)	A11 30 00	
K000-2 5	小児創傷処理(6歳未満) 筋肉、臓器に達しないもの(長径2.5センチメートル未満)	A11 30 00	
K000-2 6	小児創傷処理(6歳未満) 筋肉、臓器に達しないもの(長径2.5センチメートル以上5センチメートル未満)	A11 30 00	
K000-2 7	小児創傷処理(6歳未満) 筋肉、臓器に達しないもの(長径5センチメートル以上10センチメートル未満)	A11 30 00	
K000-2 8	小児創傷処理(6歳未満) 筋肉、臓器に達しないもの(長径10センチメートル以上)	A11 30 00	
K001 1	皮膚切開術 長径10センチメートル未満	A11 16 00	
K001 2	皮膚切開術 長径10センチメートル以上20センチメートル未満	A11 16 00	
K001 3	皮膚切開術 長径20センチメートル以上	A11 16 00	
K002 1	デブリードマン 100平方センチメートル未満	A67 17 00	部位が手(手指は除く)の場合
K002 1	デブリードマン 100平方センチメートル未満	A6A 17 00	部位が手指の場合
K002 1	デブリードマン 100平方センチメートル未満	A77 17 00	部位が足(足趾は除く)の場合
K002 1	デブリードマン 100平方センチメートル未満	A7A 17 00	部位が足趾の場合
K002 1	デブリードマン 100平方センチメートル未満	A11 17 00	部位が手、手指、足、足指以外の場合
K002 2	デブリードマン 100平方センチメートル以上3,000平方センチメートル未満	A51 17 00	部位が四肢の場合
K002 2	デブリードマン 100平方センチメートル以上3,000平方センチメートル未満	A13 17 00	部位が頭皮の場合
K002 2	デブリードマン 100平方センチメートル以上3,000平方センチメートル未満	A15 17 00	部位が頸部の場合
K002 2	デブリードマン 100平方センチメートル以上3,000平方センチメートル未満	A14 17 00	部位が顔面の場合
K002 2	デブリードマン 100平方センチメートル以上3,000平方センチメートル未満	A11 17 00	部位が四肢、頭皮、頸部及び顔面以外の場合
K002 3	デブリードマン 3,000平方センチメートル以上	A51 17 00	部位が四肢の場合
K002 3	デブリードマン 3,000平方センチメートル以上	A11 17 00	部位が四肢以外の場合

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K003 1	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部) 長径3センチメートル未満	A14 10 00	部位が顔面
K003 1	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部) 長径3センチメートル未満	A13 10 00	部位が頭部
K003 1	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部) 長径3センチメートル未満	AW1 10 00	部位が顔面、頭部以外
K003 2	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部) 長径3センチメートル以上6センチメートル未満	A14 10 00	部位が顔面
K003 2	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部) 長径3センチメートル以上6センチメートル未満	A13 10 00	部位が頭部
K003 2	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部) 長径3センチメートル以上6センチメートル未満	AW1 10 00	部位が顔面、頭部以外
K003 3	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部) 長径6センチメートル以上	A14 10 00	部位が顔面
K003 3	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部) 長径6センチメートル以上	A13 10 00	部位が頭部
K003 3	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部) 長径6センチメートル以上	AW1 10 00	部位が顔面、頭部以外
K004 1	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部以外) 長径3センチメートル未満	AW1 10 00	
K004 2	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部以外) 長径3センチメートル以上6センチメートル未満	AW1 10 00	
K004 3	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部以外) 長径6センチメートル以上	AW1 10 00	
K005 1	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部) 長径2センチメートル未満	AW1 11 00	
K005 2	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部) 長径2センチメートル以上4センチメートル未満	AW1 11 00	
K005 3	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部) 長径4センチメートル以上	AW1 11 00	
K006 1	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外) 長径3センチメートル未満	AW1 11 00	
K006 2	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外) 長径3センチメートル以上6センチメートル未満	AW1 11 00	
K006 3	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外) 長径6センチメートル以上12センチメートル未満	AW1 11 00	
K006 4	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外) 長径12センチメートル以上	AW1 11 00	
K006-2 1	鶏眼・胼胝切除術(露出部で縫合を伴うもの) 長径2センチメートル未満	AW1 11 00	
K006-2 2	鶏眼・胼胝切除術(露出部で縫合を伴うもの) 長径2センチメートル以上4センチメートル未満	AW1 11 00	
K006-2 3	鶏眼・胼胝切除術(露出部で縫合を伴うもの) 長径4センチメートル以上	AW1 11 00	
K006-3 1	鶏眼・胼胝切除術(露出部以外で縫合を伴うもの) 長径3センチメートル未満	AW1 11 00	
K006-3 2	鶏眼・胼胝切除術(露出部以外で縫合を伴うもの) 長径3センチメートル以上6センチメートル未満	AW1 11 00	
K006-3 3	鶏眼・胼胝切除術(露出部以外で縫合を伴うもの) 長径6センチメートル以上	AW1 11 00	
K006-4 1	皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術(一連につき) 長径3センチメートル未満の良性皮膚腫瘍	AW1 18 00	
K006-4 2	皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術(一連につき) 長径3センチメートル未満の悪性皮膚腫瘍	AW1 18 00	
K006-4 3	皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術(一連につき) 長径3センチメートル以上6センチメートル未満の良性又は悪性皮膚腫瘍	AW1 18 00	
K006-4 4	皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術(一連につき) 長径6センチメートル以上の良性又は悪性皮膚腫瘍	AW1 18 00	
K007 1	皮膚悪性腫瘍切除術 広汎切除	A11 13 00	
K007 2	皮膚悪性腫瘍切除術 単純切除	A11 11 00	
K007-2	経皮的放射線治療用金属マーカ一留置術	ZZZ 50 14	
K008 1	腋臭症手術 皮弁法	A63 10 00	
K008 2	腋臭症手術 皮膚有毛部切除術	A63 12 00	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K008 3	腋臭症手術 その他のもの	A63 10 00	
K009 1	皮膚剥削術 25平方センチメートル未満	A11 41 00	
K009 2	皮膚剥削術 25平方センチメートル以上100平方センチメートル未満	A11 41 00	
K009 3	皮膚剥削術 100平方センチメートル以上200平方センチメートル未満	A11 41 00	
K009 4	皮膚剥削術 200平方センチメートル以上	A11 41 00	
K010 1	瘢痕拘縮形成手術 顔面	A14 32 00	
K010 2	瘢痕拘縮形成手術 その他	A11 32 00	
K011 1	顔面神経麻痺形成手術 静的なもの	A14 32 00	
K011 2	顔面神経麻痺形成手術 動的なもの	A14 30 00	
K013 1	分層植皮術 25平方センチメートル未満	A11 43 00	
K013 2	分層植皮術 25平方センチメートル以上100平方センチメートル未満	A11 43 00	
K013 3	分層植皮術 100平方センチメートル以上200平方センチメートル未満	A11 43 00	
K013 4	分層植皮術 200平方センチメートル以上	A11 43 00	
K013-2 1	全層植皮術 25平方センチメートル未満	A11 43 00	
K013-2 2	全層植皮術 25平方センチメートル以上100平方センチメートル未満	A11 43 00	
K013-2 3	全層植皮術 100平方センチメートル以上200平方センチメートル未満	A11 43 00	
K013-2 4	全層植皮術 200平方センチメートル以上	A11 43 00	
K014	皮膚移植術(生体・培養)	A11 43 00	
K014-2 1	皮膚移植術(死体) 200平方センチメートル未満	A11 43 00	
K014-2 2	皮膚移植術(死体) 200平方センチメートル以上500平方センチメートル未満	A11 43 00	
K014-2 3	皮膚移植術(死体) 500平方センチメートル以上1,000平方センチメートル未満	A11 43 00	
K014-2 4	皮膚移植術(死体) 1,000平方センチメートル以上3,000平方センチメートル未満	A11 43 00	
K014-2 5	皮膚移植術(死体) 3,000平方センチメートル以上	A11 43 00	
K015 1	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 25平方センチメートル未満	AW1 43 00	
K015 2	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 25平方センチメートル以上100平方センチメートル未満	AW1 43 00	
K015 3	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 100平方センチメートル以上	AW1 43 00	
K016	動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術	A11 43 00	乳房以外の場合
K016	動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術	P62 32 00	対側乳房縮小・固定術(乳房再建後)の場合
K017 1	遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 乳房再建術の場合	P62 43 02	
K017 2	遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) その他の場合	A11 43 00	
K019	複合組織移植術	A11 43 00	
K020	自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの)	A11 43 00	
K021 1	粘膜移植術 4平方センチメートル未満	A11 43 00	
K021 2	粘膜移植術 4平方センチメートル以上	A11 43 00	
K021-2 1	粘膜弁手術 4平方センチメートル未満	A11 43 00	
K021-2 2	粘膜弁手術 4平方センチメートル以上	A11 43 00	
K022 1	組織拡張器による再建手術(一連につき) 乳房(再建手術)の場合	P62 32 00	
K022 2	組織拡張器による再建手術(一連につき) その他の場合	A11 32 00	
K022-2 1	象皮病根治手術 大腿	A74 32 00	
K022-2 2	象皮病根治手術 下腿	A76 32 00	
K023	筋膜切離術、筋膜切開術	B1A 16 00	
K024	筋切離術	B15 15 00	
K025	股関節内転筋切離術	B97 15 00	
K026	股関節筋群解離術	B97 15 00	
K026-2	股関節周囲筋腱解離術(変形性股関節症)	B86 37 00	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K027 1	筋炎手術 腸腰筋、殿筋、大腿筋	B86 16 00	
K027 2	筋炎手術 その他の筋	B15 16 00	
K028	腱鞘切開術(関節鏡下によるものを含む。)	B16 16 00	直視下手術の場合
K028	腱鞘切開術(関節鏡下によるものを含む。)	B16 16 11	関節鏡下の場合
K029	筋肉内異物摘出術	B15 17 00	
K030 1	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	D8D 11 00	部位が頸部
K030 1	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	B71 11 00	部位が体幹
K030 1	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	B22 11 00	部位が肩
K030 1	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	B21 11 00	部位が上腕
K030 1	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	B41 11 00	部位が前腕
K030 1	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	B93 11 00	部位が大腿
K030 1	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	BAC 11 00	部位が下腿
K030 2	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 手、足	B52 11 00	部位が手
K030 2	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 手、足	B55 11 00	部位が手指
K030 2	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 手、足	BB3 11 00	部位が足
K030 2	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 手、足	BB6 11 00	部位が足指
K031 1	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	B71 13 00	部位が体幹
K031 1	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	B22 13 00	部位が肩
K031 1	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	B21 13 00	部位が上腕
K031 1	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	B41 13 00	部位が前腕
K031 1	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	B93 13 00	部位が大腿
K031 1	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	BAC 13 00	部位が下腿
K031 2	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術 手、足	B52 13 00	部位が手
K031 2	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術 手、足	BB3 13 00	部位が足
K033 1	筋膜移植術 指(手、足)	B1D 43 00	部位が手指
K033 1	筋膜移植術 指(手、足)	B1E 43 00	部位が足趾
K033 2	筋膜移植術 その他のもの	B1B 43 00	
K034	腱切離・切除術(関節鏡下によるものを含む。)	B16 15 00	腱切離術で、直視下の場合
K034	腱切離・切除術(関節鏡下によるものを含む。)	B16 15 11	腱切離術で、関節鏡下の場合
K034	腱切離・切除術(関節鏡下によるものを含む。)	B16 11 00	腱切除術で、直視下の場合
K034	腱切離・切除術(関節鏡下によるものを含む。)	B16 11 11	腱切除術で、関節鏡下の場合
K035	腱剥離術(関節鏡下によるものを含む。)	B16 15 00	直視下の場合
K035	腱剥離術(関節鏡下によるものを含む。)	B16 15 11	関節鏡下の場合
K035-2	腱滑膜切除術	B58 11 00	部位が手指
K035-2	腱滑膜切除術	BAK 11 00	部位が足趾
K035-2	腱滑膜切除術	B18 11 00	部位が手足の指以外
K037	腱縫合術	B16 30 00	
K037-2	アキレス腱断裂手術	BAJ 30 00	
K038	腱延長術	B58 30 00	部位が手指
K038	腱延長術	BAK 30 00	部位が足趾
K038	腱延長術	B16 30 00	部位が手足指以外
K039 1	腱移植術(人工腱形成術を含む。)指(手、足)	B58 43 00	部位が手指
K039 1	腱移植術(人工腱形成術を含む。)指(手、足)	B58 34 00	部位が手指で、人工腱形成術を含む場合
K039 1	腱移植術(人工腱形成術を含む。)指(手、足)	BAK 43 00	部位が足趾
K039 1	腱移植術(人工腱形成術を含む。)指(手、足)	BAK 34 00	部位が足趾で、人工腱形成術を含む場合

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K039 2	腱移植術(人工腱形成術を含む。)その他のもの	B16 34 00	部位が手足指以外で、人工腱形成術を含む場合
K039 2	腱移植術(人工腱形成術を含む。)その他のもの	B18 43 00	部位が手足指以外
K040 1	腱移行術 指(手、足)	B58 43 00	部位が手指
K040 1	腱移行術 指(手、足)	BAK 43 00	部位が足趾
K040 2	腱移行術 その他のもの	B16 43 00	
K040-2	指伸筋腱脱臼観血的整復術	B6L 30 00	
K040-3	腓骨筋腱腱鞘形成術	B18 32 00	
K042	骨穿孔術	B12 16 04	
K043 1	骨搔爬術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 17 04	部位が肩甲骨
K043 1	骨搔爬術 肩甲骨、上腕、大腿	B23 17 04	部位が上腕骨
K043 1	骨搔爬術 肩甲骨、上腕、大腿	B94 17 04	部位が大腿骨
K043 2	骨搔爬術 前腕、下腿	B44 17 04	部位が前腕骨
K043 2	骨搔爬術 前腕、下腿	BAD 17 04	部位が下腿骨
K043 3	骨搔爬術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B74 17 04	部位が胸郭
K043 3	骨搔爬術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B24 17 04	部位が鎖骨
K043 3	骨搔爬術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B61 17 04	部位が手根骨
K043 3	骨搔爬術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B68 17 04	部位が中手骨
K043 3	骨搔爬術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B69 17 04	部位が手指骨
K043 3	骨搔爬術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BAB 17 04	部位が膝蓋骨
K043 3	骨搔爬術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BBG 17 04	部位が足根骨
K043 3	骨搔爬術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BBJ 17 04	部位が中足骨
K043 3	骨搔爬術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BBK 17 04	部位が足趾骨
K044 1	骨折非観血的整復術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 30 44	部位が肩甲骨
K044 1	骨折非観血的整復術 肩甲骨、上腕、大腿	B23 30 44	部位が上腕骨
K044 1	骨折非観血的整復術 肩甲骨、上腕、大腿	B94 30 44	部位が大腿骨
K044 2	骨折非観血的整復術 前腕、下腿	B44 30 44	部位が前腕骨
K044 2	骨折非観血的整復術 前腕、下腿	BAG 30 44	部位が下腿骨
K044 3	骨折非観血的整復術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B74 30 44	部位が胸郭
K044 3	骨折非観血的整復術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B24 30 44	部位が鎖骨
K044 3	骨折非観血的整復術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B61 30 44	部位が手根骨
K044 3	骨折非観血的整復術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B68 30 44	部位が中手骨
K044 3	骨折非観血的整復術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B69 30 44	部位が手指骨
K044 3	骨折非観血的整復術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BAB 30 44	部位が膝蓋骨
K044 3	骨折非観血的整復術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BBH 30 44	部位が足根骨
K044 3	骨折非観血的整復術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BBJ 30 44	部位が中足骨
K044 3	骨折非観血的整復術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BBK 30 44	部位が足趾骨
K044 3	骨折非観血的整復術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	C11 30 44	部位が脊椎
K045 1	骨折経皮的鋼線刺入固定術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 30 14	部位が肩甲骨
K045 1	骨折経皮的鋼線刺入固定術 肩甲骨、上腕、大腿	B23 30 14	部位が上腕骨
K045 1	骨折経皮的鋼線刺入固定術 肩甲骨、上腕、大腿	B94 30 14	部位が大腿骨
K045 2	骨折経皮的鋼線刺入固定術 前腕、下腿	B44 30 14	部位が前腕骨
K045 2	骨折経皮的鋼線刺入固定術 前腕、下腿	BAG 30 14	部位が下腿骨
K045 3	骨折経皮的鋼線刺入固定術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B74 30 14	部位が胸郭
K045 3	骨折経皮的鋼線刺入固定術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B24 30 14	部位が鎖骨
K045 3	骨折経皮的鋼線刺入固定術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B61 30 14	部位が手根骨
K045 3	骨折経皮的鋼線刺入固定術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B68 30 14	部位が中手骨
K045 3	骨折経皮的鋼線刺入固定術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B69 30 14	部位が手指骨
K045 3	骨折経皮的鋼線刺入固定術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	BAB 30 14	部位が膝蓋骨
K045 3	骨折経皮的鋼線刺入固定術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	BBH 30 14	部位が足根骨

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K045 3	骨折経皮的鋼線刺入固定術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	BBJ 30 14	部位が中足骨
K045 3	骨折経皮的鋼線刺入固定術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	BBK 30 14	部位が足趾骨
K045 3	骨折経皮的鋼線刺入固定術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	C11 30 14	部位が脊椎
K045 3	骨折経皮的鋼線刺入固定術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	C51 30 14	部位が骨盤
K046 1	骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 30 04	部位が肩甲骨
K046 1	骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	B23 30 04	部位が上腕骨
K046 1	骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	B94 30 04	部位が大腿骨
K046 2	骨折観血的手術 前腕、下腿、手舟状骨	B44 30 04	部位が前腕骨
K046 2	骨折観血的手術 前腕、下腿、手舟状骨	B61 30 04	部位が手舟状骨
K046 2	骨折観血的手術 前腕、下腿、手舟状骨	BAG 30 04	部位が下腿骨
K046 3	骨折観血的手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く。)、足、指(手、足)その他	B74 30 04	部位が胸郭
K046 3	骨折観血的手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く。)、足、指(手、足)その他	B24 30 04	部位が鎖骨
K046 3	骨折観血的手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く。)、足、指(手、足)その他	B61 30 04	部位が手根骨(舟状骨を除く)
K046 3	骨折観血的手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く。)、足、指(手、足)その他	B68 30 04	部位が中手骨
K046 3	骨折観血的手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く。)、足、指(手、足)その他	B69 30 04	部位が手指骨
K046 3	骨折観血的手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く。)、足、指(手、足)その他	BAB 30 04	部位が膝蓋骨
K046 3	骨折観血的手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く。)、足、指(手、足)その他	BBH 30 04	部位が足根骨
K046 3	骨折観血的手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く。)、足、指(手、足)その他	BBJ 30 04	部位が中足骨
K046 3	骨折観血的手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く。)、足、指(手、足)その他	BBK 30 04	部位が足趾骨
K046-2 1	観血的整復固定術(インプラント周囲骨折に対するもの) 肩甲骨、上腕、大腿	B25 30 04	部位が肩甲骨
K046-2 1	観血的整復固定術(インプラント周囲骨折に対するもの) 肩甲骨、上腕、大腿	B23 30 04	部位が上腕骨
K046-2 1	観血的整復固定術(インプラント周囲骨折に対するもの) 肩甲骨、上腕、大腿	B94 30 04	部位が大腿骨
K046-2 2	観血的整復固定術(インプラント周囲骨折に対するもの) 前腕、下腿	B44 30 04	部位が前腕骨
K046-2 2	観血的整復固定術(インプラント周囲骨折に対するもの) 前腕、下腿	BAG 30 04	部位が下腿骨
K046-2 3	観血的整復固定術(インプラント周囲骨折に対するもの) 手、足、指(手、足)	B74 30 04	部位が胸郭
K046-2 3	観血的整復固定術(インプラント周囲骨折に対するもの) 手、足、指(手、足)	B61 30 04	部位が手根骨
K046-2 3	観血的整復固定術(インプラント周囲骨折に対するもの) 手、足、指(手、足)	B68 30 04	部位が中手骨
K046-2 3	観血的整復固定術(インプラント周囲骨折に対するもの) 手、足、指(手、足)	B69 30 04	部位が手指骨
K046-2 3	観血的整復固定術(インプラント周囲骨折に対するもの) 手、足、指(手、足)	BBH 30 04	部位が足根骨
K046-2 3	観血的整復固定術(インプラント周囲骨折に対するもの) 手、足、指(手、足)	BBJ 30 04	部位が中足骨
K046-2 3	観血的整復固定術(インプラント周囲骨折に対するもの) 手、足、指(手、足)	BBK 30 04	部位が足趾骨
K046-3	一時的創外固定骨折治療術	B74 30 14	部位が胸郭
K046-3	一時的創外固定骨折治療術	B24 30 14	部位が鎖骨
K046-3	一時的創外固定骨折治療術	B25 30 14	部位が肩甲骨
K046-3	一時的創外固定骨折治療術	B23 30 14	部位が上腕骨
K046-3	一時的創外固定骨折治療術	B44 30 14	部位が前腕骨
K046-3	一時的創外固定骨折治療術	B61 30 14	部位が手根骨

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K046-3	一時的創外固定骨折治療術	B68 30 14	部位が中手骨
K046-3	一時的創外固定骨折治療術	B69 30 14	部位が手指骨
K046-3	一時的創外固定骨折治療術	B94 30 14	部位が大腿骨
K046-3	一時的創外固定骨折治療術	BAB 30 14	部位が膝蓋骨
K046-3	一時的創外固定骨折治療術	BAG 30 14	部位が下腿骨
K046-3	一時的創外固定骨折治療術	BBH 30 14	部位が足根骨
K046-3	一時的創外固定骨折治療術	BBJ 30 14	部位が中足骨
K046-3	一時的創外固定骨折治療術	BBK 30 14	部位が足趾骨
K046-3	一時的創外固定骨折治療術	C11 30 14	部位が脊椎
K046-3	一時的創外固定骨折治療術	C51 30 14	部位が骨盤骨
K047	難治性骨折電磁波電気治療法(一連につき)	B12 30 44	
K047-2	難治性骨折超音波治療法(一連につき)	B12 30 44	
K047-3	超音波骨折治療法(一連につき)	B12 30 44	
K048 1	骨内異物(挿入物を含む。)除去術 頭蓋、顔面(複数切開を要するもの)	D74 17 00	
K048 2	骨内異物(挿入物を含む。)除去術 その他の頭蓋、顔面、肩甲骨、上腕、大腿	B25 17 04	部位が肩甲骨
K048 2	骨内異物(挿入物を含む。)除去術 その他の頭蓋、顔面、肩甲骨、上腕、大腿	B23 17 04	部位が上腕骨
K048 2	骨内異物(挿入物を含む。)除去術 その他の頭蓋、顔面、肩甲骨、上腕、大腿	B94 17 04	部位が大腿骨
K048 2	骨内異物(挿入物を含む。)除去術 その他の頭蓋、顔面、肩甲骨、上腕、大腿	D74 17 00	部位が頭蓋または顔面
K048 3	骨内異物(挿入物を含む。)除去術 前腕、下腿	B44 17 04	部位が前腕骨
K048 3	骨内異物(挿入物を含む。)除去術 前腕、下腿	BAG 17 04	部位が下腿骨
K048 4	骨内異物(挿入物を含む。)除去術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B74 17 04	部位が胸郭
K048 4	骨内異物(挿入物を含む。)除去術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B24 17 04	部位が鎖骨
K048 4	骨内異物(挿入物を含む。)除去術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B61 17 04	部位が手根骨
K048 4	骨内異物(挿入物を含む。)除去術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B68 17 04	部位が中手骨
K048 4	骨内異物(挿入物を含む。)除去術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B69 17 04	部位が手指骨
K048 4	骨内異物(挿入物を含む。)除去術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	BAB 17 04	部位が膝蓋骨
K048 4	骨内異物(挿入物を含む。)除去術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	BBH 17 04	部位が足根骨
K048 4	骨内異物(挿入物を含む。)除去術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	BBJ 17 04	部位が中足骨
K048 4	骨内異物(挿入物を含む。)除去術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	BBK 17 04	部位が足趾骨
K049 1	骨部分切除術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 11 04	部位が肩甲骨
K049 1	骨部分切除術 肩甲骨、上腕、大腿	B23 11 04	部位が上腕骨
K049 1	骨部分切除術 肩甲骨、上腕、大腿	B94 11 04	部位が大腿骨
K049 2	骨部分切除術 前腕、下腿	B44 11 04	部位が前腕骨
K049 2	骨部分切除術 前腕、下腿	BAG 11 04	部位が下腿骨
K049 3	骨部分切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B74 11 04	部位が胸郭
K049 3	骨部分切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B24 11 04	部位が鎖骨
K049 3	骨部分切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B61 11 04	部位が手根骨
K049 3	骨部分切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B68 11 04	部位が中手骨
K049 3	骨部分切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B69 11 04	部位が手指骨
K049 3	骨部分切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	BAB 11 04	部位が膝蓋骨
K049 3	骨部分切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	BBH 11 04	部位が足根骨
K049 3	骨部分切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	BBJ 11 04	部位が中足骨
K049 3	骨部分切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	BBK 11 04	部位が足趾骨
K049 3	骨部分切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	C11 11 04	部位が脊椎
K049 3	骨部分切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	C51 11 04	部位が骨盤
K050 1	腐骨摘出術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 17 04	部位が肩甲骨

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬 コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K050 1	腐骨摘出術 肩甲骨、上腕、大腿	B23 17 04	部位が上腕骨
K050 1	腐骨摘出術 肩甲骨、上腕、大腿	B94 17 04	部位が大腿骨
K050 2	腐骨摘出術 前腕、下腿	B44 17 04	部位が前腕骨
K050 2	腐骨摘出術 前腕、下腿	BAG 17 04	部位が下腿骨
K050 3	腐骨摘出術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B74 17 04	部位が胸郭
K050 3	腐骨摘出術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B24 17 04	部位が鎖骨
K050 3	腐骨摘出術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B61 17 04	部位が手根骨
K050 3	腐骨摘出術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B68 17 04	部位が中手骨
K050 3	腐骨摘出術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B69 17 04	部位が手指骨
K050 3	腐骨摘出術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BAB 17 04	部位が膝蓋骨
K050 3	腐骨摘出術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BBH 17 04	部位が足根骨
K050 3	腐骨摘出術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BBJ 17 04	部位が中足骨
K050 3	腐骨摘出術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BBK 17 04	部位が足趾骨
K050 3	腐骨摘出術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	C11 17 04	部位が脊椎
K050 3	腐骨摘出術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	C51 17 04	部位が骨盤
K050 3	腐骨摘出術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B12 17 04	部位が上記以外の骨の場合
K051 1	骨全摘術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 12 04	部位が肩甲骨
K051 1	骨全摘術 肩甲骨、上腕、大腿	B23 12 04	部位が上腕骨
K051 1	骨全摘術 肩甲骨、上腕、大腿	B94 12 04	部位が大腿骨
K051 2	骨全摘術 前腕、下腿	B44 12 04	部位が前腕骨
K051 2	骨全摘術 前腕、下腿	BAG 12 04	部位が下腿骨
K051 3	骨全摘術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B74 12 04	部位が胸郭
K051 3	骨全摘術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B24 12 04	部位が鎖骨
K051 3	骨全摘術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B61 12 04	部位が手根骨
K051 3	骨全摘術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B68 12 04	部位が中手骨
K051 3	骨全摘術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B69 12 04	部位が手指骨
K051 3	骨全摘術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BAB 12 04	部位が膝蓋骨
K051 3	骨全摘術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BBH 12 04	部位が足根骨
K051 3	骨全摘術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BBJ 12 04	部位が中足骨
K051 3	骨全摘術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BBK 12 04	部位が足趾骨
K051-2	中手骨又は中足骨摘除術(2本以上)	B68 12 04	部位が中手骨
K051-2	中手骨又は中足骨摘除術(2本以上)	BBJ 12 04	部位が中足骨
K052 1	骨腫瘍切除術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 11 04	部位が肩甲骨
K052 1	骨腫瘍切除術 肩甲骨、上腕、大腿	B23 11 04	部位が上腕骨
K052 1	骨腫瘍切除術 肩甲骨、上腕、大腿	B94 11 04	部位が大腿骨
K052 2	骨腫瘍切除術 前腕、下腿	B44 11 04	部位が前腕骨
K052 2	骨腫瘍切除術 前腕、下腿	BAG 11 04	部位が下腿骨
K052 3	骨腫瘍切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B74 11 04	部位が胸郭
K052 3	骨腫瘍切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B24 11 04	部位が鎖骨
K052 3	骨腫瘍切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B61 11 04	部位が手根骨
K052 3	骨腫瘍切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B68 11 04	部位が中手骨
K052 3	骨腫瘍切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B69 11 04	部位が手指骨
K052 3	骨腫瘍切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	BAB 11 04	部位が膝蓋骨
K052 3	骨腫瘍切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	BBH 11 04	部位が足根骨
K052 3	骨腫瘍切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	BBJ 11 04	部位が中足骨
K052 3	骨腫瘍切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	BBK 11 04	部位が足趾骨
K053 1	骨悪性腫瘍手術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 11 04	部位が肩甲骨で、単純切除の場合
K053 1	骨悪性腫瘍手術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 13 04	部位が肩甲骨で、広汎切除の場合
K053 1	骨悪性腫瘍手術 肩甲骨、上腕、大腿	B23 11 04	部位が上腕骨で、単純切除の場合
K053 1	骨悪性腫瘍手術 肩甲骨、上腕、大腿	B23 13 04	部位が上腕骨で、広汎切除の場合
K053 1	骨悪性腫瘍手術 肩甲骨、上腕、大腿	B94 11 04	部位が大腿骨で、単純切除の場合
K053 1	骨悪性腫瘍手術 肩甲骨、上腕、大腿	B94 13 04	部位が大腿骨で、広汎切除の場合

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K053 2	骨悪性腫瘍手術 前腕、下腿	B44 11 04	部位が前腕骨で、単純切除の場合
K053 2	骨悪性腫瘍手術 前腕、下腿	B44 13 04	部位が前腕骨で、広汎切除の場合
K053 2	骨悪性腫瘍手術 前腕、下腿	BAG 11 04	部位が下腿骨で、単純切除の場合
K053 2	骨悪性腫瘍手術 前腕、下腿	BAG 13 04	部位が下腿骨で、広汎切除の場合
K053 3	骨悪性腫瘍手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B74 11 04	部位が胸郭で、単純切除の場合
K053 3	骨悪性腫瘍手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B74 13 04	部位が胸郭で、広汎切除の場合
K053 3	骨悪性腫瘍手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B24 11 04	部位が鎖骨で、単純切除の場合
K053 3	骨悪性腫瘍手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B24 13 04	部位が鎖骨で、広汎切除の場合
K053 3	骨悪性腫瘍手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B61 11 04	部位が手根骨で、単純切除の場合
K053 3	骨悪性腫瘍手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B61 13 04	部位が手根骨で、広汎切除の場合
K053 3	骨悪性腫瘍手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B68 11 04	部位が中手骨で、単純切除の場合
K053 3	骨悪性腫瘍手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B68 13 04	部位が中手骨で、広汎切除の場合
K053 3	骨悪性腫瘍手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B69 11 04	部位が手指骨で、単純切除の場合
K053 3	骨悪性腫瘍手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B69 13 04	部位が手指骨で、広汎切除の場合
K053 3	骨悪性腫瘍手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BAB 11 04	部位が膝蓋骨で、単純切除の場合
K053 3	骨悪性腫瘍手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BAB 13 04	部位が膝蓋骨で、広汎切除の場合
K053 3	骨悪性腫瘍手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BBH 11 04	部位が足根骨で、単純切除の場合
K053 3	骨悪性腫瘍手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BBH 13 04	部位が足根骨で、広汎切除の場合
K053 3	骨悪性腫瘍手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BBJ 11 04	部位が中足骨で、単純切除の場合
K053 3	骨悪性腫瘍手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BBJ 13 04	部位が中足骨で、広汎切除の場合
K053 3	骨悪性腫瘍手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BBK 11 04	部位が足趾骨で、単純切除の場合
K053 3	骨悪性腫瘍手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	BBK 13 04	部位が足趾骨で、広汎切除の場合
K054 1	骨切り術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 32 04	部位が肩甲骨で、単純切除の場合
K054 1	骨切り術 肩甲骨、上腕、大腿	B23 32 04	部位が上腕骨で、単純切除の場合
K054 1	骨切り術 肩甲骨、上腕、大腿	B23 32 0B	部位が上腕骨で、カスタムガイドを用いる場合
K054 1	骨切り術 肩甲骨、上腕、大腿	B94 32 04	部位が大腿骨
K054 2	骨切り術 前腕、下腿	B44 32 04	部位が前腕骨
K054 2	骨切り術 前腕、下腿	B44 32 0B	部位が前腕骨で、カスタムガイドを用いる場合
K054 2	骨切り術 前腕、下腿	BAG 32 04	部位が下腿骨
K054 3	骨切り術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B74 32 04	部位が胸郭
K054 3	骨切り術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B24 32 04	部位が鎖骨
K054 3	骨切り術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B68 32 04	部位が中手骨
K054 3	骨切り術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B69 32 04	部位が手指骨
K054 3	骨切り術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	BAB 32 04	部位が膝蓋骨
K054 3	骨切り術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	BBJ 32 04	部位が中足骨
K054 3	骨切り術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	BBK 32 04	部位が足趾骨
K055-2	大腿骨頭回転骨切り術	B91 32 04	
K055-3	大腿骨近位部(転子間を含む。)骨切り術	B94 32 04	
K056 1	偽関節手術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 30 04	部位が肩甲骨
K056 1	偽関節手術 肩甲骨、上腕、大腿	B23 30 04	部位が上腕骨

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K056 1	偽関節手術 肩甲骨、上腕、大腿	B94 30 04	部位が大腿骨
K056 2	偽関節手術 前腕、下腿、手舟状骨	B44 30 04	部位が前腕骨
K056 2	偽関節手術 前腕、下腿、手舟状骨	B61 30 00	部位が手舟状骨
K056 2	偽関節手術 前腕、下腿、手舟状骨	BAG 30 04	部位が下腿骨
K056 3	偽関節手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く。)、足、指(手、足)その他	B74 30 04	部位が胸郭
K056 3	偽関節手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く。)、足、指(手、足)その他	B24 30 04	部位が鎖骨
K056 3	偽関節手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く。)、足、指(手、足)その他	B61 30 04	部位が手根骨(舟状骨以外)
K056 3	偽関節手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く。)、足、指(手、足)その他	B68 30 04	部位が中手骨
K056 3	偽関節手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く。)、足、指(手、足)その他	B69 30 04	部位が手指骨
K056 3	偽関節手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く。)、足、指(手、足)その他	BAB 30 04	部位が膝蓋骨
K056 3	偽関節手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く。)、足、指(手、足)その他	BBH 30 04	部位が足根骨
K056 3	偽関節手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く。)、足、指(手、足)その他	BBJ 30 04	部位が中足骨
K056 3	偽関節手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く。)、足、指(手、足)その他	BBK 30 04	部位が足趾骨
K056-2	難治性感染性偽関節手術(創外固定器によるもの)	B12 30 00	
K057 1	変形治癒骨折矯正手術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 32 04	部位が肩甲骨
K057 1	変形治癒骨折矯正手術 肩甲骨、上腕、大腿	B23 32 04	部位が上腕骨
K057 1	変形治癒骨折矯正手術 肩甲骨、上腕、大腿	B23 32 0B	部位が上腕骨で、カスタムガイドを用いる場合
K057 1	変形治癒骨折矯正手術 肩甲骨、上腕、大腿	B94 32 04	部位が大腿骨
K057 2	変形治癒骨折矯正手術 前腕、下腿	B44 32 04	部位が前腕骨
K057 2	変形治癒骨折矯正手術 前腕、下腿	B44 32 0B	部位が前腕骨で、カスタムガイドを用いる場合
K057 2	変形治癒骨折矯正手術 前腕、下腿	BAG 32 04	部位が下腿骨
K057 3	変形治癒骨折矯正手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B74 32 04	部位が胸郭
K057 3	変形治癒骨折矯正手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B24 32 04	部位が鎖骨
K057 3	変形治癒骨折矯正手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B61 32 04	部位が手根骨
K057 3	変形治癒骨折矯正手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B68 32 04	部位が中手骨
K057 3	変形治癒骨折矯正手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B69 32 04	部位が手指骨
K057 3	変形治癒骨折矯正手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	BAB 32 04	部位が膝蓋骨
K057 3	変形治癒骨折矯正手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B61 32 04	部位が手根骨
K057 3	変形治癒骨折矯正手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	BBH 32 04	部位が足根骨
K057 3	変形治癒骨折矯正手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	BBJ 32 04	部位が中足骨
K057 3	変形治癒骨折矯正手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	BBK 32 04	部位が足趾骨
K057 3	変形治癒骨折矯正手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	C11 32 04	部位が脊椎
K057 3	変形治癒骨折矯正手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	C51 32 04	部位が骨盤
K058 1	骨長調整手術 骨端軟骨発育抑制術	B12 32 04	
K058 2	骨長調整手術 骨短縮術	B12 32 04	
K058 3	骨長調整手術 骨延長術(指(手、足))	B69 32 04	部位が手指骨
K058 3	骨長調整手術 骨延長術(指(手、足))	BBK 32 04	部位が足趾骨
K058 4	骨長調整手術 骨延長術(指(手、足)以外)	B12 32 04	
K059 1	骨移植術(軟骨移植術を含む。)自家骨移植	B12 43 00	自家骨移植術の場合

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K059 1	骨移植術(軟骨移植術を含む。)自家骨移植	B12 43 04	自家軟骨移植術の場合
K059 2	骨移植術(軟骨移植術を含む。)同種骨移植(生体)	B12 43 00	同種骨移植術(生体骨)の場合
K059 2	骨移植術(軟骨移植術を含む。)同種骨移植(生体)	B12 43 04	同種軟骨移植術(生体骨)の場合
K059 3 イ	骨移植術(軟骨移植術を含む。)同種骨移植(非生体) 同種骨移植(特殊なもの)	B12 43 00	
K059 3 ロ	骨移植術(軟骨移植術を含む。)同種骨移植(非生体) その他の場合	B12 43 00	
K059 4	骨移植術(軟骨移植術を含む。)自家培養軟骨移植術	B12 43 00	
K059-2	関節鏡下自家骨軟骨移植術	B12 43 11	
K060 1	関節切開術 肩、股、膝	B28 16 00	部位が肩関節
K060 1	関節切開術 肩、股、膝	B91 16 00	部位が股関節
K060 1	関節切開術 肩、股、膝	BA2 16 00	部位が膝関節
K060 2	関節切開術 胸鎖、肘、手、足	B26 16 00	部位が胸鎖関節
K060 2	関節切開術 胸鎖、肘、手、足	B42 16 00	部位が肘関節
K060 2	関節切開術 胸鎖、肘、手、足	B64 16 00	部位が手関節
K060 2	関節切開術 胸鎖、肘、手、足	BB2 16 00	部位が足関節および距骨周囲関節
K060 3	関節切開術 肩鎖、指(手、足)	B26 16 00	部位が肩鎖関節
K060 3	関節切開術 肩鎖、指(手、足)	B6F 16 00	部位が中手指節関節
K060 3	関節切開術 肩鎖、指(手、足)	B6B 16 00	部位が手指節間関節
K060 3	関節切開術 肩鎖、指(手、足)	BBM 16 00	部位が中足趾節関節
K060 3	関節切開術 肩鎖、指(手、足)	BBN 16 00	部位が足趾節間関節
K060-2 1	肩甲関節周囲沈着石灰摘出術 観血的に行うもの	B29 10 00	
K060-2 2	肩甲関節周囲沈着石灰摘出術 関節鏡下で行うもの	B29 10 11	
K060-3 1	化膿性又は結核性関節炎搔爬術 肩、股、膝	B28 16 04	部位が肩関節
K060-3 1	化膿性又は結核性関節炎搔爬術 肩、股、膝	B91 16 04	部位が股関節
K060-3 1	化膿性又は結核性関節炎搔爬術 肩、股、膝	BA2 16 04	部位が膝関節
K060-3 2	化膿性又は結核性関節炎搔爬術 胸鎖、肘、手、足	B26 16 04	部位が胸鎖関節
K060-3 2	化膿性又は結核性関節炎搔爬術 胸鎖、肘、手、足	B42 16 04	部位が肘関節
K060-3 2	化膿性又は結核性関節炎搔爬術 胸鎖、肘、手、足	B64 16 04	部位が手関節
K060-3 2	化膿性又は結核性関節炎搔爬術 胸鎖、肘、手、足	BB2 16 04	部位が足関節および距骨周囲関節
K060-3 3	化膿性又は結核性関節炎搔爬術 肩鎖、指(手、足)	B26 16 04	部位が肩鎖関節
K060-3 3	化膿性又は結核性関節炎搔爬術 肩鎖、指(手、足)	B6B 16 04	部位が手指節間関節
K060-3 3	化膿性又は結核性関節炎搔爬術 肩鎖、指(手、足)	B6F 16 04	部位が中手指節関節
K060-3 3	化膿性又は結核性関節炎搔爬術 肩鎖、指(手、足)	BBM 16 04	部位が中足趾節関節
K060-3 3	化膿性又は結核性関節炎搔爬術 肩鎖、指(手、足)	BBN 16 04	部位が足趾節間関節
K061 1	関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝	B28 30 44	部位が肩関節
K061 1	関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝	B91 30 44	部位が股関節
K061 1	関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝	BA2 30 44	部位が膝関節
K061 2	関節脱臼非観血的整復術 胸鎖、肘、手、足	B26 30 44	部位が胸鎖関節
K061 2	関節脱臼非観血的整復術 胸鎖、肘、手、足	B42 30 44	部位が肘関節
K061 2	関節脱臼非観血的整復術 胸鎖、肘、手、足	B64 30 44	部位が手関節
K061 2	関節脱臼非観血的整復術 胸鎖、肘、手、足	BB2 30 44	部位が足関節および距骨周囲関節
K061 3	関節脱臼非観血的整復術 肩鎖、指(手、足)、小児肘内障	B26 30 44	部位が肩鎖関節
K061 3	関節脱臼非観血的整復術 肩鎖、指(手、足)、小児肘内障	B6F 30 44	部位が中手指節関節
K061 3	関節脱臼非観血的整復術 肩鎖、指(手、足)、小児肘内障	B6B 30 44	部位が手指節間関節
K061 3	関節脱臼非観血的整復術 肩鎖、指(手、足)、小児肘内障	BBM 30 44	部位が中足趾節関節
K061 3	関節脱臼非観血的整復術 肩鎖、指(手、足)、小児肘内障	BBN 30 44	部位が足趾節間関節
K061 3	関節脱臼非観血的整復術 肩鎖、指(手、足)、小児肘内障	B42 30 44	小児肘内障の場合
K062 1	先天性股関節脱臼非観血的整復術(両側)リーメンビューゲル法	B91 30 44	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K062 2	先天性股関節脱臼非観血的整復術(両側)その他	B91 30 44	
K063 1	関節脱臼観血的整復術 肩、股、膝	B28 30 04	部位が肩関節
K063 1	関節脱臼観血的整復術 肩、股、膝	B91 30 04	部位が股関節
K063 1	関節脱臼観血的整復術 肩、股、膝	BA2 30 04	部位が膝関節
K063 2	関節脱臼観血的整復術 胸鎖、肘、手、足	B26 30 04	部位が胸鎖関節
K063 2	関節脱臼観血的整復術 胸鎖、肘、手、足	B42 30 04	部位が肘関節
K063 2	関節脱臼観血的整復術 胸鎖、肘、手、足	B64 30 04	部位が手関節
K063 2	関節脱臼観血的整復術 胸鎖、肘、手、足	BB2 30 04	部位が足関節および距骨周囲関節
K063 3	関節脱臼観血的整復術 肩鎖、指(手、足)	B26 30 04	部位が肩鎖関節
K063 3	関節脱臼観血的整復術 肩鎖、指(手、足)	B6B 30 04	部位が手指関節
K063 3	関節脱臼観血的整復術 肩鎖、指(手、足)	BBN 30 04	部位が足趾関節
K064	先天性股関節脱臼観血的整復術	B91 30 04	
K065 1	関節内異物(挿入物を含む。)除去術 肩、股、膝	B28 17 04	部位が肩関節
K065 1	関節内異物(挿入物を含む。)除去術 肩、股、膝	B91 17 04	部位が股関節
K065 1	関節内異物(挿入物を含む。)除去術 肩、股、膝	BA2 17 04	部位が膝関節
K065 2	関節内異物(挿入物を含む。)除去術 胸鎖、肘、手、足	B26 17 04	部位が胸鎖関節
K065 2	関節内異物(挿入物を含む。)除去術 胸鎖、肘、手、足	B42 17 04	部位が肘関節
K065 2	関節内異物(挿入物を含む。)除去術 胸鎖、肘、手、足	B64 17 04	部位が手関節
K065 2	関節内異物(挿入物を含む。)除去術 胸鎖、肘、手、足	BB2 17 04	部位が足関節および距骨周囲関節
K065 3	関節内異物(挿入物を含む。)除去術 肩鎖、指(手、足)	B26 17 04	部位が肩鎖関節
K065 3	関節内異物(挿入物を含む。)除去術 肩鎖、指(手、足)	B6B 17 04	部位が手指関節
K065 3	関節内異物(挿入物を含む。)除去術 肩鎖、指(手、足)	BBN 17 04	部位が足趾関節
K065-2 1	関節鏡下関節内異物(挿入物を含む。)除去術 肩、股、膝	B28 17 11	部位が肩関節
K065-2 1	関節鏡下関節内異物(挿入物を含む。)除去術 肩、股、膝	B91 17 11	部位が股関節
K065-2 1	関節鏡下関節内異物(挿入物を含む。)除去術 肩、股、膝	BA2 17 11	部位が膝関節
K065-2 2	関節鏡下関節内異物(挿入物を含む。)除去術 胸鎖、肘、手、足	B26 17 11	部位が胸鎖関節
K065-2 2	関節鏡下関節内異物(挿入物を含む。)除去術 胸鎖、肘、手、足	B42 17 11	部位が肘関節
K065-2 2	関節鏡下関節内異物(挿入物を含む。)除去術 胸鎖、肘、手、足	B64 17 11	部位が手関節
K065-2 2	関節鏡下関節内異物(挿入物を含む。)除去術 胸鎖、肘、手、足	BB2 17 11	部位が足関節および距骨周囲関節
K065-2 3	関節鏡下関節内異物(挿入物を含む)除去術 肩鎖、指(手、足)	B26 17 11	部位が肩鎖関節
K065-2 3	関節鏡下関節内異物(挿入物を含む)除去術 肩鎖、指(手、足)	B6B 17 11	部位が手指関節
K065-2 3	関節鏡下関節内異物(挿入物を含む)除去術 肩鎖、指(手、足)	BBN 17 11	部位が足趾関節
K066 1	関節滑膜切除術 肩、股、膝	B28 11 00	部位が肩関節
K066 1	関節滑膜切除術 肩、股、膝	B91 11 00	部位が股関節
K066 1	関節滑膜切除術 肩、股、膝	BA2 11 00	部位が膝関節
K066 2	関節滑膜切除術 胸鎖、肘、手、足	B26 11 00	部位が胸鎖関節
K066 2	関節滑膜切除術 胸鎖、肘、手、足	B42 11 00	部位が肘関節
K066 2	関節滑膜切除術 胸鎖、肘、手、足	B64 11 00	部位が手関節
K066 2	関節滑膜切除術 胸鎖、肘、手、足	BB2 11 00	部位が足関節および距骨周囲関節
K066 3	関節滑膜切除術 肩鎖、指(手、足)	B26 11 00	部位が肩鎖関節
K066 3	関節滑膜切除術 肩鎖、指(手、足)	B6B 11 00	部位が手指関節
K066 3	関節滑膜切除術 肩鎖、指(手、足)	BBN 11 00	部位が足趾関節
K066-2 1	関節鏡下関節滑膜切除術 肩、股、膝	B28 11 11	部位が肩関節
K066-2 1	関節鏡下関節滑膜切除術 肩、股、膝	B91 11 11	部位が股関節
K066-2 1	関節鏡下関節滑膜切除術 肩、股、膝	BA2 11 11	部位が膝関節
K066-2 2	関節鏡下関節滑膜切除術 胸鎖、肘、手、足	B26 11 11	部位が胸鎖関節
K066-2 2	関節鏡下関節滑膜切除術 胸鎖、肘、手、足	B42 11 11	部位が肘関節
K066-2 2	関節鏡下関節滑膜切除術 胸鎖、肘、手、足	B64 11 11	部位が手関節

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K066-2 2	関節鏡下関節滑膜切除術 胸鎖、肘、手、足	BB2 11 11	部位が足関節および距骨周囲関節
K066-2 3	関節鏡下関節滑膜切除術 肩鎖、指(手、足)	B26 11 11	部位が肩鎖関節
K066-2 3	関節鏡下関節滑膜切除術 肩鎖、指(手、足)	B6B 11 11	部位が手指関節
K066-2 3	関節鏡下関節滑膜切除術 肩鎖、指(手、足)	BBN 11 11	部位が足趾関節
K066-3 1	滑液膜摘出術 肩、股、膝	B28 11 00	部位が肩関節
K066-3 1	滑液膜摘出術 肩、股、膝	B91 11 00	部位が股関節
K066-3 1	滑液膜摘出術 肩、股、膝	BA2 11 00	部位が膝関節
K066-3 2	滑液膜摘出術 胸鎖、肘、手、足	B26 11 00	部位が胸鎖関節
K066-3 2	滑液膜摘出術 胸鎖、肘、手、足	B42 11 00	部位が肘関節
K066-3 2	滑液膜摘出術 胸鎖、肘、手、足	B64 11 00	部位が手関節
K066-3 2	滑液膜摘出術 胸鎖、肘、手、足	BB2 11 00	部位が足関節および距骨周囲関節
K066-3 3	滑液膜摘出術 肩鎖、指(手、足)	B26 11 00	部位が肩鎖関節
K066-3 3	滑液膜摘出術 肩鎖、指(手、足)	B6B 11 00	部位が手指関節
K066-3 3	滑液膜摘出術 肩鎖、指(手、足)	BBN 11 00	部位が足趾関節
K066-4 1	関節鏡下滑液膜摘出術 肩、股、膝	B28 11 11	部位が肩関節
K066-4 1	関節鏡下滑液膜摘出術 肩、股、膝	B91 11 11	部位が股関節
K066-4 1	関節鏡下滑液膜摘出術 肩、股、膝	BA2 11 11	部位が膝関節
K066-4 2	関節鏡下滑液膜摘出術 胸鎖、肘、手、足	B26 11 11	部位が胸鎖関節
K066-4 2	関節鏡下滑液膜摘出術 胸鎖、肘、手、足	B42 11 11	部位が肘関節
K066-4 2	関節鏡下滑液膜摘出術 胸鎖、肘、手、足	B64 11 11	部位が手関節
K066-4 2	関節鏡下滑液膜摘出術 胸鎖、肘、手、足	BB2 11 11	部位が足関節および距骨周囲関節
K066-4 3	関節鏡下滑液膜摘出術 肩鎖、指(手、足)	B26 11 11	部位が肩鎖関節
K066-4 3	関節鏡下滑液膜摘出術 肩鎖、指(手、足)	B6B 11 11	部位が手指関節
K066-4 3	関節鏡下滑液膜摘出術 肩鎖、指(手、足)	BBN 11 11	部位が足趾関節
K066-5	膝蓋骨滑液嚢切除術	BAB 11 00	
K066-6	関節鏡下膝蓋骨滑液嚢切除術	BAB 11 11	
K066-7	掌指関節滑膜切除術	B6B 11 00	
K066-8	関節鏡下掌指関節滑膜切除術	B6B 11 11	
K067 1	関節鼠摘出手術 肩、股、膝	B28 10 04	部位が肩関節
K067 1	関節鼠摘出手術 肩、股、膝	B91 10 04	部位が股関節
K067 1	関節鼠摘出手術 肩、股、膝	BA2 10 04	部位が膝関節
K067 2	関節鼠摘出手術 胸鎖、肘、手、足	B26 10 07	部位が胸鎖関節
K067 2	関節鼠摘出手術 胸鎖、肘、手、足	B42 10 07	部位が肘関節
K067 2	関節鼠摘出手術 胸鎖、肘、手、足	B64 10 07	部位が手関節
K067 2	関節鼠摘出手術 胸鎖、肘、手、足	BB2 10 17	部位が足関節および距骨周囲関節
K067 3	関節鼠摘出手術 肩鎖、指(手、足)	B26 10 07	部位が肩鎖関節
K067 3	関節鼠摘出手術 肩鎖、指(手、足)	B6B 10 07	部位が手指関節
K067 3	関節鼠摘出手術 肩鎖、指(手、足)	BBN 10 17	部位が足趾関節
K067-2 1	関節鏡下関節鼠摘出手術 肩、股、膝	B28 10 11	部位が肩関節
K067-2 1	関節鏡下関節鼠摘出手術 肩、股、膝	B91 10 11	部位が股関節
K067-2 1	関節鏡下関節鼠摘出手術 肩、股、膝	BA2 10 11	部位が膝関節
K067-2 2	関節鏡下関節鼠摘出手術 胸鎖、肘、手、足	B26 10 11	部位が胸鎖関節
K067-2 2	関節鏡下関節鼠摘出手術 胸鎖、肘、手、足	B42 10 11	部位が肘関節
K067-2 2	関節鏡下関節鼠摘出手術 胸鎖、肘、手、足	B64 10 11	部位が手関節
K067-2 2	関節鏡下関節鼠摘出手術 胸鎖、肘、手、足	BB2 10 11	部位が足関節および距骨周囲関節
K067-2 3	関節鏡下関節鼠摘出手術 肩鎖、指(手、足)	B26 10 11	部位が肩鎖関節
K067-2 3	関節鏡下関節鼠摘出手術 肩鎖、指(手、足)	B6B 10 11	部位が手指関節
K067-2 3	関節鏡下関節鼠摘出手術 肩鎖、指(手、足)	BBN 10 11	部位が足趾関節
K068	半月板切除術	BA6 11 00	
K068-2	関節鏡下半月板切除術	BA6 11 11	
K069	半月板縫合術	BA6 30 00	
K069-2	関節鏡下三角線維軟骨複合体切除・縫合術	B64 12 11	切除術の場合

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K069-2	関節鏡下三角線維軟骨複合体切除・縫合術	B64 30 11	縫合術の場合
K069-3	関節鏡下半月板縫合術	BA6 30 11	
K070 1	ガングリオン摘出術 手、足、指(手、足)	B52 10 00	部位が手
K070 1	ガングリオン摘出術 手、足、指(手、足)	B55 10 00	部位が手指
K070 1	ガングリオン摘出術 手、足、指(手、足)	BB3 10 00	部位が足
K070 1	ガングリオン摘出術 手、足、指(手、足)	BB6 10 00	部位が足趾
K070 2	ガングリオン摘出術 その他(ヒグローム摘出術を含む。)	B81 10 00	
K072 1	関節切除術 肩、股、膝	B28 11 04	部位が肩関節
K072 1	関節切除術 肩、股、膝	B91 11 04	部位が股関節
K072 1	関節切除術 肩、股、膝	BA2 11 04	部位が膝関節
K072 2	関節切除術 胸鎖、肘、手、足	B26 11 04	部位が胸鎖関節
K072 2	関節切除術 胸鎖、肘、手、足	B42 11 04	部位が肘関節
K072 2	関節切除術 胸鎖、肘、手、足	B64 11 04	部位が手関節
K072 2	関節切除術 胸鎖、肘、手、足	BB2 11 04	部位が足関節および距骨周囲関節
K072 3	関節切除術 肩鎖、指(手、足)	B26 11 04	部位が肩鎖関節
K072 3	関節切除術 肩鎖、指(手、足)	B6B 11 04	部位が手指関節
K072 3	関節切除術 肩鎖、指(手、足)	BBN 11 04	部位が足趾関節
K073 1	関節内骨折観血的手術 肩、股、膝、肘	B28 30 04	部位が肩関節
K073 1	関節内骨折観血的手術 肩、股、膝、肘	B42 30 04	部位が肘関節
K073 1	関節内骨折観血的手術 肩、股、膝、肘	B91 30 04	部位が股関節
K073 1	関節内骨折観血的手術 肩、股、膝、肘	BA2 30 04	部位が膝関節
K073 2	関節内骨折観血的手術 胸鎖、手、足	B26 30 04	部位が胸鎖関節
K073 2	関節内骨折観血的手術 胸鎖、手、足	B64 30 04	部位が手関節
K073 2	関節内骨折観血的手術 胸鎖、手、足	BB2 30 04	部位が足関節および距骨周囲関節
K073 3	関節内骨折観血的手術 肩鎖、指(手、足)	B26 30 04	部位が肩鎖関節
K073 3	関節内骨折観血的手術 肩鎖、指(手、足)	B6B 30 04	部位が手指関節
K073 3	関節内骨折観血的手術 肩鎖、指(手、足)	BBN 30 04	部位が足趾関節
K073-2 1	関節鏡下関節内骨折観血的手術 肩、股、膝、肘	B28 30 11	部位が肩関節
K073-2 1	関節鏡下関節内骨折観血的手術 肩、股、膝、肘	B42 30 11	部位が肘関節
K073-2 1	関節鏡下関節内骨折観血的手術 肩、股、膝、肘	B91 30 11	部位が股関節
K073-2 1	関節鏡下関節内骨折観血的手術 肩、股、膝、肘	BA2 30 11	部位が膝関節
K073-2 2	関節鏡下関節内骨折観血的手術 胸鎖、手、足	B26 30 11	部位が胸鎖関節
K073-2 2	関節鏡下関節内骨折観血的手術 胸鎖、手、足	B64 30 11	部位が手関節
K073-2 2	関節鏡下関節内骨折観血的手術 胸鎖、手、足	BB2 30 11	部位が足関節および距骨周囲関節
K073-2 3	関節鏡下関節内骨折観血的手術 肩鎖、指(手、足)	B26 30 11	部位が肩鎖関節
K073-2 3	関節鏡下関節内骨折観血的手術 肩鎖、指(手、足)	B6B 30 11	部位が手指関節
K073-2 3	関節鏡下関節内骨折観血的手術 肩鎖、指(手、足)	BBN 30 11	部位が足趾関節
K074 1	靭帯断裂縫合術 十字靭帯	BA9 30 00	
K074 2	靭帯断裂縫合術 膝側副靭帯	BA7 30 00	部位が膝内側側副靭帯
K074 2	靭帯断裂縫合術 膝側副靭帯	BA8 30 00	部位が膝外側側副靭帯
K074 3	靭帯断裂縫合術 指(手、足)その他の靭帯	B6G 30 00	部位が手指靭帯
K074 3	靭帯断裂縫合術 指(手、足)その他の靭帯	BBP 30 00	部位が足趾靭帯
K074 3	靭帯断裂縫合術 指(手、足)その他の靭帯	B19 30 00	部位が膝または手足の指以外
K074-2 1	関節鏡下靭帯断裂縫合術 十字靭帯	BA9 30 11	
K074-2 2	関節鏡下靭帯断裂縫合術 膝側副靭帯	BA7 30 11	部位が膝内側側副靭帯
K074-2 2	関節鏡下靭帯断裂縫合術 膝側副靭帯	BA8 30 11	部位が膝外側側副靭帯
K074-2 3	関節鏡下靭帯断裂縫合術 指(手、足)その他の靭帯	B6G 30 11	部位が手指靭帯
K074-2 3	関節鏡下靭帯断裂縫合術 指(手、足)その他の靭帯	BBP 30 11	部位が足趾靭帯
K074-2 3	関節鏡下靭帯断裂縫合術 指(手、足)その他の靭帯	B19 30 11	部位が膝または手足の指以外
K075 1	非観血的関節授動術 肩、股、膝	B28 30 44	部位が肩関節
K075 1	非観血的関節授動術 肩、股、膝	B91 30 44	部位が股関節
K075 1	非観血的関節授動術 肩、股、膝	BA2 30 44	部位が膝関節
K075 2	非観血的関節授動術 胸鎖、肘、手、足	B26 30 44	部位が胸鎖関節
K075 2	非観血的関節授動術 胸鎖、肘、手、足	B42 30 44	部位が肘関節

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K075 2	非観血的関節授動術 胸鎖、肘、手、足	B64 30 44	部位が手関節
K075 2	非観血的関節授動術 胸鎖、肘、手、足	BB2 30 44	部位が足関節および距骨周囲関節
K075 3	非観血的関節授動術 肩鎖、指(手、足)	B26 30 44	部位が肩鎖関節
K075 3	非観血的関節授動術 肩鎖、指(手、足)	B6B 30 44	部位が手指関節
K075 3	非観血的関節授動術 肩鎖、指(手、足)	BBN 30 44	部位が足趾関節
K076 1	観血的関節授動術 肩、股、膝	B28 30 04	部位が肩関節
K076 1	観血的関節授動術 肩、股、膝	B91 30 04	部位が股関節
K076 1	観血的関節授動術 肩、股、膝	BA2 30 04	部位が膝関節
K076 2	観血的関節授動術 胸鎖、肘、手、足	B26 30 04	部位が胸鎖関節
K076 2	観血的関節授動術 胸鎖、肘、手、足	B42 30 04	部位が肘関節
K076 2	観血的関節授動術 胸鎖、肘、手、足	B64 30 04	部位が手関節
K076 2	観血的関節授動術 胸鎖、肘、手、足	BB2 30 04	部位が足関節および距骨周囲関節
K076 3	観血的関節授動術 肩鎖、指(手、足)	B26 30 04	部位が肩鎖関節
K076 3	観血的関節授動術 肩鎖、指(手、足)	B6B 30 04	部位が手指関節
K076 3	観血的関節授動術 肩鎖、指(手、足)	BBN 30 04	部位が足趾関節
K076-2 1	関節鏡下関節授動術 肩、股、膝	B28 30 11	部位が肩関節
K076-2 1	関節鏡下関節授動術 肩、股、膝	B91 30 11	部位が股関節
K076-2 1	関節鏡下関節授動術 肩、股、膝	BA2 30 11	部位が膝関節
K076-2 2	関節鏡下関節授動術 胸鎖、肘、手、足	B26 30 11	部位が胸鎖関節
K076-2 2	関節鏡下関節授動術 胸鎖、肘、手、足	B42 30 11	部位が肘関節
K076-2 2	関節鏡下関節授動術 胸鎖、肘、手、足	B64 30 11	部位が手関節
K076-2 2	関節鏡下関節授動術 胸鎖、肘、手、足	BB2 30 11	部位が足関節および距骨周囲関節
K076-2 3	関節鏡下関節授動術 肩鎖、指(手、足)	B26 30 11	部位が肩鎖関節
K076-2 3	関節鏡下関節授動術 肩鎖、指(手、足)	B6B 30 11	部位が手指関節
K076-2 3	関節鏡下関節授動術 肩鎖、指(手、足)	BBN 30 11	部位が足趾関節
K077 1	観血的関節制動術 肩、股、膝	B28 30 04	部位が肩関節
K077 1	観血的関節制動術 肩、股、膝	B91 30 04	部位が股関節
K077 1	観血的関節制動術 肩、股、膝	BA2 30 04	部位が膝関節
K077 2	観血的関節制動術 胸鎖、肘、手、足	B26 30 04	部位が胸鎖関節
K077 2	観血的関節制動術 胸鎖、肘、手、足	B42 30 04	部位が肘関節
K077 2	観血的関節制動術 胸鎖、肘、手、足	B64 30 04	部位が手関節
K077 2	観血的関節制動術 胸鎖、肘、手、足	BB2 30 04	部位が足関節および距骨周囲関節
K077 3	観血的関節制動術 肩鎖、指(手、足)	B26 30 04	部位が肩鎖関節
K077 3	観血的関節制動術 肩鎖、指(手、足)	B6B 30 04	部位が手指関節
K077 3	観血的関節制動術 肩鎖、指(手、足)	BBN 30 04	部位が足趾関節
K078 1	観血的関節固定術 肩、股、膝	B28 38 04	部位が肩関節
K078 1	観血的関節固定術 肩、股、膝	B91 38 04	部位が股関節
K078 1	観血的関節固定術 肩、股、膝	BA2 38 04	部位が膝関節
K078 2	観血的関節固定術 胸鎖、肘、手、足	B26 38 04	部位が胸鎖関節
K078 2	観血的関節固定術 胸鎖、肘、手、足	B42 38 04	部位が肘関節
K078 2	観血的関節固定術 胸鎖、肘、手、足	B64 38 04	部位が手関節
K078 2	観血的関節固定術 胸鎖、肘、手、足	BB2 38 04	部位が足関節および距骨周囲関節
K078 3	観血的関節固定術 肩鎖、指(手、足)	B26 38 04	部位が肩鎖関節
K078 3	観血的関節固定術 肩鎖、指(手、足)	B6B 38 04	部位が手指関節
K078 3	観血的関節固定術 肩鎖、指(手、足)	BBN 38 04	部位が足趾関節
K079 1	靭帯断裂形成手術 十字靭帯	BA9 30 00	
K079 2	靭帯断裂形成手術 膝側副靭帯	BA7 30 00	部位が内側副靭帯
K079 2	靭帯断裂形成手術 膝側副靭帯	BA8 30 00	部位が外側副靭帯
K079 3	靭帯断裂形成手術 指(手、足)その他の靭帯	B6G 30 00	部位が手指靭帯
K079 3	靭帯断裂形成手術 指(手、足)その他の靭帯	BA9 30 00	部位が内側膝蓋大腿靭帯
K079 3	靭帯断裂形成手術 指(手、足)その他の靭帯	BBP 30 00	部位が足趾靭帯
K079 3	靭帯断裂形成手術 指(手、足)その他の靭帯	B19 30 00	部位が膝または手足の指以外

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K079-2 1	関節鏡下靭帯断裂形成手術 十字靭帯	BA9 30 11	
K079-2 2	関節鏡下靭帯断裂形成手術 膝側副靭帯	BA7 30 11	部位が内側側副靭帯
K079-2 2	関節鏡下靭帯断裂形成手術 膝側副靭帯	BA8 30 11	部位が外側側副靭帯
K079-2 3	関節鏡下靭帯断裂形成手術 指(手、足)その他の靭帯	B6G 30 11	部位が手指靭帯
K079-2 3	関節鏡下靭帯断裂形成手術 指(手、足)その他の靭帯	BBP 30 11	部位が足趾靭帯
K079-2 3	関節鏡下靭帯断裂形成手術 指(手、足)その他の靭帯	B19 30 11	部位が膝または手足の指以外
K079-2 4	関節鏡下靭帯断裂形成手術 内側膝蓋大腿靭帯	BA9 30 11	
K080 1	関節形成手術 肩、股、膝	B28 30 04	部位が肩関節
K080 1	関節形成手術 肩、股、膝	B91 30 04	部位が股関節
K080 1	関節形成手術 肩、股、膝	BA2 30 04	部位が膝関節
K080 2	関節形成手術 胸鎖、肘、手、足	B26 30 04	部位が胸鎖関節
K080 2	関節形成手術 胸鎖、肘、手、足	B42 30 04	部位が肘関節
K080 2	関節形成手術 胸鎖、肘、手、足	B64 30 04	部位が手関節
K080 2	関節形成手術 胸鎖、肘、手、足	BB2 30 04	部位が足関節および距骨周囲関節
K080 3	関節形成手術 肩鎖、指(手、足)	B26 30 04	部位が肩鎖関節
K080 3	関節形成手術 肩鎖、指(手、足)	B6B 30 04	部位が手指関節
K080 3	関節形成手術 肩鎖、指(手、足)	BBN 30 04	部位が足趾関節
K080-2	内反足手術	BB2 30 04	
K080-3 1	肩腱板断裂手術 簡単なもの	B29 30 00	腱板断裂5cm未満
K080-3 2	肩腱板断裂手術 複雑なもの	B29 30 00	腱板断裂5cm以上、筋膜筋腱移植を伴うもの
K080-4 1	関節鏡下肩腱板断裂手術 簡単なもの	B29 30 11	5cm未満
K080-4 2	関節鏡下肩腱板断裂手術 複雑なもの	B29 30 11	腱板断裂5cm以上、筋膜筋腱移植を伴うもの
K080-5 1	関節鏡下肩関節唇形成術 腱板断裂を伴うもの	B28 30 11	
K080-5 2	関節鏡下肩関節唇形成術 腱板断裂を伴わないもの	B28 30 11	
K080-6	関節鏡下股関節唇形成術	B92 30 11	
K081 1	人工骨頭挿入術 肩、股	B28 34 04	部位が肩関節
K081 1	人工骨頭挿入術 肩、股	B91 34 04	部位が股関節
K081 1	人工骨頭挿入術 肩、股	BA2 34 04	人工骨頭挿入術・膝関節
K081 2	人工骨頭挿入術 肘、手、足	B42 34 04	部位が肘関節
K081 2	人工骨頭挿入術 肘、手、足	B64 34 04	部位が手関節
K081 2	人工骨頭挿入術 肘、手、足	BB2 34 04	部位が足関節および距骨周囲関節
K081 3	人工骨頭挿入術 指(手、足)	B26 34 04	部位が肩鎖関節
K081 3	人工骨頭挿入術 指(手、足)	B6B 34 04	部位が手指関節
K081 3	人工骨頭挿入術 指(手、足)	BBN 34 04	部位が足趾関節
K082 1	人工関節置換術 肩、股、膝	B28 34 04	部位が肩関節
K082 1	人工関節置換術 肩、股、膝	B91 34 04	部位が股関節
K082 1	人工関節置換術 肩、股、膝	BA2 34 04	部位が膝関節
K082 2	人工関節置換術 胸鎖、肘、手、足	B26 34 04	部位が胸鎖関節
K082 2	人工関節置換術 胸鎖、肘、手、足	B42 34 04	部位が肘関節
K082 2	人工関節置換術 胸鎖、肘、手、足	B64 34 04	部位が手関節
K082 2	人工関節置換術 胸鎖、肘、手、足	BB2 34 04	部位が足関節および距骨周囲関節
K082 3	人工関節置換術 肩鎖、指(手、足)	B26 34 04	部位が肩鎖関節
K082 3	人工関節置換術 肩鎖、指(手、足)	B6B 34 04	部位が手指関節
K082 3	人工関節置換術 肩鎖、指(手、足)	BBN 34 04	部位が足趾関節
K082-2 1	人工関節抜去術 肩、股、膝	B28 17 04	部位が肩関節
K082-2 1	人工関節抜去術 肩、股、膝	B91 17 04	部位が股関節
K082-2 1	人工関節抜去術 肩、股、膝	BA2 17 04	部位が膝関節
K082-2 2	人工関節抜去術 胸鎖、肘、手、足	B26 17 04	部位が胸鎖関節
K082-2 2	人工関節抜去術 胸鎖、肘、手、足	B42 17 04	部位が肘関節
K082-2 2	人工関節抜去術 胸鎖、肘、手、足	B64 17 04	部位が手関節
K082-2 2	人工関節抜去術 胸鎖、肘、手、足	BB2 17 04	部位が足関節および距骨周囲関節
K082-2 3	人工関節抜去術 肩鎖、指(手、足)	B26 17 04	部位が肩鎖関節

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬 コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K082-2 3	人工関節抜去術 肩鎖、指(手、足)	B6B 17 04	部位が手指関節
K082-2 3	人工関節抜去術 肩鎖、指(手、足)	BBN 17 04	部位が足趾関節
K082-3 1	人工関節再置換術 肩、股、膝	B28 34 04	部位が肩関節
K082-3 1	人工関節再置換術 肩、股、膝	B91 34 04	部位が股関節
K082-3 1	人工関節再置換術 肩、股、膝	BA2 34 04	部位が膝関節
K082-3 2	人工関節再置換術 胸鎖、肘、手、足	B26 34 04	部位が胸鎖関節
K082-3 2	人工関節再置換術 胸鎖、肘、手、足	B42 34 04	部位が肘関節
K082-3 2	人工関節再置換術 胸鎖、肘、手、足	B64 34 04	部位が手関節
K082-3 2	人工関節再置換術 胸鎖、肘、手、足	BB2 34 04	部位が足関節および距骨周囲関節
K082-3 3	人工関節再置換術 肩鎖、指(手、足)	B26 34 04	部位が肩鎖関節
K082-3 3	人工関節再置換術 肩鎖、指(手、足)	B6B 34 04	部位が手指関節
K082-3 3	人工関節再置換術 肩鎖、指(手、足)	BBN 34 04	部位が足趾関節
K082-4	自家肋骨肋軟骨関節全置換術	B42 34 00	部位が腕橈関節
K082-4	自家肋骨肋軟骨関節全置換術	B64 34 00	部位が遠位橈尺関節
K082-4	自家肋骨肋軟骨関節全置換術	B6B 34 00	部位が手指関節
K082-4	自家肋骨肋軟骨関節全置換術	BBL 34 00	部位が足趾関節
K083	鋼線等による直達牽引(初日。観血的に行った場合の手技料を含む。)(1局所につき)	B12 30 14	
K083-2	内反足足板挺子固定	BB2 30 14	
K084 1	四肢切断術 上腕、前腕、手、大腿、下腿、足	F64 12 00	部位が上腕
K084 1	四肢切断術 上腕、前腕、手、大腿、下腿、足	F66 12 00	部位が前腕
K084 1	四肢切断術 上腕、前腕、手、大腿、下腿、足	F67 12 00	部位が手
K084 1	四肢切断術 上腕、前腕、手、大腿、下腿、足	F74 12 00	部位が大腿
K084 1	四肢切断術 上腕、前腕、手、大腿、下腿、足	F76 12 00	部位が下腿
K084 1	四肢切断術 上腕、前腕、手、大腿、下腿、足	F77 12 00	部位が足部
K084 2	四肢切断術 指(手、足)	F6A 12 00	部位が手指
K084 2	四肢切断術 指(手、足)	F7A 12 00	部位が足趾
K084-2	肩甲帯離断術	F61 15 00	
K085 1	四肢関節離断術 肩、股、膝	B28 13 00	部位が肩関節
K085 1	四肢関節離断術 肩、股、膝	B91 13 00	部位が股関節
K085 1	四肢関節離断術 肩、股、膝	BA2 13 00	部位が膝関節
K085 2	四肢関節離断術 肘、手、足	B42 13 00	部位が肘関節
K085 2	四肢関節離断術 肘、手、足	B64 13 00	部位が手関節
K085 2	四肢関節離断術 肘、手、足	BB9 13 00	部位が足関節および距骨周囲関節
K085 3	四肢関節離断術 指(手、足)	B6B 13 00	部位が手指関節
K085 3	四肢関節離断術 指(手、足)	BBN 13 00	部位が足趾関節
K086 1	断端形成術(軟部形成のみもの) 指(手、足)	B83 30 00	部位が手指
K086 1	断端形成術(軟部形成のみもの) 指(手、足)	B84 30 00	部位が足指
K086 2	断端形成術(軟部形成のみもの) その他	B82 30 00	部位が手足の指以外
K087 1	断端形成術(骨形成を要するもの) 指(手、足)	F6A 30 00	部位が手指
K087 1	断端形成術(骨形成を要するもの) 指(手、足)	F7A 30 00	部位が足指
K087 2	断端形成術(骨形成を要するもの) その他	F64 30 00	部位が上腕
K087 2	断端形成術(骨形成を要するもの) その他	F66 30 00	部位が前腕
K087 2	断端形成術(骨形成を要するもの) その他	F67 30 00	部位が手
K087 2	断端形成術(骨形成を要するもの) その他	F74 30 00	部位が大腿
K087 2	断端形成術(骨形成を要するもの) その他	F76 30 00	部位が下腿
K087 2	断端形成術(骨形成を要するもの) その他	F77 30 00	部位が足部
K088 1	切断四肢再接合術 四肢	F61 30 04	部位が肩甲帯
K088 1	切断四肢再接合術 四肢	F64 30 04	部位が上腕
K088 1	切断四肢再接合術 四肢	F66 30 04	部位が前腕
K088 1	切断四肢再接合術 四肢	F67 30 04	部位が手
K088 1	切断四肢再接合術 四肢	F74 30 04	部位が大腿
K088 1	切断四肢再接合術 四肢	F76 30 04	部位が下腿
K088 1	切断四肢再接合術 四肢	F77 30 04	部位が足
K088 2	切断四肢再接合術 指(手、足)	F6A 30 04	部位が手指

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬 コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K088 2	切断四肢再接合術 指(手、足)	F7A 30 04	部位が足趾
K089	爪甲除去術	A54 11 00	
K090 1	ひょう疽手術 軟部組織のもの	A6A 11 00	
K090 2	ひょう疽手術 骨、関節のもの	B55 11 00	
K090-2	風棘手術	B12 10 00	
K091 1	陥入爪手術 簡単なもの	A54 11 00	
K091 2	陥入爪手術 爪床爪母の形成を伴う複雑なもの	A54 11 00	
K093	手根管開放手術	B6P 16 00	
K093-2	関節鏡下手根管開放手術	B6P 16 11	
K094	足三関節固定(ランブリヌディ)手術	BB2 30 04	
K096 1	手掌、足底腱膜切離・切除術 鏡視下によるもの	B59 11 11	部位が手掌腱膜
K096 1	手掌、足底腱膜切離・切除術 鏡視下によるもの	BBR 11 11	部位が足底腱膜で、切離術の場合
K096 1	手掌、足底腱膜切離・切除術 鏡視下によるもの	BBR 11 11	部位が足底腱膜で、切除術の場合
K096 2	手掌、足底腱膜切離・切除術 その他のもの	B59 11 00	部位が手掌腱膜
K096 2	手掌、足底腱膜切離・切除術 その他のもの	BBR 11 00	部位が足底腱膜で、切離術の場合
K096 2	手掌、足底腱膜切離・切除術 その他のもの	BBR 11 00	部位が足底腱膜で、切除術の場合
K096-2	体外衝撃波疼痛治療術(一連につき)	B82 17 40	
K097	手掌、足底異物摘出術	B54 17 00	部位が手掌
K097	手掌、足底異物摘出術	BB5 17 00	部位が足底
K098	手掌屈筋腱縫合術	B6N 30 00	
K099	指癒着拘縮手術	A6A 10 00	
K099-2 1	デュブイトレン拘縮手術 1指	B59 10 00	
K099-2 2	デュブイトレン拘縮手術 2指から3指	B59 10 00	
K099-2 3	デュブイトレン拘縮手術 4指以上	B59 10 00	
K100 1	多指症手術 軟部形成のみのもの	B52 32 00	
K100 2	多指症手術 骨関節、腱の形成を要するもの	B52 32 04	
K101 1	合指症手術 軟部形成のみのもの	B52 32 00	
K101 2	合指症手術 骨関節、腱の形成を要するもの	B52 32 04	
K101-2 1	指癒着症手術 軟部形成のみのもの	B52 32 00	
K101-2 2	指癒着症手術 骨関節、腱の形成を要するもの	B52 32 04	
K102 1	巨指症手術 軟部形成のみのもの	B52 32 00	
K102 2	巨指症手術 骨関節、腱の形成を要するもの	B52 32 04	
K103 1	屈指症手術、斜指症手術 軟部形成のみのもの	B52 32 00	
K103 2	屈指症手術、斜指症手術 骨関節、腱の形成を要するもの	B52 32 04	
K105	裂手、裂足手術	B52 32 00	裂手の場合
K105	裂手、裂足手術	BB3 32 00	裂足の場合
K106	母指化手術	B56 32 04	
K107	指移植手術	B52 43 00	
K108	母指対立再建術	B56 32 00	
K109	神経血管柄付植皮術(手、足)	AW1 43 00	
K110	第四足指短縮症手術	BBJ 32 04	
K110-2	第一足指外反症矯正手術	BBJ 32 04	
K112	腸骨窩膿瘍切開術	C52 16 04	
K113	腸骨窩膿瘍搔爬術	C52 16 04	
K116	脊椎、骨盤骨搔爬術	C23 17 04	部位が頸椎椎体
K116	脊椎、骨盤骨搔爬術	C33 17 04	部位が胸椎椎体
K116	脊椎、骨盤骨搔爬術	C43 17 04	部位が腰椎椎体
K116	脊椎、骨盤骨搔爬術	C4C 17 04	部位が仙椎仙腸関節
K116	脊椎、骨盤骨搔爬術	C11 17 04	部位が脊椎で後部搔爬の場合
K116	脊椎、骨盤骨搔爬術	C51 17 04	部位が骨盤骨
K116	脊椎、骨盤骨搔爬術	C55 17 04	部位が恥骨結合
K117	脊椎脱臼非観血的整復術	C33 30 44	部位が胸椎
K117	脊椎脱臼非観血的整復術	C43 30 44	部位が腰椎

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K117	脊椎脱臼非観血的整復術	C23 30 44	部位が頸椎
K117-2	頸椎非観血的整復術	C23 30 44	
K117-3	椎間板ヘルニア徒手整復術	C16 30 44	
K118	脊椎、骨盤脱臼観血的手術	C23 30 04	部位が頸椎
K118	脊椎、骨盤脱臼観血的手術	C33 30 04	部位が胸椎
K118	脊椎、骨盤脱臼観血的手術	C43 30 04	部位が腰椎
K119	仙腸関節脱臼観血的手術	C4B 30 04	
K120	恥骨結合離開観血的手術	C55 30 04	
K120-2	恥骨結合離開非観血的整復固定術	C55 30 44	
K121	骨盤骨折非観血的整復術	C51 30 44	
K124	腸骨翼骨折観血的手術	C52 30 04	
K124-2	寛骨臼骨折観血的手術	C51 30 04	
K125	骨盤骨折観血的手術(腸骨翼骨折観血的手術及び寛骨臼骨折観血的手術を除く。)	C51 30 04	
K126 1	脊椎、骨盤骨(軟骨)組織採取術(試験切除によるもの) 棘突起、腸骨翼	C13 14 04	部位が棘突起
K126 1	脊椎、骨盤骨(軟骨)組織採取術(試験切除によるもの) 棘突起、腸骨翼	C52 14 04	部位が腸骨翼
K126 2	脊椎、骨盤骨(軟骨)組織採取術(試験切除によるもの) その他	C11 14 04	組織採取術の場合
K126 2	脊椎、骨盤骨(軟骨)組織採取術(試験切除によるもの) その他	C44 18 14	腰椎椎間板ヘルニアに対してコンドリアーゼを使用した場合
K126-2	自家培養軟骨組織採取術	B12 41 04	
K128	脊椎、骨盤内異物(挿入物)除去術	C11 17 04	脊椎異物の場合
K128	脊椎、骨盤内異物(挿入物)除去術	C51 17 04	骨盤内異物の場合
K131-2	内視鏡下椎弓切除術	C24 11 11	部位が頸椎
K131-2	内視鏡下椎弓切除術	C34 11 11	部位が胸椎
K131-2	内視鏡下椎弓切除術	C44 11 11	部位が腰椎
K131-2	内視鏡下椎弓切除術	C44 11 11	腰椎開窓拡大術の場合
K133	黄色靭帯骨化症手術	C1A 10 04	
K133-2	後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	C22 37 04	部位が頸椎
K133-2	後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	C32 37 04	部位が胸椎
K133-2	後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	C42 37 04	部位が腰椎
K134 1	椎間板摘出術 前方摘出術	C16 11 04	
K134 2	椎間板摘出術 後方摘出術	C16 11 04	
K134 3	椎間板摘出術 側方摘出術	C16 11 04	
K134 4	椎間板摘出術 経皮的髓核摘出術	C16 11 04	
K134-2 1	内視鏡下椎間板摘出(切除)術 前方摘出術	C16 11 11	
K134-2 2	内視鏡下椎間板摘出(切除)術 後方摘出術	C16 11 11	
K135	脊椎、骨盤腫瘍切除術	C11 11 04	部位が脊椎の良性腫瘍
K135	脊椎、骨盤腫瘍切除術	C51 11 04	部位が骨盤の良性腫瘍
K136	脊椎、骨盤悪性腫瘍手術	C11 13 04	部位が脊椎
K136	脊椎、骨盤悪性腫瘍手術	C51 13 04	部位が骨盤
K136-2	腫瘍脊椎骨全摘術	C11 11 04	
K137	骨盤切断術	C51 12 04	
K138 1	脊椎拔裂手術 神経処置を伴うもの	C11 10 04	
K138 2	脊椎拔裂手術 その他のもの	C11 10 04	
K139	脊椎骨切り術	C11 32 04	
K140	骨盤骨切り術	C51 32 04	
K141	臼蓋形成手術	C51 30 04	
K141-2	寛骨臼移動術	B91 30 05	
K141-3	脊椎制動術	C11 37 04	
K142 1	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 前方椎体固定	C23 38 04	部位が頸椎
K142 1	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 前方椎体固定	C33 38 04	部位が胸椎
K142 1	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 前方椎体固定	C43 38 04	部位が腰椎

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K142 2	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 後方又は後側方固定	C23 38 04	部位が頸椎
K142 2	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 後方又は後側方固定	C33 38 04	部位が胸椎
K142 2	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 後方又は後側方固定	C43 38 04	部位が腰椎
K142 3	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 後方椎体固定	C23 38 04	部位が頸椎
K142 3	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 後方椎体固定	C33 38 04	部位が胸椎
K142 3	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 後方椎体固定	C43 38 04	部位が腰椎
K142 4	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 前方後方同時固定	C23 38 04	部位が頸椎
K142 4	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 前方後方同時固定	C33 38 04	部位が胸椎
K142 4	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 前方後方同時固定	C43 38 04	部位が腰椎
K142-4	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 前方後方同時固定	G11-38-04	脊椎の前方後方同時手術の場合→部位を頸椎、胸椎、腰椎に細分化した際に削除し忘れました。この列を削除します。
K142 5	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 椎弓切除	C24 11 04	部位が頸椎
K142 5	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 椎弓切除	C34 11 04	部位が胸椎
K142 5	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 椎弓切除	C44 11 04	部位が腰椎
K142 6	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 椎弓形成	C24 37 04	部位が頸椎
K142 6	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 椎弓形成	C34 37 04	部位が胸椎
K142 6	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 椎弓形成	C44 37 04	部位が腰椎
K142-6	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 椎弓形成	G14 37 04	椎弓形成手術の場合→部位を頸椎、胸椎、腰椎に細分化した際に削除し忘れました。この列を削除します。
K142-2 1	脊椎側彎症手術 固定術	C11 38 04	
K142-2 2 イ	脊椎側彎症手術 矯正術 初回挿入	C11 30 04	
K142-2 2 ロ	脊椎側彎症手術 矯正術 交換術	C11 30 04	
K142-2 2 ハ	脊椎側彎症手術 矯正術 伸展術	C11 30 04	
K142-3	内視鏡下脊椎固定術(胸椎又は腰椎前方固定)	C23 38 11	部位が頸椎
K142-3	内視鏡下脊椎固定術(胸椎又は腰椎前方固定)	C33 38 11	部位が胸椎
K142-3	内視鏡下脊椎固定術(胸椎又は腰椎前方固定)	C43 38 11	部位が腰椎
K142-3	内視鏡下脊椎固定術(胸椎又は腰椎前方固定)	C11 38 11	部位が胸椎・腰椎
K142-4	経皮的椎体形成術	C12 30 14	
K142-5	内視鏡下椎弓形成術	C24 37 11	部位が頸椎
K142-5	内視鏡下椎弓形成術	C34 37 11	部位が胸椎
K142-5	内視鏡下椎弓形成術	C44 37 11	部位が腰椎
K142-6	歯突起骨折骨接合術	C22 30 04	
K142-7	腰椎分離部修復術	C47 30 04	
K143	仙腸関節固定術	C4B 38 04	
K144	体外式脊椎固定術	C11 38 04	
K145	穿頭脳室ドレナージ術	D2K 16 00	
K146	頭蓋開溝術	D12 16 00	
K147	穿頭術(トレパナチオン)	D12 16 00	
K148	試験開頭術	D12 14 00	
K149 1	減圧開頭術 キアリ奇形、脊髄空洞症の場合	D12 16 00	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K149 2	減圧開頭術 その他の場合	D41 16 00	
K149-2	後頭蓋窩減圧術	D13 16 02	
K150	脳膿瘍排膿術	D21 16 05	
K151-2	広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術	D2D 11 00	
K152	耳性頭蓋内合併症手術	D2J 11 02	
K152-2	耳科的硬脳膜外膿瘍切開術	D29 16 05	
K153	鼻性頭蓋内合併症手術	D2J 11 02	
K154 1	機能的定位脳手術 片側の場合	D21 17 05	血腫除去術の場合
K154 1	機能的定位脳手術 片側の場合	D21 50 06	慢性植込電極設置術の場合
K154 1	機能的定位脳手術 片側の場合	D21 17 06	破壊術の場合
K154 2	機能的定位脳手術 両側の場合	D21 17 05	血腫除去術の場合
K154 2	機能的定位脳手術 両側の場合	D21 50 06	慢性植込電極設置術の場合
K154 2	機能的定位脳手術 両側の場合	D21 17 06	破壊術の場合
K154-2	顕微鏡使用によるてんかん手術(焦点切除術、側頭葉切除術、脳梁離断術)	D21 10 02	焦点切除術の場合
K154-2	顕微鏡使用によるてんかん手術(焦点切除術、側頭葉切除術、脳梁離断術)	D25 11 02	側頭葉切除術の場合
K154-2	顕微鏡使用によるてんかん手術(焦点切除術、側頭葉切除術、脳梁離断術)	D26 15 02	脳梁離断術の場合
K154-3	定位脳腫瘍生検術	D21 14 05	
K155	脳切截術(開頭して行うもの)	D21 15 02	
K156	延髄における脊髄視床路切截術	D2F 15 02	
K157	三叉神経節後線維切截術	D36 15 02	
K158	視神経管開放術	D33 16 02	
K159	顔面神経減圧手術(乳様突起経由)	D38 16 02	
K159-2	顔面神経管開放術	D38 16 02	
K160	脳神経手術(開頭して行うもの)	D31 14 02	
K160-2	頭蓋内微小血管減圧術	T1B 16 02	
K161	頭蓋骨腫瘍摘出術	D12 11 02	
K162	頭皮、頭蓋骨悪性腫瘍手術	D12 11 02	
K163	頭蓋骨膜下血腫摘出術	D12 17 02	
K164 1	頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの) 硬膜外のもの	D29 17 02	
K164 2	頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの) 硬膜下のもの	D28 17 02	
K164 3	頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの) 脳内のもの	D21 17 02	
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	D28 16 00	
K164-3	脳血管塞栓(血栓)摘出術	T12 17 00	
K164-4	定位的脳内血腫除去術	D21 17 05	
K164-5	内視鏡下脳内血腫除去術	D21 17 11	
K165	脳内異物摘出術	D21 17 02	
K166	脳膿瘍全摘術	D21 12 02	
K167	頭蓋内腫瘍摘出術	D21 11 02	
K168	脳切除術	D21 11 02	
K169 1	頭蓋内腫瘍摘出術 松果体部腫瘍	D2C 11 02	
K169 2	頭蓋内腫瘍摘出術 その他のもの	D27 11 00	テント上腫瘍の場合
K169 2	頭蓋内腫瘍摘出術 その他のもの	D2B 11 02	下垂体部腫瘍の場合
K169 2	頭蓋内腫瘍摘出術 その他のもの	D2D 11 02	後頭蓋窩腫瘍の場合
K169 2	頭蓋内腫瘍摘出術 その他のもの	D2H 11 02	小脳橋角部腫瘍の場合
K169 2	頭蓋内腫瘍摘出術 その他のもの	D2K 11 02	脳室腫瘍の場合
K170	経耳的聴神経腫瘍摘出術	D39 11 00	
K171	経鼻的下垂体腫瘍摘出術	D2B 11 00	
K171-2 1	内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術 下垂体腫瘍	D2B 11 31	
K171-2 2	内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術 頭蓋底脳腫瘍(下垂体腫瘍を除く。)	D2A 11 31	
K172	脳動静脈奇形摘出術	T14 10 00	
K173	脳・脳膜脱手術	D21 16 02	
K174 1	水頭症手術 脳室穿破術(神経内視鏡手術によるもの)	D2K 16 11	
K174 2	水頭症手術 シャント手術	D2K 16 04	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K174-2	髄液シャント抜去術	D2K 17 00	
K175 1	脳動脈瘤被包術 1箇所	T12 20 02	
K175 2	脳動脈瘤被包術 2箇所以上	T12 20 02	
K176 1	脳動脈瘤流入血管クリッピング(開頭して行うもの) 1箇所	T12 20 02	
K176 2	脳動脈瘤流入血管クリッピング(開頭して行うもの) 2箇所以上	T12 20 02	
K177 1	脳動脈瘤頸部クリッピング 1箇所	T19 20 02	部位が前交通動脈
K177 1	脳動脈瘤頸部クリッピング 1箇所	T1B 20 02	部位が脳底動脈
K177 1	脳動脈瘤頸部クリッピング 1箇所	T18 20 02	部位が前大脳動脈
K177 1	脳動脈瘤頸部クリッピング 1箇所	T1A 20 02	部位が中大脳動脈
K177 1	脳動脈瘤頸部クリッピング 1箇所	T16 20 02	部位が後交通動脈
K177 1	脳動脈瘤頸部クリッピング 1箇所	T2C 20 02	部位が椎骨動脈
K177 1	脳動脈瘤頸部クリッピング 1箇所	T1C 20 02	部位が後大脳動脈
K177 1	脳動脈瘤頸部クリッピング 1箇所	T15 20 02	部位が内頸動脈
K177 1	脳動脈瘤頸部クリッピング 1箇所	T12 20 02	部位が上記以外の動脈
K177 2	脳動脈瘤頸部クリッピング 2箇所以上	T12 20 02	
K178 1	脳血管内手術 1箇所	T12 18 13	脳動脈瘤塞栓術、脳動脈瘤母動脈塞栓術の場合
K178 1	脳血管内手術 1箇所	T12 33 13	血管内脳血管形成術の場合
K178 2	脳血管内手術 2箇所以上	T12 18 13	脳動脈瘤塞栓術、脳動脈瘤母動脈塞栓術の場合
K178 2	脳血管内手術 2箇所以上	T12 33 13	血管内脳血管形成術の場合
K178 3	脳血管内手術 脳血管内ステントを用いるもの	T12 18 13	
K178-2	経皮的脳血管形成術	T14 33 13	
K178-3 1	経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術 頭蓋内脳血管の場合	T14 17 13	
K178-3 2	経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術 頸部脳血管の場合(内頸動脈、椎骨動脈)	T13 17 13	
K178-4	経皮的脳血栓回収術	T12 17 13	
K178-5	経皮的脳血管ステント留置術	T14 33 13	
K179	髄液漏閉鎖術	D21 35 02	
K180 1	頭蓋骨形成手術 頭蓋骨のみのもの	D11 32 02	
K180 2	頭蓋骨形成手術 硬膜形成を伴うもの	D11 32 02	
K180 3	頭蓋骨形成手術 骨移動を伴うもの	D11 32 02	
K181 1	脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)片側の場合	D2A 50 0A	
K181 2	脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)両側の場合	D2A 50 0A	
K181-2	脳刺激装置交換術	D3B 50 0A	
K181-3	頭蓋内電極抜去術	D2A 17 00	
K181-4	迷走神経刺激装置植込術	D3B 50 0A	
K181-5	迷走神経刺激装置交換術	D3B 50 0A	
K182 1	神経縫合術 指(手、足)	B6S 30 02	手指の場合
K182 1	神経縫合術 指(手、足)	BBS 30 02	足趾の場合
K182 2	神経縫合術 その他のもの	E1G 30 02	
K182-2 1	神経交差縫合術 指(手、足)	B6S 30 00	手指の場合
K182-2 1	神経交差縫合術 指(手、足)	BBS 30 00	足趾の場合
K182-2 2	神経交差縫合術 その他のもの	B78 30 00	肋間神経の場合
K182-2 2	神経交差縫合術 その他のもの	E1G 30 00	手指・足趾、肋間神経以外の場合
K182-3 1	神経再生誘導術 指(手、足)	B6S 30 02	手指の場合
K182-3 1	神経再生誘導術 指(手、足)	BBS 30 02	足趾の場合
K182-3 2	神経再生誘導術 その他のもの	B14 30 02	
K183	脊髄硬膜切開術	E11 16 02	
K183-2	空洞・くも膜下腔シャント術(脊髄空洞症に対するもの)	E12 16 04	
K184	減圧脊髄切開術	E11 16 02	
K185	脊髄切截術	E11 15 02	
K186	脊髄硬膜内神経切断術	E11 15 02	脊髄硬膜内神経切断術の場合

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K186	脊髄硬膜内神経切断術	C24 11 04	頸椎に対して、骨形成的片側椎弓切除術及び髄核摘出術を併せて2椎間に行った場合
K186	脊髄硬膜内神経切断術	C34 11 04	胸椎に対して、骨形成的片側椎弓切除術及び髄核摘出術を併せて2椎間に行った場合
K186	脊髄硬膜内神経切断術	C44 11 04	腰椎に対して、骨形成的片側椎弓切除術及び髄核摘出術を併せて2椎間に行った場合
K187	脊髄視床路切截術	E11 15 02	
K188 1	神経剥離術 鏡視下によるもの	E1G 15 11	
K188 2	神経剥離術 その他のもの	B6S 15 00	手指の場合
K188 2	神経剥離術 その他のもの	BBS 15 00	足趾の場合
K188 2	神経剥離術 その他のもの	E1G 15 02	手指・足趾以外の場合
K188-2	硬膜外腔癒着剥離術	E13 15 14	
K189	脊髄ドレナージ術	E11 16 02	
K190 1	脊髄刺激装置植込術 脊髄刺激電極を留置した場合	E13 50 1A	
K190 2	脊髄刺激装置植込術 ジェネレーターを留置した場合	E13 50 0A	
K190-2	脊髄刺激装置交換術	E11 50 0A	
K190-3	重症痙性麻痺治療薬髄腔内持続注入用植込型ポンプ設置術	E12 50 04	
K190-4	重症痙性麻痺治療薬髄腔内持続注入用植込型ポンプ交換術	E12 50 04	
K190-5	重症痙性麻痺治療薬髄腔内持続注入用植込型ポンプ薬剤再充填	E12 50 04	
K190-6 1	仙骨神経刺激装置植込術 脊髄刺激電極を留置した場合	E11 50 1A	
K190-6 2	仙骨神経刺激装置植込術 ジェネレーターを留置した場合	E13 50 0A	
K190-7	仙骨神経刺激装置交換術	E11 50 0A	
K191 1	脊髄腫瘍摘出術 髄外のもの	E11 11 02	
K191 2	脊髄腫瘍摘出術 髄内のもの	E11 11 04	
K192	脊髄血管腫摘出術	E11 10 02	
K193 1	神経腫切除術 指(手、足)	E1G 10 00	部位が手指
K193 1	神経腫切除術 指(手、足)	E1G 10 00	部位が足趾
K193 2	神経腫切除術 その他のもの	E1G 10 02	
K193-2 1	レックリングハウゼン病偽神経腫切除術(露出部) 長径2センチメートル未満	AW1 10 00	
K193-2 2	レックリングハウゼン病偽神経腫切除術(露出部) 長径2センチメートル以上4センチメートル未満	AW1 10 00	
K193-2 3	レックリングハウゼン病偽神経腫切除術(露出部) 長径4センチメートル以上	AW1 10 00	
K193-3 1	レックリングハウゼン病偽神経腫切除術(露出部以外) 長径3センチメートル未満	AW1 10 00	
K193-3 2	レックリングハウゼン病偽神経腫切除術(露出部以外) 長径3センチメートル以上6センチメートル未満	AW1 10 00	
K193-3 3	レックリングハウゼン病偽神経腫切除術(露出部以外) 長径6センチメートル以上	AW1 10 00	
K194 1	神経捻除術 後頭神経	D3E 10 02	
K194 2	神経捻除術 上眼窩神経	D3E 10 02	
K194 3	神経捻除術 眼窩下神経	D3E 10 02	
K194 4	神経捻除術 おとがい神経	D3E 10 00	
K194 5	神経捻除術 下顎神経	D3E 10 00	
K194-2	横隔神経麻痺術	E1G 15 02	
K194-3	眼窩下孔部神経切断術	D44 15 12	
K194-4	おとがい孔部神経切断術	D36 15 12	
K195 1	交感神経切除術 頸動脈周囲	E1B 15 02	
K195 2	交感神経切除術 股動脈周囲	E1D 15 02	
K195-2	尾動脈腺摘出術	E1G 10 02	
K196 1	交感神経節切除術 頸部	E1B 15 02	
K196 2	交感神経節切除術 胸部	E1C 15 02	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K196 3	交感神経節切除術 腰部	E1D 15 02	
K196-2	胸腔鏡下交感神経節切除術(両側)	E1C 15 11	
K196-3	ストッフエル手術	E1G 15 02	
K196-4	閉鎖神経切除術	E1G 15 02	
K196-5	末梢神経遮断(挫滅又は切断)術(浅腓骨神経、深腓骨神経、後脛骨神経又は腓腹神経に限る。)	E1G 15 02	
K197	神経移行術	E1G 43 02	
K198	神経移植術	E1G 43 02	
K199	涙点、涙小管形成術	D48 33 02	
K200	涙嚢切開術	D48 16 02	
K200-2	涙点プラグ挿入術、涙点閉鎖術	D48 35 22	
K201	先天性鼻涙管閉塞開放術	D48 16 02	
K202 1	涙管チューブ挿入術 涙道内視鏡を用いるもの	D4A 16 22	
K202 2	涙管チューブ挿入術 その他のもの	D48 16 22	
K203	涙嚢摘出術	D48 11 02	
K204	涙嚢鼻腔吻合術	D48 33 02	
K205	涙嚢嚢管閉鎖術	D48 35 02	
K206	涙小管形成手術	D48 33 02	
K207	瞼縁縫合術(瞼板縫合術を含む。)	D46 30 02	
K208	麦粒腫切開術	D46 16 02	
K209	眼瞼膿瘍切開術	D46 16 02	
K209-2	外眦切開術	D46 16 12	
K211	睫毛電気分解術(毛根破壊)	D46 18 02	
K212	兎眼矯正術	D46 32 02	
K213	マイボーム腺梗塞摘出術、マイボーム腺切開術	D46 11 02	
K214	霰粒腫摘出術	D46 10 02	
K215	瞼板切除術(巨大霰粒腫摘出)	D46 11 02	
K215-2	眼瞼結膜腫瘍手術	D47 11 02	
K216	眼瞼結膜悪性腫瘍手術	D46 11 02	単純切除の場合
K216	眼瞼結膜悪性腫瘍手術	D46 13 02	広汎切除の場合
K217 1	眼瞼内反症手術 縫合法	D46 36 02	
K217 2	眼瞼内反症手術 皮膚切開法	D46 11 02	
K218	眼瞼外反症手術	D46 36 02	
K219 1	眼瞼下垂症手術 眼瞼挙筋前転法	D46 43 02	
K219 2	眼瞼下垂症手術 筋膜移植法	D46 43 02	
K219 3	眼瞼下垂症手術 その他のもの	D46 30 02	
K220	結膜縫合術	D47 30 02	
K221 1	結膜結石除去術 少数のもの(1眼瞼ごと)	D47 17 02	
K221 2	結膜結石除去術 多数のもの	D47 17 12	
K222	結膜下異物除去術	D47 17 12	
K223 1	結膜嚢形成手術 部分形成	D47 32 02	
K223 2	結膜嚢形成手術 皮膚及び結膜の形成	D47 32 02	
K223 3	結膜嚢形成手術 全部形成(皮膚又は粘膜の移植を含む。)	D47 32 02	
K223-2	内眦形成術	D46 32 12	
K224	翼状片手術(弁の移植を要するもの)	D47 10 02	
K225	結膜腫瘍冷凍凝固術	D47 18 42	
K225-2	結膜腫瘍摘出術	D47 11 02	
K225-3	結膜肉芽腫摘除術	D47 33 12	
K226	眼窩膿瘍切開術	D42 16 02	
K227	眼窩骨折観血の手術(眼窩ブローアウト骨折手術を含む。)	D41 30 02	
K228	眼窩骨折整復術	D41 30 02	
K229	眼窩内異物除去術(表在性)	D42 17 02	
K230 1	眼窩内異物除去術(深在性) 視神経周囲、眼窩尖端	D42 17 02	
K230 2	眼窩内異物除去術(深在性) その他	D42 17 02	
K233	眼窩内容除去術	D42 17 02	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K234	眼窩内腫瘍摘出術(表在性)	D42 11 02	
K235	眼窩内腫瘍摘出術(深在性)	D42 11 02	
K236	眼窩悪性腫瘍手術	D42 13 02	
K237	眼窩縁形成手術(骨移植によるもの)	D41 43 00	
K239	眼球内容除去術	D4B 17 02	
K241	眼球摘出術	D4B 12 02	
K242 1	斜視手術 前転法	D45 36 02	
K242 2	斜視手術 後転法	D45 15 02	
K242 3	斜視手術 前転法及び後転法の併施	D45 15 02	
K242 4	斜視手術 斜筋手術	D45 43 02	
K242 5	斜視手術 直筋の前後転法及び斜筋手術の併施	D45 43 02	
K243	義眼台包埋術	D42 30 02	
K244	眼筋移動術	D45 43 02	
K245	眼球摘出及び組織又は義眼台充填術	D4B 12 02	
K246	角膜・強膜縫合術	D4C 30 02	
K248	角膜新生血管手術(冷凍凝固術を含む。)	D4C 17 02	
K248-2	顕微鏡下角膜剥離術	D4C 17 02	
K249	角膜潰瘍搔爬術、角膜潰瘍焼灼術	D4C 17 02	角膜搔爬術の場合
K249	角膜潰瘍搔爬術、角膜潰瘍焼灼術	D4C 18 12	角膜潰瘍焼灼術の場合
K250	角膜切開術	D4C 16 02	
K252	角膜・強膜異物除去術	D4C 17 02	
K254 1	治療的角膜切除術 エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	D4C 18 02	
K254 2	治療的角膜切除術 その他のもの	D4C 11 02	
K255	強角膜瘻孔閉鎖術	D4C 35 02	
K256	角膜潰瘍結膜被覆術	D4C 30 02	
K257	角膜表層除去併用結膜被覆術	D4C 30 02	
K259	角膜移植術	D4C 43 02	
K260	強膜移植術	D4H 43 02	
K260-2	羊膜移植術	D4B 43 02	
K261	角膜形成手術	D4C 32 02	
K265	虹彩腫瘍切除術	D4J 11 02	
K266	毛様体腫瘍切除術、脈絡膜腫瘍切除術	D4J 11 02	
K268 1	緑内障手術 虹彩切除術	D4J 11 02	
K268 2	緑内障手術 流出路再建術	D4J 16 02	
K268 3	緑内障手術 濾過手術	D4J 16 02	
K268 4	緑内障手術 緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのないもの)	D4J 31 02	
K268 5	緑内障手術 緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの)	D4J 31 02	
K268 6	緑内障手術 水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術	D4D 31 02	
K269	虹彩整復・瞳孔形成術	D4J 30 02	
K270	虹彩光凝固術	D4J 18 42	
K271	毛様体光凝固術	D4J 18 42	
K272	毛様体冷凍凝固術	D4J 18 42	
K273	隅角光凝固術	D4J 18 42	
K274	前房、虹彩内異物除去術	D4D 17 02	
K275	網膜復位術	D4G 30 02	
K276 1	網膜光凝固術 通常のもの(一連につき)	D4G 18 42	
K276 2	網膜光凝固術 その他特殊なもの(一連につき)	D4G 18 42	
K277	網膜冷凍凝固術	D4G 18 42	
K277-2	黄斑下手術	D4G 10 12	
K278	硝子体注入・吸引術	D4F 50 12	硝子体注入術あるいは硝子体内注入術・吸引術の場合
K278	硝子体注入・吸引術	D4F 16 12	硝子体吸引術の場合
K279	硝子体切除術	D4F 12 12	
K280 1	硝子体茎顕微鏡下離断術 網膜付着組織を含むもの	D4F 10 12	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬 コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K280 2	硝子体茎頭顕微鏡下離断術 その他のもの	D4F 10 12	
K280-2	網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	D4F 13 11	
K281	増殖性硝子体網膜症手術	D4F 10 12	
K281-2	網膜再建術	D4F 31 12	
K282 1 イ	水晶体再建術 眼内レンズを挿入する場合 縫着レンズを挿入するもの	D4E 12 02	
K282 1 ロ	水晶体再建術 眼内レンズを挿入する場合 その他のもの	D4E 12 02	
K282 2	水晶体再建術 眼内レンズを挿入しない場合	D4E 12 02	
K282 3	水晶体再建術 計画的後嚢切開を伴う場合	D4E 12 02	
K282-2	後発白内障手術	D4E 16 12	
K284	硝子体置換術	D4F 43 12	
K285	耳介血腫開窓術	D53 16 00	
K286 1	外耳道異物除去術 単純なもの	D54 17 22	
K286 2	外耳道異物除去術 複雑なもの	D54 17 22	
K287	先天性耳瘻管摘出術	D52 10 00	
K288	副耳(介)切除術	D52 10 02	
K289	耳茸摘出術	D54 10 22	
K290	外耳道骨増生(外骨腫)切除術	D54 10 02	
K290-2	外耳道骨腫切除術	D54 10 02	
K291	耳介腫瘍摘出術	D53 11 00	
K292	外耳道腫瘍摘出術(外耳道真珠腫手術を含む。)	D54 11 22	
K293	耳介悪性腫瘍手術	D53 11 00	単純切除の場合
K293	耳介悪性腫瘍手術	D53 13 02	広汎切除の場合
K294	外耳道悪性腫瘍手術(悪性外耳道炎手術を含む。)	D54 11 02	単純切除の場合
K294	外耳道悪性腫瘍手術(悪性外耳道炎手術を含む。)	D54 13 02	広汎切除の場合
K295	耳後瘻孔閉鎖術	D52 35 00	
K296 1	耳介形成手術 耳介軟骨形成を要するもの	D53 32 00	
K296 2	耳介形成手術 耳介軟骨形成を要しないもの	D53 32 00	
K297	外耳道形成手術	D54 32 02	
K298	外耳道造設術・閉鎖症手術	D54 32 02	
K299 1	小耳症手術 軟骨移植による耳介形成手術	D53 32 00	
K299 2	小耳症手術 耳介挙上	D53 32 00	
K300	鼓膜切開術	D56 16 22	
K301	鼓室開放術	D57 16 02	
K302	上鼓室開放術	D59 16 02	
K303	上鼓室乳突洞開放術	D59 16 02	
K304	乳突洞開放術(アントロトミー)	D57 16 02	
K305	乳突削開術	D57 16 02	
K306	錐体部手術	D5M 10 02	
K308	耳管内チューブ挿入術	D5B 16 32	
K308-2	耳管狭窄ビニール管挿入術	D5B 33 32	
K309	鼓膜(排液、換気)チューブ挿入術	D56 16 32	
K310	乳突充填術	D57 10 02	
K311	鼓膜穿孔閉鎖術(一連につき)	D56 43 02	
K312	鼓膜鼓室肉芽切除術	D56 10 02	
K313	中耳、側頭骨腫瘍摘出術	D57 11 02	
K314 1	中耳悪性腫瘍手術 切除	D57 11 02	単純切除の場合
K314 1	中耳悪性腫瘍手術 切除	D57 13 02	広汎切除の場合
K314 2	中耳悪性腫瘍手術 側頭骨摘出術	D57 13 02	
K315	鼓室神経叢切除、鼓索神経切断術	D57 15 02	
K316	S状洞血栓(静脈炎)手術	T1E 17 02	
K317	中耳根治手術	D57 10 02	
K318	鼓膜形成手術	D56 43 02	
K319 1	鼓室形成手術 耳小骨温存術	D57 10 02	
K319 2	鼓室形成手術 耳小骨再建術	D58 10 02	
K320	アブミ骨摘出術・可動化手術	D58 34 02	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K320-2	人工中耳植込術	D57 34 02	
K321	内耳開窓術	D5K 16 02	
K322	経迷路の内耳道開放術	D5J 16 02	
K323	内リンパ嚢開放術	D5E 16 02	
K325 1	迷路摘出術 部分摘出(膜迷路摘出術を含む。)	D5C 11 02	
K325 2	迷路摘出術 全摘出	D5C 12 02	
K327	内耳窓閉鎖術	D5L 35 02	
K328	人工内耳植込術	D5H 34 02	
K328-2	植込型骨導補聴器移植術	D57 34 02	
K328-3	植込型骨導補聴器交換術	D57 50 02	
K329	鼻中隔膿瘍切開術	D63 16 20	
K330	鼻中隔血腫切開術	D63 16 20	
K331	鼻腔粘膜焼灼術	D64 18 20	
K331-2	下甲介粘膜焼灼術	D64 18 21	
K331-3	下甲介粘膜レーザー焼灼術(両側)	D64 18 20	
K333	鼻骨骨折整復固定術	D62 30 20	
K333-2	鼻骨脱臼整復術	D62 30 20	
K333-3	鼻骨骨折徒手整復術	D62 30 40	
K334	鼻骨骨折観血的手術	D62 30 00	
K334-2	鼻骨変形治癒骨折矯正術	D62 32 00	
K335	鼻中隔骨折観血的手術	D63 30 20	
K335-2	上顎洞鼻内手術(スツルマン氏、吉田氏変法を含む。)	D68 11 21	
K335-3	上顎洞鼻外手術	D68 11 01	
K336	鼻内異物摘出術	D64 17 21	
K337	鼻前庭嚢胞摘出術	D64 10 20	
K338 1	鼻甲介切除術 高周波電気凝固法によるもの	D64 18 21	
K338 2	鼻甲介切除術 その他のもの	D64 37 20	
K339	粘膜下鼻甲介骨切除術	D64 10 20	
K340	鼻茸摘出術	D64 10 20	
K340-3	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅰ型(副鼻腔自然口開窓術)	D65 37 21	
K340-4	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅱ型(副鼻腔単洞手術)	D65 37 21	
K340-5	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅲ型(選択式(複数洞)副鼻腔手術)	D65 37 21	
K340-6	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅳ型(汎副鼻腔手術)	D65 37 21	
K340-7	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅴ型(拡大副鼻腔手術)	D65 37 21	
K341	上顎洞性後鼻孔ポリープ切除術	D64 10 21	
K342	鼻副鼻腔腫瘍摘出術	D65 11 01	
K343 1	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術 切除	D65 13 21	
K343 2	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術 全摘	D65 11 00	単純切除の場合
K343 2	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術 全摘	D65 13 00	広汎切除の場合
K343 2	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術 全摘	D65 13 02	頭蓋底郭清を伴う広汎切除の場合
K344	経鼻腔的翼突管神経切除術	D64 15 21	
K345	萎縮性鼻炎手術(両側)	D64 10 21	
K346 1	後鼻孔閉鎖症手術 単純なもの(膜性閉鎖)	D64 37 20	
K346 2	後鼻孔閉鎖症手術 複雑なもの(骨性閉鎖)	D64 37 21	
K347	鼻中隔矯正術	D63 32 20	
K347-2	変形外鼻手術	D61 32 00	
K347-3	内視鏡下鼻中隔手術Ⅰ型(骨、軟骨手術)	D63 32 21	
K347-4	内視鏡下鼻中隔手術Ⅱ型(粘膜手術)	D63 32 21	
K347-5	内視鏡下鼻腔手術Ⅰ型(下鼻甲介手術)	D64 37 21	
K347-6	内視鏡下鼻腔手術Ⅱ型(鼻腔内手術)	D64 37 21	
K347-7	内視鏡下鼻腔手術Ⅲ型(鼻孔閉鎖症手術)	D64 37 21	
K350	前頭洞充填術	D66 43 21	
K352	上顎洞根治手術	D68 11 21	
K352-2	鼻内上顎洞根治手術	D68 11 20	
K352-3	副鼻腔炎術後出血止血法	D68 20 21	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K353	鼻内篩骨洞根治手術	D67 37 21	
K356-2	鼻外前頭洞手術	D66 11 01	
K357	鼻内蝶形洞根治手術	D69 37 21	
K358	上顎洞篩骨洞根治手術	D65 11 01	
K359	前頭洞篩骨洞根治手術	D65 11 01	
K360	篩骨洞蝶形洞根治手術	D65 11 01	
K361	上顎洞篩骨洞蝶形洞根治手術	D65 11 01	
K362	上顎洞篩骨洞前頭洞根治手術	D65 11 01	
K362-2	経上顎洞的顎動脈結紮術	T26 20 00	
K363	前頭洞篩骨洞蝶形洞根治手術	D65 11 01	
K364	汎副鼻腔根治手術	D65 11 01	
K365	経上顎洞的翼突管神経切除術	D64 15 21	
K367	咽後膿瘍切開術	D7H 16 20	
K368	扁桃周囲膿瘍切開術	D7M 16 20	
K369 1	咽頭異物摘出術 簡単なもの	D7H 17 20	
K369 2	咽頭異物摘出術 複雑なもの	D7H 17 20	
K370	アデノイド切除術	D7N 11 20	
K371 1	上咽頭腫瘍摘出術 経口腔によるもの	D7F 11 20	
K371 2	上咽頭腫瘍摘出術 経鼻腔によるもの	D7F 11 20	
K371 3	上咽頭腫瘍摘出術 経副鼻腔によるもの	D7F 11 20	
K371 4	上咽頭腫瘍摘出術 外切開によるもの	D7F 11 00	
K371-2 1	上咽頭ポリープ摘出術 経口腔によるもの	D7F 10 20	
K371-2 2	上咽頭ポリープ摘出術 経鼻腔によるもの	D7F 10 20	
K371-2 3	上咽頭ポリープ摘出術 経副鼻腔によるもの	D7F 10 20	
K371-2 4	上咽頭ポリープ摘出術 外切開によるもの	D7F 10 00	
K372 1	中咽頭腫瘍摘出術 経口腔によるもの	D7H 11 20	
K372 2	中咽頭腫瘍摘出術 外切開によるもの	D7H 11 00	
K373 1	下咽頭腫瘍摘出術 経口腔によるもの	D81 11 20	
K373 2	下咽頭腫瘍摘出術 外切開によるもの	D81 11 00	
K374	咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	D7H 11 20	部位が中咽頭(軟口蓋を含む)で、 単純切除の場合
K374	咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	D7H 13 00	部位が中咽頭(軟口蓋を含む)で、 広汎切除の場合
K374	咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	D7M 11 20	部位が扁桃で、単純切除の場合
K374	咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	D7M 13 00	部位が扁桃で、広汎切除の場合
K374	咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	D7P 11 20	部位が口峡で、単純切除の場合
K374	咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	D7P 13 00	部位が口峡で、広汎切除の場合
K374	咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	D81 11 20	部位が下咽頭で、単純切除の場合
K374	咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	D81 13 00	部位が下咽頭で、広汎切除の場合
K375 1	鼻咽腔線維腫手術 切除	D7F 11 20	
K375 2	鼻咽腔線維腫手術 摘出	D7F 10 20	
K375-2	鼻咽腔閉鎖術	D7F 35 20	
K376	上咽頭悪性腫瘍手術	D7F 11 21	単純切除の場合
K376	上咽頭悪性腫瘍手術	D7F 13 00	広汎切除の場合
K377 1	口蓋扁桃手術 切除	D7M 11 20	
K377 2	口蓋扁桃手術 摘出	D7M 11 20	
K378	舌扁桃切除術	D7M 11 20	
K379 1	副咽頭間隙腫瘍摘出術 経頸部によるもの	D7G 11 00	
K379 2	副咽頭間隙腫瘍摘出術 経側頭下窩によるもの(下顎離断によるものを含む。)	D7G 11 00	
K379-2 1	副咽頭間隙悪性腫瘍摘出術 経頸部によるもの	D7G 13 00	
K379-2 2	副咽頭間隙悪性腫瘍摘出術 経側頭下窩によるもの(下顎離断によるものを含む。)	D7G 13 00	
K380	過長茎状突起切除術	D7H 11 20	
K381	上咽頭形成手術	D7F 37 20	
K382	咽頭瘻閉鎖術	D7H 35 00	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K382-2	咽頭皮膚瘻孔閉鎖術	D7H 35 00	
K383	喉頭切開・截開術	D84 16 00	
K384	喉頭膿瘍切開術	D8E 16 00	
K384-2	深頸部膿瘍切開術	D8D 16 00	
K385	喉頭浮腫乱切術	D84 16 22	
K386	気管切開術	P33 16 00	
K387	喉頭粘膜焼灼術(直達鏡によるもの)	D83 18 21	
K388	喉頭粘膜下異物挿入術	D83 43 00	
K388-2	喉頭粘膜下軟骨片挿入術	D87 43 20	
K389 1	喉頭・声帯ポリープ切除術 間接喉頭鏡によるもの	D87 10 20	
K389 2	喉頭・声帯ポリープ切除術 直達喉頭鏡又はファイバースコープによるもの	D87 10 21	
K390 1	喉頭異物摘出術 直達鏡によらないもの	D83 17 20	
K390 2	喉頭異物摘出術 直達鏡によるもの	D83 17 21	
K391 1	気管異物除去術 直達鏡によるもの	P32 17 21	
K391 2	気管異物除去術 開胸手術によるもの	P34 17 00	
K392	喉頭蓋切除術	D84 11 21	ファイバースコープ下の場合
K392	喉頭蓋切除術	D84 11 20	ファイバースコープ下以外の場合
K392-2	喉頭蓋嚢腫摘出術	D84 10 21	直達喉頭鏡又はファイバースコープ下の場合
K392-2	喉頭蓋嚢腫摘出術	D84 10 20	直達喉頭鏡、ファイバースコープ下以外の場合
K393 1	喉頭腫瘍摘出術 間接喉頭鏡によるもの	D83 11 20	
K393 2	喉頭腫瘍摘出術 直達鏡によるもの	D83 11 21	
K394 1	喉頭悪性腫瘍手術 切除	D83 11 00	単純切除の場合
K394 1	喉頭悪性腫瘍手術 切除	D83 13 00	広汎切除の場合
K394 2	喉頭悪性腫瘍手術 全摘	D83 12 00	単純切除の場合
K394 2	喉頭悪性腫瘍手術 全摘	D83 13 00	広汎切除の場合
K395	喉頭、下咽頭悪性腫瘍手術(頸部、胸部、腹部等の操作による再建を含む。)	D83 12 00	
K396	気管切開孔閉鎖術	P33 35 00	
K396-2	気管縫合術	P33 35 00	
K397	喉頭横隔膜切除術(ステント挿入固定術を含む。)	D8A 33 00	
K398 1	喉頭狭窄症手術 前方開大術	D8A 33 00	
K398 2	喉頭狭窄症手術 前壁形成手術	D8A 33 00	
K398 3	喉頭狭窄症手術 Tチューブ挿入術	D8A 33 00	
K399	気管狭窄症手術	P33 33 00	
K400 1	喉頭形成手術 人工形成材料挿置術、軟骨片挿置術	D83 43 00	
K400 2	喉頭形成手術 筋弁転位術、軟骨転位術、軟骨除去術	D83 43 00	
K400 3	喉頭形成手術 甲状軟骨固定用器具を用いたもの	D87 43 00	
K401	気管口狭窄拡大術	P33 33 00	
K402	縦隔気管口形成手術	P34 33 00	
K403 1	気管形成手術(管状気管、気管移植等) 頸部からのもの	P34 33 00	
K403 2	気管形成手術(管状気管、気管移植等) 開胸又は胸骨正中切開によるもの	P34 33 00	
K403-2 1	嚥下機能手術 輪状咽頭筋切断術	D82 15 00	
K403-2 2	嚥下機能手術 喉頭挙上術	D83 36 00	
K403-2 3	嚥下機能手術 喉頭気管分離術	D83 15 00	
K403-2 4	嚥下機能手術 喉頭全摘術	D83 11 00	
K404 1	抜歯手術(1歯につき) 乳歯	D7C 10 00	
K404 2	抜歯手術(1歯につき) 前歯	D7C 10 00	
K404 3	抜歯手術(1歯につき) 臼歯	D7C 10 00	
K404 4	抜歯手術(1歯につき) 埋伏歯	D7C 10 00	
K406 1	口蓋腫瘍摘出術 口蓋粘膜に限局するもの	D71 11 20	
K406 2	口蓋腫瘍摘出術 口蓋骨に及ぶもの	D71 11 20	
K407 1	顎・口蓋裂形成手術 軟口蓋のみのもの	D71 43 00	
K407 2	顎・口蓋裂形成手術 硬口蓋に及ぶもの	D71 43 00	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬 コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K407 3 イ	顎・口蓋裂形成手術 顎裂を伴うもの 片側	D71 43 00	
K407 3 ロ	顎・口蓋裂形成手術 顎裂を伴うもの 両側	D71 43 00	
K407-2	軟口蓋形成手術	D7H 33 20	
K408	口腔底膿瘍切開術	D7D 16 20	舌膿瘍の場合
K408	口腔底膿瘍切開術	D7K 16 20	口腔底膿瘍の場合
K408	口腔底膿瘍切開術	D7L 16 20	口峽膿瘍の場合
K409	口腔底腫瘍摘出術	D7K 11 20	
K410	口腔底悪性腫瘍手術	D7K 11 20	単純切除の場合
K410	口腔底悪性腫瘍手術	D7K 13 00	広汎切除の場合
K411	頬粘膜腫瘍摘出術	D7L 10 20	
K412	頬粘膜悪性腫瘍手術	D7L 11 20	単純切除の場合
K412	頬粘膜悪性腫瘍手術	D7L 13 00	広汎切除の場合
K413 1	舌腫瘍摘出術 粘液嚢胞摘出術	D7D 11 20	
K413 2	舌腫瘍摘出術 その他のもの	D7D 11 20	
K414	舌根甲状腺腫瘍摘出術	D8D 10 00	
K414-2	甲状舌管嚢胞摘出術	D8D 10 00	
K415 1	舌悪性腫瘍手術 切除	D7D 11 20	口腔アプローチの場合
K415 1	舌悪性腫瘍手術 切除	D7D 11 00	皮膚アプローチの場合
K415 2	舌悪性腫瘍手術 亜全摘	D7D 12 00	亜全摘出の場合
K415 2	舌悪性腫瘍手術 亜全摘	D7D 13 00	広汎切除・全摘出の場合
K418	舌形成手術(巨舌症手術)	D7D 32 00	
K418-2	舌繫痕性短縮矯正術	D7D 32 00	
K419	頬、口唇、舌小帯形成手術	D73 32 00	口唇小帯の場合
K419	頬、口唇、舌小帯形成手術	D7D 32 00	舌小帯の場合
K421 1	口唇腫瘍摘出術 粘液嚢胞摘出術	D73 11 00	
K421 2	口唇腫瘍摘出術 その他のもの	D73 11 00	
K422	口唇悪性腫瘍手術	D73 11 00	単純切除の場合
K422	口唇悪性腫瘍手術	D73 13 00	広汎切除の場合
K423 1	頬腫瘍摘出術 粘膜嚢胞摘出術	D7L 10 00	
K423 2	頬腫瘍摘出術 その他のもの	D7L 11 00	
K424	頬悪性腫瘍手術	D7L 11 00	単純切除の場合
K424	頬悪性腫瘍手術	D7L 13 00	広汎切除の場合
K425	口腔、顎、顔面悪性腫瘍切除術	D77 13 00	
K426 1	口唇裂形成手術(片側) 口唇のみの場合	D73 32 00	
K426 2	口唇裂形成手術(片側) 口唇裂鼻形成を伴う場合	D73 32 00	
K426 3	口唇裂形成手術(片側) 鼻腔底形成を伴う場合	D73 32 00	
K426-2 1	口唇裂形成手術(両側) 口唇のみの場合	D73 32 00	
K426-2 2	口唇裂形成手術(両側) 口唇裂鼻形成を伴う場合	D73 32 00	
K426-2 3	口唇裂形成手術(両側) 鼻腔底形成を伴う場合	D73 32 00	
K427	頬骨骨折観血的整復術	D75 30 00	
K427-2	頬骨変形治癒骨折矯正術	D75 32 00	頬骨骨折の場合
K427-2	頬骨変形治癒骨折矯正術	D77 32 00	上顎骨折の場合
K428	下顎骨折非観血的整復術	D7A 30 40	
K429 1	下顎骨折観血的手術 片側	D7A 30 00	
K429 2	下顎骨折観血的手術 両側	D7A 30 00	
K429-2 1	下顎関節突起骨折観血的手術 片側	D7A 30 00	
K429-2 2	下顎関節突起骨折観血的手術 両側	D7A 30 00	
K430	顎関節脱臼非観血的整復術	D7B 30 40	
K431	顎関節脱臼観血的手術	D7B 30 00	
K432	上顎骨折非観血的整復術	D77 30 40	
K433	上顎骨折観血的手術	D77 30 00	
K434	顔面多発骨折観血的手術	D74 30 00	
K434-2	顔面多発骨折変形治癒矯正術	D74 32 00	
K435	術後性上顎嚢胞摘出術	D77 10 00	
K436 1	顎骨腫瘍摘出術 長径3センチメートル未満	D76 10 00	
K436 2	顎骨腫瘍摘出術 長径3センチメートル以上	D76 10 00	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬 コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K437	下顎骨部分切除術	D7A 11 00	
K438	下顎骨離断術	D7A 11 00	
K439 1	下顎骨悪性腫瘍手術 切除	D7A 11 00	辺縁切除の場合
K439 1	下顎骨悪性腫瘍手術 切除	D7A 12 00	半側切除の場合
K439 2	下顎骨悪性腫瘍手術 切断	D7A 11 00	部分切除の場合
K439 2	下顎骨悪性腫瘍手術 切断	D7A 11 00	全摘出の場合
K440	上顎骨切除術	D77 11 00	
K441	上顎骨全摘術	D77 11 00	
K442 1	上顎骨悪性腫瘍手術 搔爬	D77 11 20	
K442 2	上顎骨悪性腫瘍手術 切除	D77 11 20	口腔アプローチの場合
K442 2	上顎骨悪性腫瘍手術 切除	D77 12 00	皮膚アプローチの場合
K442 3	上顎骨悪性腫瘍手術 全摘	D77 11 00	全摘出の場合
K442 3	上顎骨悪性腫瘍手術 全摘	D77 13 00	広汎全摘・頭蓋底郭清の場合
K443 1	上顎骨形成術 単純な場合	D77 32 00	
K443 2	上顎骨形成術 複雑な場合及び2次的再建の場合	D77 32 00	
K443 3	上顎骨形成術 骨移動を伴う場合	D77 32 00	
K444 1	下顎骨形成術 おとがい形成の場合	D7A 32 00	
K444 2	下顎骨形成術 短縮又は伸長の場合	D7A 32 00	
K444 3	下顎骨形成術 再建の場合	D7A 32 00	
K444 4	下顎骨形成術 骨移動を伴う場合	D7A 32 00	
K444-2 1	下顎骨延長術 片側	D7A 32 00	
K444-2 2	下顎骨延長術 両側	D7A 32 00	
K445	顎関節形成術	D7B 30 00	
K446 1 イ	顎関節授動術 徒手的授動術 パンピングを併用した場合	D7B 30 10	
K446 1 ロ	顎関節授動術 徒手的授動術 関節腔洗浄療法を併用した場合	D7B 30 10	
K446 2	顎関節授動術 顎関節鏡下授動術	D7B 15 11	剥離受動術の場合
K446 2	顎関節授動術 顎関節鏡下授動術	D7B 31 11	骨軟骨形成術の場合
K446 3	顎関節授動術 開放授動術	D7B 30 00	
K447 1	顎関節円板整位術 顎関節鏡下円板整位術	D7B 30 11	
K447 2	顎関節円板整位術 開放円板整位術	D7B 10 00	切除の場合
K447 2	顎関節円板整位術 開放円板整位術	D7B 30 00	整位の場合
K447 2	顎関節円板整位術 開放円板整位術	D7B 34 00	形成置換の場合
K448	がま腫切開術	D7E 16 20	
K449	唾液腺膿瘍切開術	D7E 16 20	
K450 1	唾石摘出術(一連につき) 表在性のもの	D7E 17 20	
K450 2	唾石摘出術(一連につき) 深在性のもの	D7E 17 20	液腺管内視鏡下を用いない場合
K450 2	唾石摘出術(一連につき) 深在性のもの	D7E 17 21	液腺管内視鏡下を用いる場合
K450 3	唾石摘出術(一連につき) 腺体内に存在するもの	D7E 17 20	液腺管内視鏡下を用いない場合
K450 3	唾石摘出術(一連につき) 腺体内に存在するもの	D7E 17 21	液腺管内視鏡下を用いる場合
K451	がま腫摘出術	D7E 10 20	
K452	舌下腺腫瘍摘出術	D7E 11 00	
K453	顎下腺腫瘍摘出術	D7E 11 00	
K454	顎下腺摘出術	D7E 12 00	
K455	顎下腺悪性腫瘍手術	D7E 12 00	単純切除の場合
K455	顎下腺悪性腫瘍手術	D7E 13 00	広汎切除の場合
K457 1	耳下腺腫瘍摘出術 耳下腺浅葉摘出術	D7E 11 00	
K457 2	耳下腺腫瘍摘出術 耳下腺深葉摘出術	D7E 11 00	
K458 1	耳下腺悪性腫瘍手術 切除	D7E 11 00	
K458 2	耳下腺悪性腫瘍手術 全摘	D7E 12 00	単純切除の場合
K458 2	耳下腺悪性腫瘍手術 全摘	D7E 13 00	広汎切除の場合
K459	唾液腺管形成手術	D7E 43 00	
K460 1	唾液腺管移動術 上顎洞内へのもの	D7E 43 00	
K460 2	唾液腺管移動術 結膜嚢内へのもの	D7E 43 00	
K461 1	甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術 片葉のみの場合	D8B 10 00	
K461 2	甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術 両葉の場合	D8B 10 00	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K461-2 1	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術 片葉のみの場合	D8B 11 11	
K461-2 2	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術 両葉の場合	D8B 12 11	
K462	バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	D8B 10 00	亜全摘の場合
K462	バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	D8B 12 00	全摘の場合
K462-2	内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	D8B 11 11	亜全摘の場合
K462-2	内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	D8B 12 11	全摘の場合
K463 1	甲状腺悪性腫瘍手術 切除	D8B 11 00	単純切除の場合
K463 1	甲状腺悪性腫瘍手術 切除	D8B 13 00	広汎切除の場合
K463 2	甲状腺悪性腫瘍手術 全摘及び亜全摘	D8B 12 00	単純切除の場合
K463 2	甲状腺悪性腫瘍手術 全摘及び亜全摘	D8B 13 00	広汎切除の場合
K463-2 1	内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術 切除	D8B 11 11	
K463-2 2	内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術 全摘及び亜全摘	D8B 13 11	
K464 1	副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術 副甲状腺(上皮小体)摘出術	D8C 12 00	
K464 2	副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術 副甲状腺(上皮小体)全摘術(一部筋肉移植)	D8C 43 00	
K464-2	内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	D8C 11 11	
K465	副甲状腺(上皮小体)悪性腫瘍手術(広汎)	D8C 13 00	
K466	斜角筋切断術	D8D 15 00	
K467	頸癭、頸嚢摘出術	D8D 10 00	
K468	頸肋切除術	D8D 10 00	
K469 1	頸部郭清術 片側	D8D 13 00	
K469 2	頸部郭清術 両側	D8D 13 00	
K470	頸部悪性腫瘍手術	D8D 11 00	単純切除の場合
K470	頸部悪性腫瘍手術	D8D 13 00	広汎切除の場合
K471	筋性斜頸手術	D8D 15 00	
K472	乳腺膿瘍切開術	P62 16 00	
K474 1	乳腺腫瘍摘出術 長径5センチメートル未満	P62 11 00	
K474 2	乳腺腫瘍摘出術 長径5センチメートル以上	P62 11 00	
K474-2	乳管腺葉区域切除術	P62 11 00	
K474-3 1	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき) マンモグラフィー又は超音波装置によるもの	P62 14 17	
K474-3 2	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき) MRIによるもの	P62 16 16	
K475	乳房切除術	P62 12 00	
K475-2	乳癌冷凍凝固摘出術	P61 11 07	
K476 1	乳腺悪性腫瘍手術 単純乳房切除術(乳腺全摘術)	P62 11 00	
K476 2	乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)	P62 11 00	
K476 3	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)	P62 12 00	
K476 4	乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴うもの(内視鏡下によるものを含む。))	P62 13 00	
K476 5	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術(腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)・胸筋切除を併施しないもの	P62 13 00	
K476 6	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術(腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)・胸筋切除を併施するもの	P62 13 00	
K476 7	乳腺悪性腫瘍手術 拡大乳房切除術(胸骨旁、鎖骨上、下窩など郭清を併施するもの)	P62 13 00	
K476 8	乳腺悪性腫瘍手術 乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)	P62 12 00	
K476 9	乳腺悪性腫瘍手術 乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの)	P62 13 00	
K476-2	陥没乳頭形成術、再建乳房乳頭形成術	P63 32 00	
K476-3 1	動脈(皮)弁及び筋(皮)弁を用いた乳房再建術(乳房切除後) 一次的に行うもの	P62 32 00	
K476-3 2	動脈(皮)弁及び筋(皮)弁を用いた乳房再建術(乳房切除後) 二次的に行うもの	P62 32 00	
K476-4	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	P62 32 00	
K477	胸壁膿瘍切開術	B74 16 00	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K478	肋骨・胸骨カリエス又は肋骨骨髓炎手術	B75 17 00	部位が肋骨
K478	肋骨・胸骨カリエス又は肋骨骨髓炎手術	B7A 17 00	部位が胸骨
K480	胸壁冷膿瘍手術	B74 16 00	
K480-2	流注膿瘍切開掻爬術	B74 16 00	
K481	肋骨骨折観血的手術	B75 30 04	
K482 1	肋骨切除術 第1肋骨	B76 11 00	
K482 2	肋骨切除術 その他の肋骨	B77 11 00	
K483	胸骨切除術、胸骨骨折観血手術	B7A 30 04	骨折観血的整復固定術の場合
K483	胸骨切除術、胸骨骨折観血手術	B7A 11 00	胸骨切除術の場合
K484 1	胸壁悪性腫瘍摘出術 胸壁形成手術を併施するもの	B74 13 00	
K484 2	胸壁悪性腫瘍摘出術 その他のもの	B74 13 00	
K484-2 1	胸骨悪性腫瘍摘出術 胸壁形成手術を併施するもの	B7A 13 00	
K484-2 2	胸骨悪性腫瘍摘出術 その他のもの	B7A 13 00	
K485	胸壁腫瘍摘出術	B74 11 00	
K486	胸壁瘻手術	B74 16 00	
K487 1	漏斗胸手術 胸骨挙上法によるもの	B74 32 00	
K487 2	漏斗胸手術 胸骨翻転法によるもの	B74 32 00	
K487 3	漏斗胸手術 胸腔鏡によるもの	B74 32 11	
K488	試験開胸術	P21 14 00	
K488-2	試験的開胸開腹術	P12 14 00	
K488-3	胸腔鏡下試験開胸術	P21 14 11	
K488-4	胸腔鏡下試験切除術	P21 14 11	
K493	骨膜外、胸膜外充填術	P13 30 00	
K494	胸腔内(胸膜内)血腫除去術	P12 17 00	
K496 1	膿胸胸膜、胸膜胼胝切除術 1肺葉に相当する範囲以内のもの	P13 17 00	
K496 2	膿胸胸膜、胸膜胼胝切除術 1肺葉に相当する範囲を超えるもの	P13 17 00	
K496-2	胸腔鏡下膿胸胸膜又は胸膜胼胝切除術	P13 17 11	
K496-3 1	胸膜外肺剥皮術 1肺葉に相当する範囲以内のもの	P13 17 00	
K496-3 2	胸膜外肺剥皮術 1肺葉に相当する範囲を超えるもの	P13 17 00	
K496-4	胸腔鏡下膿胸腔搔爬術	P12 17 11	
K497	膿胸腔有茎筋肉弁充填術	P12 43 00	
K497-2	膿胸腔有茎大網充填術	P12 43 00	
K498 1	胸郭形成手術(膿胸手術の場合)肋骨切除を主とするもの	B79 10 00	
K498 2	胸郭形成手術(膿胸手術の場合)胸膜胼胝切除を併施するもの	B79 10 00	
K499	胸郭形成手術(肺切除後遺残腔を含む。)	B79 10 00	
K501	乳糜胸手術	VV2 30 00	
K501-2	胸腔・腹腔シャントパルプ設置術	VV2 16 14	
K501-3	胸腔鏡下胸管結紮術(乳糜胸手術)	VV2 30 11	
K502	縦隔腫瘍、胸腺摘出術	P44 11 00	部位が胸腺
K502	縦隔腫瘍、胸腺摘出術	P41 10 00	部位が胸腺以外の縦隔
K502-2 1	縦隔切開術 頸部からのもの、経食道によるもの	P41 16 00	
K502-2 2	縦隔切開術 経胸腔によるもの、経腹によるもの	P41 16 00	
K502-3	胸腔鏡下縦隔切開術	P41 16 00	
K502-4	拡大胸腺摘出術	P44 12 00	
K502-5	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術	P44 12 11	
K503	縦隔郭清術	V42 12 00	
K504 1	縦隔悪性腫瘍手術 単純摘出	P41 11 00	
K504 2	縦隔悪性腫瘍手術 広汎摘出	P41 13 00	
K504-2	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	P41 11 11	単純切除で、通常の胸腔鏡下手術の場合
K504-2	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	P41 11 1R	単純切除で、ロボット支援下手術の場合
K504-2	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	P41 13 11	広汎切除で、通常の胸腔鏡下手術の場合

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K504-2	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	P41 13 1R	広汎切除で、ロボット支援下手術の場合
K507	肺膿瘍切開排膿術	P12 16 00	膿胸腔開窓術の場合
K507	肺膿瘍切開排膿術	P21 16 00	切開排膿の場合
K508	気管支狭窄拡張術(気管支鏡によるもの)	P35 33 21	
K508-2 1	気管・気管支ステント留置術 硬性鏡によるもの	P31 33 21	
K508-2 2	気管・気管支ステント留置術 軟性鏡によるもの	P31 33 21	
K508-3	気管支熱形成術	P35 18 21	
K509 1	気管支異物除去術 直達鏡によるもの	P35 17 11	
K509 2	気管支異物除去術 開胸手術によるもの	P35 17 00	
K509-2	気管支肺胞洗浄術	P21 16 21	
K509-3	気管支内視鏡的放射線治療用マーカー留置術	P21 16 21	
K509-4	気管支瘻孔閉鎖術	P35 30 21	
K510	気管支腫瘍摘出術(気管支鏡又は気管支ファイバースコープによるもの)	P35 10 21	
K510-2 1	光線力学療法 早期肺がん(0期又は1期に限る。)に対するもの	P31 18 21	
K510-2 2	光線力学療法 その他のもの	P31 18 21	
K510-3	気管支鏡下レーザー腫瘍焼灼術	P34 18 21	部位が気管
K510-3	気管支鏡下レーザー腫瘍焼灼術	P35 18 21	部位が気管支
K511 1	肺切除術 楔状部分切除	P21 36 00	肺縫縮術の場合
K511 1	肺切除術 楔状部分切除	P21 11 00	肺切除術の場合
K511 2	肺切除術 区域切除(1肺葉に満たないもの)	P21 11 00	
K511 3	肺切除術 肺葉切除	P21 12 00	
K511 4	肺切除術 複合切除(1肺葉を超えるもの)	P21 12 00	
K511 5	肺切除術 1側肺全摘	P21 12 00	
K511 6	肺切除術 気管支形成を伴う肺切除	P21 12 00	
K513 1	胸腔鏡下肺切除術 肺嚢胞手術(楔状部分切除によるもの)	P21 11 11	
K513 2	胸腔鏡下肺切除術 その他のもの	P21 11 11	区域切除までの場合
K513 2	胸腔鏡下肺切除術 その他のもの	P21 12 11	肺葉切除以上の場合
K513-2	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術	P44 11 11	胸腺の場合(重症筋無力症を除く)で、通常の胸腔鏡下手術の場合
K513-2	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術	P41 10 11	胸腺以外の縦隔良性腫瘍の場合で、通常の胸腔鏡下手術の場合
K513-2	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術	P41 11 1R	縦隔良性腫瘍で、ロボット支援手術の場合
K513-3	胸腔鏡下良性胸壁腫瘍手術	B74 11 11	
K513-4	胸腔鏡下肺縫縮術	P21 36 11	
K514 1	肺悪性腫瘍手術 部分切除	P21 11 00	
K514 2	肺悪性腫瘍手術 区域切除	P21 11 00	単純切除の場合
K514 2	肺悪性腫瘍手術 区域切除	P21 13 00	広汎切除の場合
K514 3	肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの	P21 12 00	単純切除の場合
K514 3	肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの	P21 13 00	広汎切除の場合
K514 4	肺悪性腫瘍手術 肺全摘	P21 12 00	単純切除の場合
K514 4	肺悪性腫瘍手術 肺全摘	P21 13 00	広汎切除の場合
K514 5	肺悪性腫瘍手術 隣接臓器合併切除を伴う肺切除	P21 13 00	
K514 6	肺悪性腫瘍手術 気管支形成を伴う肺切除	P21 13 00	
K514 7	肺悪性腫瘍手術 気管分岐部切除を伴う肺切除	P21 13 00	
K514 8	肺悪性腫瘍手術 気管分岐部再建を伴う肺切除	P21 13 00	
K514 9	肺悪性腫瘍手術 胸膜肺全摘	P13 13 00	
K514 10	肺悪性腫瘍手術 壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)	P13 17 00	
K514-2 1	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 部分切除	P21 11 11	
K514-2 2	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 区域切除	P21 13 11	
K514-2 3	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの	P21 13 11	通常の胸腔鏡下手術の場合

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K514-2 3	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの	P21 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K514-3	移植用肺採取術(死体)(両側)	P21 42 00	
K514-4	同種死体肺移植術	P21 43 00	
K514-5	移植用部分肺採取術(生体)	P21 42 00	
K514-6	生体部分肺移植術	P21 43 0B	
K515	肺剥皮術	P13 17 00	
K516	気管支瘻閉鎖術	P35 35 00	
K517	肺縫縮術	P21 36 00	
K518 1	気管支形成手術 楔状切除術	P35 33 00	
K518 2	気管支形成手術 輪状切除術	P35 33 00	
K519	先天性気管狭窄症手術	P32 33 00	気管を端々吻合する場合
K519	先天性気管狭窄症手術	P32 43 00	肋軟骨グラフトを行う場合
K520 1	食道縫合術(穿孔、損傷) 頸部手術	Q13 30 00	
K520 2	食道縫合術(穿孔、損傷) 開胸手術	Q14 30 00	
K520 3	食道縫合術(穿孔、損傷) 開腹手術	Q15 30 00	
K520 4	食道縫合術(穿孔、損傷) 内視鏡によるもの	Q15 30 21	
K521 1	食道周囲膿瘍切開誘導術 開胸手術	Q14 16 00	
K521 2	食道周囲膿瘍切開誘導術 胸骨切開によるもの	Q14 16 00	
K521 3	食道周囲膿瘍切開誘導術 その他のもの(頸部手術を含む。)	Q13 16 00	
K522 1	食道狭窄拡張術 内視鏡によるもの	Q12 33 21	
K522 2	食道狭窄拡張術 食道ブジー法	Q12 33 24	
K522 3	食道狭窄拡張術 拡張用バルーンによるもの	Q12 33 24	
K522-2	食道ステント留置術	Q12 33 24	
K522-3	食道空置バイパス作成術	Q13 12 00	
K523 1	食道異物摘出術 頸部手術によるもの	Q13 17 00	
K523 2	食道異物摘出術 開胸手術によるもの	Q12 17 00	
K523 3	食道異物摘出術 開腹手術によるもの	Q15 17 00	
K523-2	硬性内視鏡下食道異物摘出術	Q12 17 21	
K524 1	食道憩室切除術 頸部手術によるもの	Q13 10 00	
K524 2	食道憩室切除術 開胸によるもの	Q14 10 00	
K524-2	胸腔鏡下食道憩室切除術	Q14 10 11	
K524-3	腹腔鏡下食道憩室切除術	Q14 10 11	
K525 1	食道切除再建術 頸部、胸部、腹部の操作によるもの	Q14 12 04	
K525 2	食道切除再建術 胸部、腹部の操作によるもの	Q14 12 00	
K525 3	食道切除再建術 腹部の操作によるもの	Q14 12 00	
K525-2 1	胸壁外皮膚管形成吻合術 頸部、胸部、腹部の操作によるもの	Q14 34 04	
K525-2 2	胸壁外皮膚管形成吻合術 胸部、腹部の操作によるもの	Q14 34 00	
K525-2 3	胸壁外皮膚管形成吻合術 腹部の操作によるもの	Q14 34 00	
K525-2 4	胸壁外皮膚管形成吻合術 バイパスのみ作成する場合	Q14 34 00	
K525-3	非開胸食道除去術(消化管再建手術を併施するもの)	Q12 12 00	
K526 1	食道腫瘍摘出術 内視鏡によるもの	Q12 10 21	
K526 2	食道腫瘍摘出術 開胸又は開腹手術によるもの	Q14 10 00	
K526 3	食道腫瘍摘出術 腹腔鏡下、縦隔鏡下又は胸腔鏡下によるもの	Q14 10 11	
K526-2 1	内視鏡的食道粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜切除術	Q12 11 21	
K526-2 2	内視鏡的食道粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	Q12 11 21	
K526-3	内視鏡的表在性食道悪性腫瘍光線力学療法	Q12 18 21	
K526-4	内視鏡的食道悪性腫瘍光線力学療法	Q12 18 21	
K527 1	食道悪性腫瘍手術(単に切除のみのもの) 頸部食道の場合	Q13 11 00	
K527 2	食道悪性腫瘍手術(単に切除のみのもの) 胸部食道の場合	Q14 11 00	
K528	先天性食道閉鎖症根治手術	Q12 33 00	腸管間置術を行わない場合
K528	先天性食道閉鎖症根治手術	Q12 43 00	腸管間置術を行う場合

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K528-2	先天性食道狭窄症根治手術	Q12 33 00	
K528-3	胸腔鏡下先天性食道閉鎖症根治手術	Q12 33 11	
K529 1	食道悪性腫瘍手術(消化管再建手術を併施するもの) 頸部、胸部、腹部の操作によるもの	Q14 13 00	
K529 2	食道悪性腫瘍手術(消化管再建手術を併施するもの) 胸部、腹部の操作によるもの	Q14 13 00	
K529 3	食道悪性腫瘍手術(消化管再建手術を併施するもの) 腹部の操作によるもの	Q15 13 00	
K529-2 1	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術 頸部、胸部、腹部の操作によるもの	Q14 13 11	通常の胸腔鏡下手術の場合
K529-2 1	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術 頸部、胸部、腹部の操作によるもの	Q14 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K529-2 2	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術 胸部、腹部の操作によるもの	Q14 13 11	通常の胸腔鏡下手術の場合
K529-2 2	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術 胸部、腹部の操作によるもの	Q14 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K529-3	縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術	Q14 13 11	
K530	食道アカラシア形成手術	Q16 33 00	
K530-2	腹腔鏡下食道アカラシア形成手術	Q16 33 11	
K530-3	内視鏡下筋層切開術	Q16 33 21	
K531 1	食道切除後2次の再建術 皮弁形成によるもの	Q13 12 00	
K531 2	食道切除後2次の再建術 消化管利用によるもの	Q13 12 00	
K532 1	食道・胃静脈瘤手術 血行遮断術を主とするもの	T67 20 00	
K532 2	食道・胃静脈瘤手術 食道離断術を主とするもの	T67 15 00	
K532-2	食道静脈瘤手術(開腹)	Q22 20 00	
K532-3	腹腔鏡下食道静脈瘤手術(胃上部血行遮断術)	Q22 20 11	
K533	食道・胃静脈瘤硬化療法(内視鏡によるもの)(一連として)	T67 18 21	
K533-2	内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術	T67 20 21	
K534 1	横隔膜縫合術 経胸又は経腹	P51 30 00	
K534 2	横隔膜縫合術 経胸及び経腹	P51 30 00	
K534-2 1	横隔膜シラクサチオ手術 経胸又は経腹	P51 36 00	
K534-2 2	横隔膜シラクサチオ手術 経胸及び経腹	P51 36 00	
K534-3	胸腔鏡下(腹腔鏡下を含む。)横隔膜縫合術	P51 30 11	
K535 1	胸腹裂孔ヘルニア手術 経胸又は経腹	P51 35 00	
K535 2	胸腹裂孔ヘルニア手術 経胸及び経腹	P51 35 00	
K536	後胸骨ヘルニア手術	P51 35 00	
K537 1	食道裂孔ヘルニア手術 経胸又は経腹	Q16 36 00	
K537 2	食道裂孔ヘルニア手術 経胸及び経腹	Q16 36 00	
K537-2	腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術	Q16 36 11	
K538	心膜縫合術	N13 30 00	
K538-2	心筋縫合止血術(外傷性)	N12 20 00	
K539	心膜切開術	N13 16 00	
K539-2	心膜嚢胞、心膜腫瘍切除術	N13 10 00	
K539-3	胸腔鏡下心膜開窓術	N13 16 11	
K540	収縮性心膜炎手術	N13 15 00	
K541	試験開心術	N11 14 00	
K542	心腔内異物除去術	N1D 17 00	
K543	心房内血栓除去術	N1A 17 00	
K544 1	心腫瘍摘出術、心腔内粘液腫摘出術 単独のもの	N1D 10 00	
K544 2	心腫瘍摘出術、心腔内粘液腫摘出術 冠動脈血行再建術(1吻合)を伴うもの	N1D 10 00	
K544 3	心腫瘍摘出術、心腔内粘液腫摘出術 冠動脈血行再建術(2吻合以上)を伴うもの	N1D 10 00	
K545	開胸心臓マッサージ	N11 50 00	
K546 1	経皮的冠動脈形成術 急性心筋梗塞に対するもの	T32 33 13	
K546 2	経皮的冠動脈形成術 不安定狭心症に対するもの	T32 33 13	
K546 3	経皮的冠動脈形成術 その他のもの	T32 33 13	
K547	経皮的冠動脈粥腫切除術	T32 10 13	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K548 1	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの) 高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテルによるもの	T32 33 23	
K548 2	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの) エキシマレーザー血管形成用カテーテルによるもの	T32 33 13	
K549 1	経皮的冠動脈ステント留置術 急性心筋梗塞に対するもの	T32 33 13	
K549 2	経皮的冠動脈ステント留置術 不安定狭心症に対するもの	T32 33 13	
K549 3	経皮的冠動脈ステント留置術 その他のもの	T32 33 13	
K550	冠動脈内血栓溶解療法	T32 17 13	
K550-2	経皮的冠動脈血栓吸引術	T32 17 13	
K551 1	冠動脈形成術(血栓内膜摘除) 1箇所のもの	T32 10 00	
K551 2	冠動脈形成術(血栓内膜摘除) 2箇所以上のも	T32 10 00	
K552 1	冠動脈、大動脈バイパス移植術 1吻合のもの	T32 33 00	
K552 2	冠動脈、大動脈バイパス移植術 2吻合以上のも	T32 33 00	
K552-2 1	冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないもの) 1吻合のもの	T32 33 00	
K552-2 2	冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないもの) 2吻合以上のも	T32 33 00	
K553 1	心室瘤切除術(梗塞切除を含む。) 単独のもの	N19 10 00	
K553 2	心室瘤切除術(梗塞切除を含む。) 冠動脈血行再建術(1吻合)を伴うもの	N19 10 00	
K553 3	心室瘤切除術(梗塞切除を含む。) 冠動脈血行再建術(2吻合以上)を伴うもの	N19 10 00	
K553-2 1	左室形成術、心室中隔穿孔閉鎖術、左室自由壁破裂修復術 単独のもの	N17 33 00	心室中隔穿孔閉鎖術の場合
K553-2 1	左室形成術、心室中隔穿孔閉鎖術、左室自由壁破裂修復術 単独のもの	N1G 33 00	左室形成術又は左室自由壁破裂修復術の場合
K553-2 2	左室形成術、心室中隔穿孔閉鎖術、左室自由壁破裂修復術 冠動脈血行再建術(1吻合)を伴うもの	N17 33 00	心室中隔穿孔閉鎖術の場合
K553-2 2	左室形成術、心室中隔穿孔閉鎖術、左室自由壁破裂修復術 冠動脈血行再建術(1吻合)を伴うもの	N1G 33 00	左室形成術又は左室自由壁破裂修復術の場合
K553-2 3	左室形成術、心室中隔穿孔閉鎖術、左室自由壁破裂修復術 冠動脈血行再建術(2吻合以上)を伴うもの	N17 33 00	心室中隔穿孔閉鎖術の場合
K553-2 3	左室形成術、心室中隔穿孔閉鎖術、左室自由壁破裂修復術 冠動脈血行再建術(2吻合以上)を伴うもの	N1G 33 00	左室形成術又は左室自由壁破裂修復術の場合
K554 1	弁形成術 1弁のもの	N1M 33 00	大動脈弁の場合
K554 1	弁形成術 1弁のもの	N1L 33 00	僧帽弁の場合
K554 1	弁形成術 1弁のもの	N1J 33 00	三尖弁の場合
K554 1	弁形成術 1弁のもの	N1K 33 00	肺動脈弁の場合
K554 2	弁形成術 2弁のもの	N1N 33 00	
K554 3	弁形成術 3弁のもの	N1N 33 00	
K554-2 1	胸腔鏡下弁形成術 1弁のもの	N1L 33 11	僧帽弁の場合で、通常の胸腔鏡下手術の場合
K554-2 1	胸腔鏡下弁形成術 1弁のもの	N1L 33 1R	僧帽弁の場合で、ロボット支援下手術の場合
K554-2 1	胸腔鏡下弁形成術 1弁のもの	N1M 33 11	大動脈弁の場合で、通常の胸腔鏡下手術の場合
K554-2 1	胸腔鏡下弁形成術 1弁のもの	N1M 33 1R	大動脈弁の場合で、ロボット支援下手術の場合
K554-2 1	胸腔鏡下弁形成術 1弁のもの	N1J 33 11	三尖弁の場合で、通常の胸腔鏡下手術の場合
K554-2 1	胸腔鏡下弁形成術 1弁のもの	N1J 33 1R	三尖弁の場合で、ロボット支援下手術の場合
K554-2 1	胸腔鏡下弁形成術 1弁のもの	N1K 33 11	肺動脈弁の場合で、通常の胸腔鏡下手術の場合
K554-2 1	胸腔鏡下弁形成術 1弁のもの	N1K 33 1R	肺動脈弁の場合で、ロボット支援下手術の場合
K554-2 2	胸腔鏡下弁形成術 2弁のもの	N1N 33 11	通常の胸腔鏡下手術の場合
K554-2 2	胸腔鏡下弁形成術 2弁のもの	N1N 33 1R	ロボット支援下手術の場合
K555 1	弁置換術 1弁のもの	N1M 33 00	大動脈弁の場合
K555 1	弁置換術 1弁のもの	N1L 33 00	僧帽弁の場合
K555 1	弁置換術 1弁のもの	N1J 33 00	三尖弁の場合

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K555 1	弁置換術 1弁のもの	N1K 33 00	肺動脈弁の場合
K555 2	弁置換術 2弁のもの	N1N 33 00	
K555 3	弁置換術 3弁のもの	N1N 33 00	
K555-2 1	経カテーテル大動脈弁置換術 経心尖大動脈弁置換術	N1M 33 04	
K555-2 2	経カテーテル大動脈弁置換術 経皮的動脈弁置換術	N1M 33 14	
K555-3 1	胸腔鏡下弁置換術 1弁のもの	N1L 33 11	僧帽弁の場合
K555-3 1	胸腔鏡下弁置換術 1弁のもの	N1M 33 11	大動脈弁の場合
K555-3 1	胸腔鏡下弁置換術 1弁のもの	N1J 33 11	三尖弁の場合
K555-3 1	胸腔鏡下弁置換術 1弁のもの	N1K 33 11	肺動脈弁の場合
K555-3 2	胸腔鏡下弁置換術 2弁のもの	N1N 33 11	
K556	大動脈弁狭窄直視下切開術	N1M 33 00	
K556-2	経皮的動脈弁拡張術	N1M 33 13	
K557	大動脈弁上狭窄手術	T52 33 00	
K557-2	大動脈弁下狭窄切除術(線維性、筋肥厚性を含む。)	N1G 33 00	
K557-3	弁輪拡大術を伴う大動脈弁置換術	N1M 33 00	
K557-4	ダムス・ケー・スタンセル(DKS)吻合を伴う大動脈狭窄症手術	T52 33 00	
K558	ロス手術(自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術)	N1M 33 00	
K559	閉鎖式僧帽弁交連切開術	N1L 33 00	
K559-2	経皮的僧帽弁拡張術	N1L 33 13	
K559-3	経皮的僧帽弁クリップ術	N1L 33 13	
K560 1 イ	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)上行大動脈 大動脈弁置換術又は形成術を伴うもの	T52 34 00	
K560 1 ロ	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)上行大動脈 人工弁置換術を伴う大動脈基部置換術	T52 34 00	
K560 1 ハ	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)上行大動脈 自己弁温存型大動脈基部置換術	T52 34 00	
K560 1 ニ	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)上行大動脈 その他のもの	T52 34 00	
K560 2	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)弓部大動脈	T56 34 00	
K560 3 イ	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術 大動脈弁置換術又は形成術を伴うもの	T52 34 00	
K560 3 ロ	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術 人工弁置換術を伴う大動脈基部置換術	T52 34 00	
K560 3 ハ	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術 自己弁温存型大動脈基部置換術	T52 34 00	
K560 3 ニ	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術 その他のもの	T52 34 00	
K560 4	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)下行大動脈	T5F 34 00	
K560 5	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)胸腹部大動脈	T55 34 00	
K560 6	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)腹部大動脈(分枝血管の再建を伴うもの)	T72 34 00	
K560 7	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)腹部大動脈(その他のもの)	T72 34 00	
K560-2 1	オープン型ステントグラフト内挿術 弓部大動脈	T56 33 00	
K560-2 2 イ	オープン型ステントグラフト内挿術 上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術 大動脈弁置換術又は形成術を伴うもの	T52 33 00	
K560-2 2 ロ	オープン型ステントグラフト内挿術 上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術 人工弁置換術を伴う大動脈基部置換術	T52 33 00	
K560-2 2 ハ	オープン型ステントグラフト内挿術 上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術 自己弁温存型大動脈基部置換術	T52 33 00	
K560-2 2 ニ	オープン型ステントグラフト内挿術 上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術 その他のもの	T52 33 00	
K560-2 3	オープン型ステントグラフト内挿術 下行大動脈	T5F 33 00	
K561 1	ステントグラフト内挿術 血管損傷の場合	TF3 30 13	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K561 2 イ	ステントグラフト内挿術 1以外の場合 胸部大動脈	T54 33 13	
K561 2 ロ	ステントグラフト内挿術 1以外の場合 腹部大動脈	T72 33 13	
K561 2 ハ	ステントグラフト内挿術 1以外の場合 腸骨動脈	T84 33 13	
K562 1	動脈管開存症手術 経皮的動脈管開存閉鎖術	T48 35 14	
K562 2	動脈管開存症手術 動脈管開存閉鎖術(直視下)	T48 15 00	
K562-2	胸腔鏡下動脈管開存閉鎖術	T48 35 11	
K563	肺動脈絞扼術	T41 36 00	
K564	血管輪又は重複大動脈弓離断手術	T56 15 00	
K565	巨大側副血管手術(肺内肺動脈統合術)	T47 33 00	
K566	体動脈肺動脈短絡手術(ブラロック手術、ウォーターストン手術)	N11 33 00	
K567 1	大動脈縮窄(離断)症手術 単独のもの	T56 33 00	
K567 2	大動脈縮窄(離断)症手術 心室中隔欠損症手術を伴うもの	N11 33 00	
K567 3	大動脈縮窄(離断)症手術 複雑心奇形手術を伴うもの	N11 33 00	
K567-2	経皮的大動脈形成術	T51 33 13	
K568 1	大動脈肺動脈中隔欠損症手術 単独のもの	N11 33 00	
K568 2	大動脈肺動脈中隔欠損症手術 心内奇形手術を伴うもの	N11 33 00	
K569	三尖弁手術(エプスタイン氏奇形、ウール氏病手術)	N11 33 00	
K570 1	肺動脈狭窄症、純型肺動脈弁閉鎖症手術 肺動脈弁切開術(単独のもの)	N1K 33 00	
K570 2	肺動脈狭窄症、純型肺動脈弁閉鎖症手術 右室流出路形成又は肺動脈形成を伴うもの	N1F 33 00	
K570-2	経皮的肺動脈弁拡張術	N1K 33 13	
K570-3	経皮的肺動脈形成術	T41 33 13	
K571 1	肺静脈還流異常症手術 部分肺静脈還流異常	N11 33 00	
K571 2 イ	肺静脈還流異常症手術 総肺静脈還流異常 心臓型	N11 33 00	
K571 2 ロ	肺静脈還流異常症手術 総肺静脈還流異常 その他のもの	N11 33 00	
K572	肺静脈形成術	N11 33 00	
K573 1	心房中隔欠損作成術 経皮的心房中隔欠損作成術(ラッシュキンド法)	N16 33 13	
K573 2	心房中隔欠損作成術 心房中隔欠損作成術	N16 33 00	
K574 1	心房中隔欠損閉鎖術 単独のもの	N16 33 00	
K574 2	心房中隔欠損閉鎖術 肺動脈弁狭窄を合併するもの	N16 33 00	
K574-2	経皮的心房中隔欠損閉鎖術	N16 35 13	
K575	三心房心手術	N11 33 00	
K576 1	心室中隔欠損閉鎖術 単独のもの	N17 33 00	
K576 2	心室中隔欠損閉鎖術 肺動脈絞扼術後肺動脈形成を伴うもの	N17 33 00	
K576 3	心室中隔欠損閉鎖術 大動脈弁形成を伴うもの	N17 33 00	
K576 4	心室中隔欠損閉鎖術 右室流出路形成を伴うもの	N17 33 00	
K577 1	バルサルバ洞動脈瘤手術 単独のもの	N11 33 00	
K577 2	バルサルバ洞動脈瘤手術 大動脈閉鎖不全症手術を伴うもの	N11 33 00	
K578	右室二腔症手術	N11 33 00	
K579 1	不完全型房室中隔欠損症手術 心房中隔欠損パッチ閉鎖術(単独のもの)	N18 33 00	
K579 2	不完全型房室中隔欠損症手術 心房中隔欠損パッチ閉鎖術及び弁形成術を伴うもの	N11 33 00	
K579-2 1	完全型房室中隔欠損症手術 心房及び心室中隔欠損パッチ閉鎖術を伴うもの	N11 33 00	
K579-2 2	完全型房室中隔欠損症手術 ファロー四徴症手術を伴うもの	N18 33 00	
K580 1	ファロー四徴症手術 右室流出路形成術を伴うもの	N11 33 00	
K580 2	ファロー四徴症手術 末梢肺動脈形成術を伴うもの	N11 33 00	
K581 1	肺動脈閉鎖症手術 単独のもの	N11 33 00	
K581 2	肺動脈閉鎖症手術 ラステリ手術を伴うもの	N11 33 00	
K581 3	肺動脈閉鎖症手術 巨大側副血管術を伴うもの	N11 33 00	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K582 1	両大血管右室起始症手術 単独のもの	N11 33 00	
K582 2	両大血管右室起始症手術 右室流出路形成を伴うもの	N11 33 00	
K582 3	両大血管右室起始症手術 心室中隔欠損症閉鎖術及び大血管血流転換を伴うもの(タウシヒ・ピング奇形手術)	N11 33 00	
K583 1	大血管転位症手術 心房内血流転換手術(マスタード・セニング手術)	N11 33 00	
K583 2	大血管転位症手術 大血管血流転換術(ジャテーン手術)	N11 33 00	
K583 3	大血管転位症手術 心室中隔欠損閉鎖術を伴うもの	N11 33 00	
K583 4	大血管転位症手術 ラステリ手術を伴うもの	N11 33 00	
K584 1	修正大血管転位症手術 心室中隔欠損パッチ閉鎖術	N11 33 00	
K584 2	修正大血管転位症手術 根治手術(ダブルスイッチ手術)	N11 33 00	
K585	総動脈幹症手術	T31 33 00	
K586 1	単心室症又は三尖弁閉鎖症手術 両方向性グレン手術	N11 33 00	
K586 2	単心室症又は三尖弁閉鎖症手術 フォンタン手術	N11 33 00	
K586 3	単心室症又は三尖弁閉鎖症手術 心室中隔造成術	N11 33 00	
K587	左心低形成症候群手術(ノルウッド手術)	N11 33 00	
K588	冠動脈瘻開胸的遮断術	T32 35 00	
K589	冠動脈起始異常症手術	T32 33 00	
K590	心室憩室切除術	N19 10 00	
K591	心臓脱手術	N11 30 00	
K592	肺動脈塞栓除去術	T41 17 00	
K592-2	肺動脈血栓内膜摘除術	T41 10 00	
K593	肺静脈血栓除去術	T46 17 00	
K594 1	不整脈手術 副伝導路切断術	N1E 15 00	
K594 2	不整脈手術 心室頻拍症手術	N1E 15 00	
K594 3	不整脈手術 メイズ手術	N1E 15 00	
K594-2	肺静脈隔離術	N1E 15 00	
K595 1	経皮的カテーテル心筋焼灼術 心房中隔穿刺又は心外膜アプローチを伴うもの	N12 18 14	
K595 2	経皮的カテーテル心筋焼灼術 その他のもの	N12 18 14	
K595-2	経皮的中隔心筋焼灼術	N17 18 13	
K596	体外ペースメーカー術	N1E 50 14	
K597 1	ペースメーカー移植術 心筋電極の場合	N1E 50 00	
K597 2	ペースメーカー移植術 経静脈電極の場合	N1E 50 04	
K597 3	ペースメーカー移植術 リードレスペースメーカーの場合	N1E 50 14	
K597-2	ペースメーカー交換術	N1E 50 00	
K597-3	植込型心電図記録計移植術	N1E 50 00	
K597-4	植込型心電図記録計摘出術	N1E 50 00	
K598	両心室ペースメーカー移植術	N1E 50 00	
K598-2	両心室ペースメーカー交換術	N1E 50 00	
K599 1	植込型除細動器移植術 経静脈リードを用いるもの	N1E 50 00	
K599 2	植込型除細動器移植術 皮下植込型リードを用いるもの	N1E 50 04	
K599-2	植込型除細動器交換術	N1E 50 00	
K599-3	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術	N1E 50 00	
K599-4	両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	N1E 50 00	
K599-5 1	経静脈電極除去術 レーザーシースを用いるもの	N1E 17 00	
K599-5 2	経静脈電極除去術 レーザーシースを用いないもの	N1E 17 14	
K600 1	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)(1日につき) 初日	T54 50 13	
K600 2	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)(1日につき) 2日目以降	T54 50 90	
K601 1	人工心肺(1日につき) 初日	N11 50 00	
K601 2	人工心肺(1日につき) 2日目以降	N11 50 90	
K602 1	経皮的心肺補助法(1日につき) 初日	N11 50 13	
K602 2	経皮的心肺補助法(1日につき) 2日目以降	N11 50 90	
K602-2 1	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)(1日につき) 初日	N11 50 13	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K602-2 2	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)(1日につき) 2日目以降	N11 50 90	
K603 1	補助人工心臓(1日につき) 初日	N11 50 00	
K603 2	補助人工心臓(1日につき) 2日目以降30日目まで	N11 50 90	
K603 3	補助人工心臓(1日につき) 31日目以降	N11 50 90	
K603-2 1	小児補助人工心臓(1日につき) 初日	N11 50 00	
K603-2 2	小児補助人工心臓(1日につき) 2日目以降30日目まで	N11 50 90	
K603-2 3	小児補助人工心臓(1日につき) 31日目以降	N11 50 90	
K604-2 1	植込型補助人工心臓(非拍動流型) 初日(1日につき)	N11 50 00	
K604-2 2	植込型補助人工心臓(非拍動流型) 2日目以降30日目まで(1日につき)	N11 50 90	
K604-2 3	植込型補助人工心臓(非拍動流型) 31日目以降90日目まで(1日につき)	N11 50 90	
K604-2 4	植込型補助人工心臓(非拍動流型) 91日目以降(1日につき)	N11 50 90	
K605	移植用心採取術	N11 42 00	
K605-2	同種心移植術	N11 43 00	
K605-3	移植用心肺採取術	N11 42 00	
K605-4	同種心肺移植術	N11 43 00	
K605-5	骨格筋由来細胞シート心表面移植術	N12 43 00	
K606	血管露出術	TC1 50 00	
K607 1	血管結紮術 開胸又は開腹を伴うもの	T51 20 00	開胸の場合
K607 1	血管結紮術 開胸又は開腹を伴うもの	T71 20 00	開腹の場合
K607 2	血管結紮術 その他のもの	TF2 20 00	
K607-2	血管縫合術(簡単なもの)	TF2 30 00	
K607-3	上腕動脈表在化法	TD3 50 00	
K608 1	動脈塞栓除去術 開胸又は開腹を伴うもの	T51 17 00	開胸の場合
K608 1	動脈塞栓除去術 開胸又は開腹を伴うもの	T71 17 00	開腹の場合
K608 2	動脈塞栓除去術 その他のもの(観血的なもの)	TF2 17 00	
K608-2	外シャント血栓除去術	TF5 17 00	
K608-3	内シャント血栓除去術	TF5 17 00	
K609 1	動脈血栓内膜摘出術 大動脈に及ぶもの	T53 10 00	
K609 2	動脈血栓内膜摘出術 内頸動脈	T2D 10 00	
K609 3	動脈血栓内膜摘出術 その他のもの	TF3 10 00	
K609-2	経皮的頸動脈ステント留置術	T13 33 13	
K610 1	動脈形成術、吻合術 頭蓋内動脈	T14 43 00	
K610 2	動脈形成術、吻合術 胸腔内動脈(大動脈を除く。)	T41 33 00	肺動脈の場合
K610 2	動脈形成術、吻合術 胸腔内動脈(大動脈を除く。)	T51 33 00	肺動脈以外の胸腔内動脈の場合
K610 3	動脈形成術、吻合術 腹腔内動脈(大動脈を除く。)	T71 33 00	
K610 4	動脈形成術、吻合術 指(手、足)の動脈	TDA 30 02	
K610 5	動脈形成術、吻合術 その他の動脈	T2D 33 00	頸動脈の場合
K610 5	動脈形成術、吻合術 その他の動脈	TDE 33 00	大腿一膝窩動脈の場合
K610 5	動脈形成術、吻合術 その他の動脈	TF2 33 00	その他の動脈の場合
K610-2	脳新生血管造成術	T14 43 00	
K610-3	内シャント又は外シャント設置術	TF5 33 00	
K610-4	四肢の血管吻合術	TF5 33 00	
K610-5	血管吻合術及び神経再接合術(上腕動脈、正中神経及び尺骨神経)	TD3 33 00	
K611 1	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 開腹して設置した場合	QA1 50 04	
K611 2	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	TC1 50 04	
K611 3	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 頭頸部その他に設置した場合	TF5 50 04	
K612 1	末梢動静脈瘻造設術 静脈転位を伴うもの	TF7 33 00	
K612 2	末梢動静脈瘻造設術 その他のもの	TF7 33 00	
K613	腎血管性高血圧症手術(経皮的腎血管拡張術)	T81 33 13	
K614 1	血管移植術、バイパス移植術 大動脈	T53 33 00	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K614 2	血管移植術、バイパス移植術 胸腔内動脈	T51 33 00	
K614 3	血管移植術、バイパス移植術 腹腔内動脈	T71 33 00	
K614 4	血管移植術、バイパス移植術 頭、頸部動脈	T2E 33 00	
K614 5	血管移植術、バイパス移植術 下腿、足部動脈	TDE 33 00	大腿動脈の場合
K614 5	血管移植術、バイパス移植術 下腿、足部動脈	TDG 33 03	下腿、足部動脈の場合
K614 6	血管移植術、バイパス移植術 膝窩動脈	TDH 33 00	
K614 7	血管移植術、バイパス移植術 その他の動脈	TDA 43 00	手指血管の場合
K614 7	血管移植術、バイパス移植術 その他の動脈	TF2 33 00	その他の動脈の場合
K615 1	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 止血術	T12 18 13	脳血管の場合
K615 1	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 止血術	T26 20 13	鼻出血の場合
K615 1	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 止血術	T47 18 13	肺動静脈奇形の場合
K615 1	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 止血術	T51 20 13	胸部出血の場合
K615 1	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 止血術	T5G 20 13	気管支動脈の場合
K615 1	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 止血術	T7M 20 13	腸管または腸間膜出血の場合
K615 1	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 止血術	T7G 20 13	脾動脈の場合
K615 1	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 止血術	T71 20 13	後腹膜出血の場合
K615 1	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 止血術	T81 20 13	腎出血の場合
K615 1	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 止血術	T85 20 13	骨盤部出血あるいは産科出血の場合
K615 1	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 止血術	T86 18 13	子宮筋腫または子宮腺筋症の場合
K615 1	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 止血術	TD1 20 13	四肢動脈損傷の場合
K615 1	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 止血術	TF1 18 00	脊髄血管の場合
K615 1	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 止血術	T11 20 13	上記の血管、出血以外の場合
K615 2	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 選択的動脈化学塞栓術	T2A 18 13	頭頸部腫瘍に対して
K615 2	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 選択的動脈化学塞栓術	T81 18 13	腎腫瘍に対して
K615 2	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 選択的動脈化学塞栓術	TD1 18 13	四肢軟部腫瘍、骨腫瘍に対して
K615 2	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 選択的動脈化学塞栓術	Q72 18 13	肝癌に対して
K615 3	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) その他のもの	T28 18 13	頭皮の血管腫、動静脈奇形、動静脈瘻に対して
K615 3	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) その他のもの	T25 18 13	顔面の血管腫、動静脈奇形、動静脈瘻に対して
K615 3	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) その他のもの	T23 18 17	副甲状腺機能亢進症(機能廃絶術)に対して
K615 3	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) その他のもの	T23 20 10	頭部胸腔内血管に対して
K615 3	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) その他のもの	TF9 18 13	胸壁動静脈奇形、血管腫に対して
K615 3	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) その他のもの	T7G 18 13	脾機能亢進症に対して
K615 3	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) その他のもの	T81 18 13	腎動脈(機能廃絶術)に対して
K615 3	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) その他のもの	TBF 18 13	精索静脈瘤に対して
K615 3	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) その他のもの	T86 20 13	持続陰茎勃起症に対して
K615 3	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) その他のもの	TC1 18 47	四肢動静瘻、四肢仮性動脈瘤に対して
K615 3	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) その他のもの	T11 18 13	上記以外の場合
K615-2	経皮的動脈遮断術	T53 31 13	
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	TD1 33 13	
K616-2	頸動脈球摘出術	T2D 10 00	
K616-3	経皮的胸部血管拡張術(先天性心疾患術後に限る。)	T51 33 13	
K616-4	経皮的シャント拡張術・血栓除去術	TF7 17 13	
K616-5	経皮的血管内異物除去術	T31 17 13	
K617 1	下肢静脈瘤手術 抜去切除術	TEE 10 00	
K617 2	下肢静脈瘤手術 硬化療法(一連として)	TEE 18 10	
K617 3	下肢静脈瘤手術 高位結紮術	TEE 15 00	
K617-2	大伏在静脈抜去術	TE8 10 00	
K617-3	静脈瘤切除術(下肢以外)	TF4 10 00	
K617-4	下肢静脈瘤血管内焼灼術	TE8 18 17	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K617-5	内視鏡下下肢静脈瘤不全穿通枝切離術	TE8 15 11	
K618 1	中心静脈注射用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	T61 50 13	
K618 2	中心静脈注射用植込型カテーテル設置 頭頸部その他に設置した場合	T61 50 13	
K619 1	静脈血栓摘出術 開腹を伴うもの	TB6 17 00	
K619 2	静脈血栓摘出術 その他のもの(観血的なもの)	TE1 17 00	
K619-2	総腸骨静脈及び股静脈血栓除去術	TBJ 17 00	
K620	下大静脈フィルター留置術	TB6 50 10	
K620-2	下大静脈フィルター除去術	TB6 17 10	
K621	門脈体循環静脈吻合術(門脈圧亢進症手術)	TA2 33 00	
K622	胸管内頸静脈吻合術	VV2 33 00	
K623 1	静脈形成術、吻合術 胸腔内静脈	T69 33 00	
K623 2	静脈形成術、吻合術 腹腔内静脈	TBL 33 00	
K623 3	静脈形成術、吻合術 その他の静脈	TF4 33 00	
K623-2	脾腎静脈吻合術	TB3 33 00	
K625 1	リンパ管腫摘出術 長径5センチメートル未満	VVX 10 00	
K625 2	リンパ管腫摘出術 長径5センチメートル以上	VVX 10 00	
K626 1	リンパ節摘出術 長径3センチメートル未満	V11 10 00	
K626 2	リンパ節摘出術 長径3センチメートル以上	V11 10 00	
K626-2	リンパ節膿瘍切開術	V11 16 00	
K627 1	リンパ節群郭清術 顎下部又は舌下部(浅在性)	V31 12 00	部位が舌下部
K627 1	リンパ節群郭清術 顎下部又は舌下部(浅在性)	V3F 12 00	部位が顎下部
K627 2	リンパ節群郭清術 頸部(深在性)	V21 12 00	
K627 3	リンパ節群郭清術 鎖骨上窩及び下窩	V57 12 00	
K627 4	リンパ節群郭清術 腋窩	V5A 12 00	
K627 5	リンパ節群郭清術 胸骨旁	V59 12 00	
K627 6	リンパ節群郭清術 鼠径部及び股部	VA7 13 00	
K627 7	リンパ節群郭清術 後腹膜	V9J 12 00	部位が後腹膜
K627 7	リンパ節群郭清術 後腹膜	V9K 12 00	部位が傍大動脈
K627 8	リンパ節群郭清術 骨盤	VA1 12 00	
K627-2	腹腔鏡下骨盤内リンパ節群郭清術	VA1 12 11	
K627-3	腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術	VA1 12 11	
K627-4	腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術	V9J 12 11	
K628	リンパ管吻合術	VV1 16 02	
K630	腹壁膿瘍切開術	B7C 16 00	
K631 1	腹壁瘻手術 腹壁に限局するもの	B7C 16 00	
K631 2	腹壁瘻手術 腹腔に通ずるもの	B7C 16 00	
K632 1	腹壁腫瘍摘出術 形成手術を必要としない場合	B7C 11 00	
K632 2	腹壁腫瘍摘出術 形成手術を必要とする場合	B7C 11 00	
K633 1	ヘルニア手術 腹壁瘢痕ヘルニア	QAG 35 00	
K633 2	ヘルニア手術 半月状線ヘルニア、白線ヘルニア、腹直筋離開	QAG 35 00	
K633 3	ヘルニア手術 臍ヘルニア	QAE 35 00	
K633 4	ヘルニア手術 臍帯ヘルニア	QAF 32 00	
K633 5	ヘルニア手術 鼠径ヘルニア	QAJ 35 00	
K633 6	ヘルニア手術 大腿ヘルニア	QAJ 35 00	
K633 7	ヘルニア手術 腰ヘルニア	QAH 35 00	
K633 8	ヘルニア手術 骨盤部ヘルニア(閉鎖孔ヘルニア、坐骨ヘルニア、会陰ヘルニア)	QAJ 35 00	閉鎖孔ヘルニア、会陰ヘルニアの場合
K633 8	ヘルニア手術 骨盤部ヘルニア(閉鎖孔ヘルニア、坐骨ヘルニア、会陰ヘルニア)	QAH 35 00	坐骨ヘルニアの場合
K633 9	ヘルニア手術 内ヘルニア	QAG 35 00	
K633-2 1	腹腔鏡下ヘルニア手術 腹壁瘢痕ヘルニア	QAG 35 11	
K633-2 2	腹腔鏡下ヘルニア手術 大腿ヘルニア	QAJ 35 11	
K633-2 3	腹腔鏡下ヘルニア手術 半月状線ヘルニア、白線ヘルニア	QAG 35 11	
K633-2 4	腹腔鏡下ヘルニア手術 臍ヘルニア	QAE 35 11	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K633-2 5	腹腔鏡下ヘルニア手術 閉鎖孔ヘルニア	QW2 35 11	
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側)	QAJ 35 11	
K635	胸水・腹水濾過濃縮再静注法	P12 50 10	胸水濾過の場合
K635	胸水・腹水濾過濃縮再静注法	QA1 50 10	腹水濾過の場合
K635-2	腹腔・静脈シャントバルブ設置術	QA1 50 10	
K635-3	連続携行式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術	QA1 50 10	
K636	試験開腹術	QA1 14 01	
K636-2	ダメージコントロール手術	QA1 16 00	腹部の場合
K636-2	ダメージコントロール手術	P12 16 00	胸部の場合
K636-2	ダメージコントロール手術	QW4 16 00	骨盤の場合
K636-3	腹腔鏡下試験開腹術	QA1 14 11	
K636-4	腹腔鏡下試験切除術	QA1 14 11	腹腔内の場合
K636-4	腹腔鏡下試験切除術	QW1 14 11	後腹膜腹の場合
K637 1	限局性腹腔膿瘍手術 横隔膜下膿瘍	QA2 16 00	
K637 2	限局性腹腔膿瘍手術 ダグラス窩膿瘍	QA9 16 00	
K637 3	限局性腹腔膿瘍手術 虫垂周囲膿瘍	QA7 16 00	
K637 4	限局性腹腔膿瘍手術 その他のもの	QA1 16 00	
K637-2	経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	QA1 16 17	
K638	骨盤腹膜外膿瘍切開排膿術	QW4 16 00	
K639	急性汎発性腹膜炎手術	QA1 16 00	
K639-2	結核性腹膜炎手術	QA1 16 00	
K639-3	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	QA1 16 11	
K640 1	腸間膜損傷手術 縫合、修復のみのもの	QAD 30 00	
K640 2	腸間膜損傷手術 腸管切除を伴うもの	QAD 30 00	
K641	大網切除術	QAC 11 00	
K642 1	大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術 腸切除を伴わないもの	QAC 11 00	部位が大網、腸間膜
K642 1	大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術 腸切除を伴わないもの	QW1 11 00	部位が後腹膜
K642 2	大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術 腸切除を伴うもの	QAC 13 00	部位が大網、腸間膜
K642 2	大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術 腸切除を伴うもの	QW1 13 00	部位が後腹膜
K642-2	腹腔鏡下大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術	QAC 11 11	部位が大網、腸間膜で、腸切除を伴わない場合
K642-2	腹腔鏡下大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術	QAC 13 11	部位が大網、腸間膜で、腸切除を伴う場合
K642-2	腹腔鏡下大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術	QW1 13 11	部位が後腹膜
K642-3	腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術	QW1 13 11	
K643	後腹膜悪性腫瘍手術	QW1 12 00	単純切除の場合
K643	後腹膜悪性腫瘍手術	QW1 13 00	広汎切除の場合
K643-2	腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術	QW1 13 11	
K644 1	膵腸管瘻手術 腸管切除を伴わないもの	SW3 10 00	
K644 2	膵腸管瘻手術 腸管切除を伴うもの	SW3 13 00	
K645	骨盤内臓全摘術	Q5A 13 00	
K646	胃血管結紮術(急性胃出血手術)	Q21 20 00	
K647	胃縫合術(大網充填術又は被覆術を含む。)	Q21 30 00	縫合術の場合
K647	胃縫合術(大網充填術又は被覆術を含む。)	Q25 30 00	大網充填術または被覆術の場合
K647-2	腹腔鏡下胃、十二指腸潰瘍穿孔縫合術	Q21 30 11	
K647-3	内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術	Q25 30 21	
K648	胃切開術	Q21 14 00	診断目的の場合
K648	胃切開術	Q21 17 00	胃内異物摘出の場合
K649	胃吊上げ固定術(胃下垂症手術)、胃捻転症手術	Q21 38 00	
K649-2	腹腔鏡下胃吊上げ固定術(胃下垂症手術)、胃捻転症手術	Q21 38 11	
K651	内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術	Q25 33 21	
K652	胃、十二指腸憩室切除術・ポリープ切除術(開腹によるもの)	Q21 10 01	胃憩室切除術の場合

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K652	胃、十二指腸憩室切除術・ポリープ切除術(開腹によるもの)	Q21 10 00	胃ポリープ切除術の場合
K652	胃、十二指腸憩室切除術・ポリープ切除術(開腹によるもの)	Q31 10 01	十二指腸憩室切除術の場合
K652	胃、十二指腸憩室切除術・ポリープ切除術(開腹によるもの)	Q31 10 00	十二指腸ポリープ切除術の場合
K653 1	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍 粘膜切除術	Q21 10 21	
K653 2	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍 粘膜下層剥離術	Q21 10 21	
K653 3	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍 ポリープ切除術	Q21 10 21	
K653 4	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 その他のポリープ・ 粘膜切除術	Q21 10 21	胃ポリープの場合
K653 4	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 その他のポリープ・ 粘膜切除術	Q31 10 21	十二指腸ポリープの場合
K653-2	食道・胃内異物除去摘出術(マグネットカテーテルによるもの)	Q12 17 24	食道異物の場合
K653-2	食道・胃内異物除去摘出術(マグネットカテーテルによるもの)	Q21 17 20	胃内異物の場合
K653-3	内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	Q12 17 21	食道異物の場合
K653-3	内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	Q21 17 21	胃内異物の場合
K653-4	内視鏡的表在性胃悪性腫瘍光線力学療法	Q21 18 21	
K653-5	内視鏡的胃、十二指腸狭窄拡張術	Q25 33 21	
K654	内視鏡的消化管止血術	Q25 20 21	
K654-2	胃局所切除術	Q21 10 00	
K654-3 1	腹腔鏡下胃局所切除術 内視鏡処置を併施するもの	Q21 10 11	
K654-3 2	腹腔鏡下胃局所切除術 その他のもの	Q21 10 11	
K655 1	胃切除術 単純切除術	Q21 11 00	良性の場合
K655 1	胃切除術 単純切除術	Q21 12 00	悪性で、単純切除の場合
K655 2	胃切除術 悪性腫瘍手術	Q21 13 00	
K655-2 1	腹腔鏡下胃切除術 単純切除術	Q21 11 11	良性の場合
K655-2 1	腹腔鏡下胃切除術 単純切除術	Q21 12 11	悪性の単純切除で、通常の腹腔鏡 下手術の場合
K655-2 1	腹腔鏡下胃切除術 単純切除術	Q21 12 1R	悪性の単純切除で、ロボット支援下 手術の場合
K655-2 2	腹腔鏡下胃切除術 悪性腫瘍手術	Q21 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
K655-2 2	腹腔鏡下胃切除術 悪性腫瘍手術	Q21 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K655-3	十二指腸窓(内方)憩室摘出術	Q31 10 00	
K655-4 1	噴門側胃切除術 単純切除術	Q22 11 00	良性の場合
K655-4 1	噴門側胃切除術 単純切除術	Q22 12 00	悪性で単純噴門側胃切除術の場合
K655-4 2	噴門側胃切除術 悪性腫瘍切除術	Q22 13 00	
K655-5 1	腹腔鏡下噴門側胃切除術 単純切除術	Q22 11 11	良性の場合
K655-5 1	腹腔鏡下噴門側胃切除術 単純切除術	Q22 12 11	悪性の単純切除で、通常の腹腔鏡 下手術の場合
K655-5 1	腹腔鏡下噴門側胃切除術 単純切除術	Q22 12 1R	悪性の単純切除で、ロボット支援下 手術の場合
K655-5 2	腹腔鏡下噴門側胃切除術 悪性腫瘍切除術	Q22 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
K655-5 2	腹腔鏡下噴門側胃切除術 悪性腫瘍切除術	Q22 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K656	胃縮小術	Q21 11 00	
K656-2	腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	Q21 11 11	
K657 1	胃全摘術 単純全摘術	Q21 12 00	良性および悪性で単純胃全摘の場 合
K657 2	胃全摘術 悪性腫瘍手術	Q21 13 00	
K657-2 1	腹腔鏡下胃全摘術 単純全摘術	Q21 12 11	良性および悪性の単純胃全摘で、 通常の腹腔鏡下手術の場合
K657-2 1	腹腔鏡下胃全摘術 単純全摘術	Q21 12 1R	悪性の単純胃全摘で、ロボット支援 下手術の場合
K657-2 2	腹腔鏡下胃全摘術 悪性腫瘍手術	Q21 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
K657-2 2	腹腔鏡下胃全摘術 悪性腫瘍手術	Q21 13 1R	ロボット支援下手術の場合

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K659 1	食道下部迷走神経切除術(幹迷切)単独のもの	Q22 15 00	
K659 2	食道下部迷走神経切除術(幹迷切)ドレナージを併施するもの	Q22 15 00	
K659 3	食道下部迷走神経切除術(幹迷切)胃切除術を併施するもの	Q22 15 00	
K659-2	腹腔鏡下食道下部迷走神経切断術(幹迷切)	Q22 15 11	
K660 1	食道下部迷走神経選択的切除術 単独のもの	Q22 15 00	
K660 2	食道下部迷走神経選択的切除術ドレナージを併施するもの	Q22 15 00	
K660 3	食道下部迷走神経選択的切除術 胃切除術を併施するもの	Q22 15 00	
K660-2	腹腔鏡下食道下部迷走神経選択的切除術	Q22 15 11	
K661	胃冠状静脈結紮及び切除術	Q22 20 00	
K662	胃腸吻合術(ブラウン吻合を含む。)	Q21 30 00	
K662-2	腹腔鏡下胃腸吻合術	Q21 30 11	
K663	十二指腸空腸吻合術	Q31 30 00	
K664	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	Q21 16 00	開腹の場合
K664	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	Q21 16 11	腹腔鏡下の場合
K664	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	Q21 16 21	内視鏡下の場合
K664-2	経皮経食道胃管挿入術(PTEG)	Q13 16 14	
K664-3	薬剤投与用胃瘻造設術	Q21 16 00	開腹の場合
K664-3	薬剤投与用胃瘻造設術	Q21 16 11	腹腔鏡下の場合
K664-3	薬剤投与用胃瘻造設術	Q21 16 21	内視鏡下の場合
K665 1	胃瘻閉鎖術 開腹又は腹腔鏡によるもの	Q21 35 00	開腹の場合
K665 1	胃瘻閉鎖術 開腹又は腹腔鏡によるもの	Q21 35 11	腹腔鏡下の場合
K665 2	胃瘻閉鎖術 内視鏡によるもの	Q21 35 21	
K665-2	胃瘻除去術	Q21 17 00	
K666	幽門形成術(粘膜外幽門筋切開術を含む。)	Q24 33 00	
K666-2	腹腔鏡下幽門形成術	Q24 33 11	
K667	噴門形成術	Q16 36 00	
K667-2	腹腔鏡下噴門形成術	Q16 36 11	
K668	胃横断術(静脈瘤手術)	T68 15 00	
K668-2	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	TB1 18 13	
K669	胆管切開術	Q86 14 04	
K670	胆嚢切開結石摘出術	Q81 17 04	
K671 1	胆管切開結石摘出術(チューブ挿入を含む。)胆嚢摘出を含むもの	Q86 17 04	
K671 2	胆管切開結石摘出術(チューブ挿入を含む。)胆嚢摘出を含まないもの	Q86 17 04	
K671-2 1	腹腔鏡下胆管切開結石摘出術 胆嚢摘出を含むもの	Q86 17 11	
K671-2 2	腹腔鏡下胆管切開結石摘出術 胆嚢摘出を含まないもの	Q86 17 11	
K672	胆嚢摘出術	Q81 12 04	
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	Q81 12 11	
K673	胆管形成手術(胆管切除術を含む。)	Q86 33 00	
K674	総胆管拡張症手術	Q87 12 04	
K674-2	腹腔鏡下総胆管拡張症手術	Q87 12 11	
K675 1	胆嚢悪性腫瘍手術 胆嚢に限局するもの(リンパ節郭清を含む。)	Q81 12 07	胆嚢に限局する場合
K675 1	胆嚢悪性腫瘍手術 胆嚢に限局するもの(リンパ節郭清を含む。)	Q81 13 07	肝床切除を伴う場合
K675 2	胆嚢悪性腫瘍手術 肝切除(亜区域切除以上)を伴うもの	Q81 13 07	
K675 3	胆嚢悪性腫瘍手術 肝切除(葉以上)を伴うもの	Q81 13 07	
K675 4	胆嚢悪性腫瘍手術 臍頭十二指腸切除を伴うもの	Q81 13 07	
K675 5	胆嚢悪性腫瘍手術 臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うもの	Q81 13 07	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K677 1	胆管悪性腫瘍手術 膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うもの	Q86 13 07	
K677 2	胆管悪性腫瘍手術 その他のもの	Q86 13 07	
K677-2 1	肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建あり	Q86 13 00	
K677-2 2	肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建なし	Q86 13 00	
K678	体外衝撃波胆石破碎術(一連につき)	Q81 17 44	
K679	胆嚢胃(腸)吻合術	Q81 16 00	
K680	総胆管胃(腸)吻合術	Q87 16 00	
K681	胆嚢外瘻造設術	Q81 16 04	
K682 1	胆管外瘻造設術 開腹によるもの	Q83 16 04	
K682 2	胆管外瘻造設術 経皮経肝によるもの	Q83 16 14	
K682-2	経皮的胆管ドレナージ術	Q81 16 17	
K682-3	内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術(ENBD)	Q87 16 21	
K682-4	超音波内視鏡下瘻孔形成術(腹腔内膿瘍に対するもの)	Q87 16 21	肝胆道系疾患の場合
K682-4	超音波内視鏡下瘻孔形成術(腹腔内膿瘍に対するもの)	Q92 16 21	膵管系疾患の場合
K682-4	超音波内視鏡下瘻孔形成術(腹腔内膿瘍に対するもの)	QA1 16 21	腹腔内膿瘍の場合
K684	先天性胆道閉鎖症手術	Q87 11 00	
K684-2	腹腔鏡下胆道閉鎖症手術	Q87 11 11	
K685 1	内視鏡的胆道結石除去術 胆道碎石術を伴うもの	Q87 17 21	
K685 2	内視鏡的胆道結石除去術 その他のもの	Q87 17 21	
K686	内視鏡的胆道拡張術	Q87 33 21	
K687 1	内視鏡的乳頭切開術 乳頭括約筋切開のみのもの	Q37 16 21	
K687 2	内視鏡的乳頭切開術 胆道碎石術を伴うもの	Q37 17 21	
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	Q87 33 21	
K689	経皮経肝胆管ステント挿入術	Q87 33 14	
K689-2	経皮経肝バルーン拡張術	Q87 33 14	
K690	肝縫合術	Q72 30 07	
K691 1	肝膿瘍切開術 開腹によるもの	Q72 16 07	
K691 2	肝膿瘍切開術 開胸によるもの	Q72 16 07	
K691-2	経皮的肝膿瘍ドレナージ術	Q72 16 14	
K692	肝嚢胞切開又は縫縮術	Q72 16 07	切開術の場合
K692	肝嚢胞切開又は縫縮術	Q72 36 07	縫縮術の場合
K692-2	腹腔鏡下肝嚢胞切開術	Q72 16 11	
K693	肝内結石摘出術(開腹)	Q84 17 07	
K694	肝嚢胞、肝膿瘍摘出術	Q72 16 07	肝膿瘍の場合
K694	肝嚢胞、肝膿瘍摘出術	Q72 10 07	肝嚢胞の場合
K695 1	肝切除術 部分切除	Q72 11 07	
K695 2	肝切除術 亜区域切除	Q72 11 00	
K695 3	肝切除術 外側区域切除	Q72 12 00	
K695 4	肝切除術 1区域切除(外側区域切除を除く。)	Q72 13 07	
K695 5	肝切除術 2区域切除	Q72 13 07	
K695 6	肝切除術 3区域切除以上のもの	Q72 12 07	
K695 7	肝切除術 2区域切除以上であって、血行再建を伴うもの	Q72 13 07	
K695-2 1	腹腔鏡下肝切除術 部分切除	Q72 11 11	
K695-2 2	腹腔鏡下肝切除術 外側区域切除	Q72 11 11	
K695-2 3	腹腔鏡下肝切除術 亜区域切除	Q72 11 11	
K695-2 4	腹腔鏡下肝切除術 1区域切除(外側区域切除を除く。)	Q72 13 11	
K695-2 5	腹腔鏡下肝切除術 2区域切除	Q72 13 11	
K695-2 6	腹腔鏡下肝切除術 3区域切除以上のもの	Q72 13 11	
K696	肝内胆管(肝管)胃(腸)吻合術	Q84 16 00	
K697 1	肝内胆管外瘻造設術 開腹によるもの	Q84 16 07	
K697 2	肝内胆管外瘻造設術 経皮経肝によるもの	Q84 16 17	
K697-2 1	肝悪性腫瘍マイクロ波凝固法(一連として)腹腔鏡によるもの	Q72 18 11	
K697-2 2	肝悪性腫瘍マイクロ波凝固法(一連として) その他のもの	Q72 18 07	開腹の場合
K697-2 2	肝悪性腫瘍マイクロ波凝固法(一連として) その他のもの	Q72 18 17	経皮的な場合

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K697-3 1 イ	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2センチメートル以内のもの 腹腔鏡によるもの	Q72 18 11	
K697-3 1 ロ	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2センチメートル以内のもの その他のもの	Q72 18 07	開腹の場合
K697-3 1 口	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2センチメートル以内のもの その他のもの	Q72 18 17	経皮的な場合
K697-3 2 イ	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2センチメートルを超えるもの 腹腔鏡によるもの	Q72 18 11	
K697-3 2 ロ	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2センチメートルを超えるもの その他のもの	Q72 18 07	開腹の場合
K697-3 2 口	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2センチメートルを超えるもの その他のもの	Q72 18 17	経皮的な場合
K697-4	移植用部分肝採取術(生体)	Q76 42 00	外側区域の場合
K697-4	移植用部分肝採取術(生体)	Q74 42 00	左葉の場合
K697-4	移植用部分肝採取術(生体)	Q73 42 00	右葉又は拡大右後区域の場合
K697-5	生体部分肝移植術	Q72 43 00	
K697-6	移植用肝採取術(死体)	Q72 42 00	
K697-7	同種死体肝移植術	Q72 43 00	
K698 1	急性膵炎手術 感染性壊死部切除を伴うもの	Q92 10 07	
K698 2	急性膵炎手術 その他のもの	Q92 16 00	
K699 1	膵結石手術 膵切開によるもの	Q92 17 07	
K699 2	膵結石手術 経十二指腸乳頭によるもの	Q92 17 07	
K699-2	体外衝撃波膵石破砕術(一連につき)	Q92 50 40	
K700	膵中央切除術	Q92 11 00	
K700-2	膵腫瘍摘出術	Q92 10 07	
K700-3	腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	Q92 10 11	
K701	膵破裂縫合術	Q92 30 00	
K702 1 イ	膵体尾部腫瘍切除術 膵尾部切除術の場合 脾同時切除の場合	Q97 11 07	
K702 1 ロ	膵体尾部腫瘍切除術 膵尾部切除術の場合 脾温存の場合	Q97 11 07	
K702 2	膵体尾部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合	Q97 13 07	
K702 3	膵体尾部腫瘍切除術 周辺臓器(胃、結腸、腎、副腎等)の合併切除を伴う腫瘍切除術の場合	Q97 13 07	
K702 4	膵体尾部腫瘍切除術 血行再建を伴う腫瘍切除術の場合	Q97 13 07	
K702-2 1	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術 脾同時切除の場合	Q97 11 11	
K702-2 2	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術 脾温存の場合	Q97 11 11	
K703 1	膵頭部腫瘍切除術 膵頭十二指腸切除術の場合	Q94 12 07	
K703 2	膵頭部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合又は十二指腸温存膵頭切除術の場合	Q93 13 07	十二指腸温存膵頭切除術の場合
K703 2	膵頭部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合又は十二指腸温存膵頭切除術の場合	Q94 13 07	膵頭十二指腸切除術の場合
K703 3	膵頭部腫瘍切除術 周辺臓器(胃、結腸、腎、副腎等)の合併切除を伴う腫瘍切除術の場合	Q94 13 07	
K703 4	膵頭部腫瘍切除術 血行再建を伴う腫瘍切除術の場合	Q94 13 07	
K703-2	腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術	Q94 12 11	
K704	膵全摘術	Q92 12 07	血行再建を伴わない場合
K704	膵全摘術	Q92 13 07	血行再建を伴う場合
K705	膵嚢胞胃(腸)吻合術	Q92 16 07	膵嚢胞胃吻合術の場合
K705	膵嚢胞胃(腸)吻合術	Q92 16 00	膵嚢胞腸吻合術の場合
K706	膵管空腸吻合術	Q98 16 07	
K707 1	膵嚢胞外瘻造設術 内視鏡によるもの	Q92 16 21	
K707 2	膵嚢胞外瘻造設術 開腹によるもの	Q92 16 07	
K708	膵管外瘻造設術	Q98 16 07	
K708-2	膵管誘導手術	Q98 16 07	
K708-3	内視鏡的膵管ステント留置術	Q98 33 21	
K709	膵瘻閉鎖術	Q98 35 04	
K709-2	移植用膵採取術(死体)	Q92 42 00	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K709-3	同種死体臓移植術	Q92 43 00	
K709-4	移植用臓採取術(死体)	Q92 42 00	
K709-5	同種死体臓移植術	Q92 43 00	
K710	脾縫合術(部分切除を含む。)	Q99 30 00	脾縫合術の場合
K710	脾縫合術(部分切除を含む。)	Q99 11 00	脾部分切除術の場合
K711	脾摘出術	Q99 12 00	
K711-2	腹腔鏡下脾摘出術	Q99 12 11	
K712	破裂腸管縫合術	Q41 30 00	
K713	腸切開術	Q41 14 00	診断、腸組織試験採取の場合
K713	腸切開術	Q41 17 00	異物除去の場合
K714	腸管癒着症手術	Q41 15 00	
K714-2	腹腔鏡下腸管癒着剥離術	Q41 15 11	
K715 1	腸重積症整復術 非観血的なもの	Q41 33 24	透視下の場合
K715 1	腸重積症整復術 非観血的なもの	Q41 33 27	超音波下の場合
K715 2	腸重積症整復術 観血的なもの	Q41 33 00	
K715-2	腹腔鏡下腸重積症整復術	Q41 33 11	
K716 1	小腸切除術 悪性腫瘍手術以外の切除術	Q41 11 00	
K716 2	小腸切除術 悪性腫瘍手術	Q41 11 00	単純切除の場合
K716 2	小腸切除術 悪性腫瘍手術	Q41 13 00	広汎切除の場合
K716-2 1	腹腔鏡下小腸切除術 悪性腫瘍手術以外の切除術	Q41 11 11	
K716-2 2	腹腔鏡下小腸切除術 悪性腫瘍手術	Q41 13 11	
K716-3	移植用部分小腸採取術(生体)	Q41 42 00	
K716-4	生体部分小腸移植術	Q41 43 00	
K716-5	移植用小腸採取術(死体)	Q41 42 00	
K716-6	同種死体小腸移植術	Q41 43 00	
K717	小腸腫瘍、小腸憩室摘出術(メッケル憩室炎手術を含む。)	Q41 10 00	小腸憩室の場合
K717	小腸腫瘍、小腸憩室摘出術(メッケル憩室炎手術を含む。)	Q41 11 00	小腸腫瘍の場合
K718 1	虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの	Q52 12 00	
K718 2	虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴うもの	Q52 13 00	
K718-2 1	腹腔鏡下虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの	Q52 12 11	
K718-2 2	腹腔鏡下虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴うもの	Q52 13 11	
K719 1	結腸切除術 小範囲切除	Q54 11 00	
K719 2	結腸切除術 結腸半側切除	Q54 11 00	
K719 3	結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術	Q54 11 00	結腸亜全摘又は結腸悪性腫瘍単純切除の場合
K719 3	結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術	Q54 12 00	結腸全切除の場合
K719 3	結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術	Q54 13 00	結腸悪性腫瘍広汎切除の場合
K719-2 1	腹腔鏡下結腸切除術 小範囲切除、結腸半側切除	Q54 11 11	
K719-2 2	腹腔鏡下結腸切除術 全切除、亜全切除	Q51 12 11	全切除の場合
K719-2 2	腹腔鏡下結腸切除術 全切除、亜全切除	Q54 11 11	亜全切除の場合
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	Q54 13 11	
K719-4	ピッケレル氏手術	Q5A 30 00	
K719-5	全結腸・直腸切除糞肛門吻合術	Q51 12 00	
K720	結腸腫瘍(回盲部腫瘍摘出術を含む。)、結腸憩室摘出術、結腸ポリープ切除術(開腹によるもの)	Q54 10 00	
K721 1	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 長径2センチメートル未満	Q51 10 21	
K721 2	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 長径2センチメートル以上	Q51 10 21	
K721-3	内視鏡的結腸異物摘出術	Q54 17 21	
K721-4	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	Q51 10 21	
K722	小腸結腸内視鏡的止血術	Q41 20 21	部位が小腸
K722	小腸結腸内視鏡的止血術	Q54 20 21	部位が結腸
K724	腸吻合術	Q41 30 00	
K725	腸瘻、虫垂瘻造設術	Q41 16 00	部位が小腸
K725	腸瘻、虫垂瘻造設術	Q52 16 00	部位が虫垂

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K725-2	腹腔鏡下腸瘻、虫垂瘻造設術	Q41 16 11	部位が小腸
K725-2	腹腔鏡下腸瘻、虫垂瘻造設術	Q52 16 11	部位が虫垂
K726	人工肛門造設術	Q54 16 00	
K726-2	腹腔鏡下人工肛門造設術	Q54 16 11	
K727	腹壁外腸管前置術	Q41 16 00	
K728	腸狭窄部切開縫合術	Q41 33 00	
K729 1	腸閉鎖症手術 腸管切除を伴わないもの	Q41 33 00	
K729 2	腸閉鎖症手術 腸管切除を伴うもの	Q41 33 00	
K729-2	多発性小腸閉鎖症手術	Q41 33 00	
K729-3	腹腔鏡下腸閉鎖症手術	Q41 33 11	
K730 1	小腸瘻閉鎖術 腸管切除を伴わないもの	Q41 35 00	
K730 2	小腸瘻閉鎖術 腸管切除を伴うもの	Q41 10 00	
K730 3	小腸瘻閉鎖術 内視鏡によるもの	Q41 35 21	
K731 1	結腸瘻閉鎖術 腸管切除を伴わないもの	Q54 35 00	
K731 2	結腸瘻閉鎖術 腸管切除を伴うもの	Q54 10 00	
K731 3	結腸瘻閉鎖術 内視鏡によるもの	Q54 35 21	
K732 1	人工肛門閉鎖術 腸管切除を伴わないもの	Q54 35 00	
K732 2	人工肛門閉鎖術 腸管切除を伴うもの	Q54 10 00	
K733	盲腸縫縮術	Q53 36 00	
K734	腸回転異常症手術	QAB 15 00	
K734-2	腹腔鏡下腸回転異常症手術	QAB 15 11	
K735	先天性巨大結腸症手術	Q51 11 00	
K735-2	小腸・結腸狭窄部拡張術(内視鏡によるもの)	Q41 33 21	部位が小腸
K735-2	小腸・結腸狭窄部拡張術(内視鏡によるもの)	Q54 33 21	部位が結腸
K735-3	腹腔鏡下先天性巨大結腸症手術	Q51 11 11	
K735-4	下部消化管ステント留置術	Q41 33 24	部位が小腸
K735-4	下部消化管ステント留置術	Q54 33 24	部位が結腸
K735-4	下部消化管ステント留置術	Q5A 33 24	部位が直腸
K735-5	腸管延長術	Q44 33 00	
K736 1	人工肛門形成術 開腹を伴うもの	Q54 30 00	
K736 2	人工肛門形成術 その他のもの	Q54 30 90	
K737	直腸周囲膿瘍切開術	Q5G 16 00	
K738 1	直腸異物除去術 経肛門(内視鏡によるもの)	Q5A 17 21	
K738 2	直腸異物除去術 開腹によるもの	Q5A 17 00	
K739 1	直腸腫瘍摘出術(ポリープ摘出を含む。) 経肛門	Q5A 10 20	
K739 2	直腸腫瘍摘出術(ポリープ摘出を含む。) 経括約筋	Q5A 10 00	
K739 3	直腸腫瘍摘出術(ポリープ摘出を含む。) 経腹及び経肛	Q5A 10 00	
K739-2	経肛門的内視鏡下手術(直腸腫瘍に限る。)	Q5A 10 21	
K739-3	低侵襲経肛門的局所切除術(MITAS)	Q5A 10 21	
K740 1	直腸切除・切断術 切除術	Q5A 11 00	単純切除の場合
K740 1	直腸切除・切断術 切除術	Q5A 13 00	広汎切除の場合
K740 2	直腸切除・切断術 低位前方切除術	Q5A 13 00	
K740 3	直腸切除・切断術 超低位前方切除術(経肛門的結腸囊肛門 吻合によるもの)	Q5A 13 00	
K740 4	直腸切除・切断術 切断術	Q5A 13 00	
K740-2 1	腹腔鏡下直腸切除・切断術 切除術	Q5A 11 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
K740-2 1	腹腔鏡下直腸切除・切断術 切除術	Q5A 11 1R	ロボット支援下手術の場合
K740-2 2	腹腔鏡下直腸切除・切断術 低位前方切除術	Q5A 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
K740-2 2	腹腔鏡下直腸切除・切断術 低位前方切除術	Q5A 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K740-2 3	腹腔鏡下直腸切除・切断術 切断術	Q5A 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
K740-2 3	腹腔鏡下直腸切除・切断術 切断術	Q5A 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K741	直腸狭窄形成手術	Q5A 33 00	
K741-2	直腸瘤手術	Q5C 36 2B	
K742 1 イ	直腸脱手術 経会陰によるもの 腸管切除を伴わないもの	Q5A 36 20	
K742 1 ロ	直腸脱手術 経会陰によるもの 腸管切除を伴うもの	Q5A 11 2B	
K742 2	直腸脱手術 直腸挙上固定を行うもの	Q5A 38 00	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K742 3	直腸脱手術 骨盤底形成を行うもの	Q5A 38 00	
K742 4	直腸脱手術 腹会陰からのもの(腸切除を含む。)	Q5A 38 00	
K742-2	腹腔鏡下直腸脱手術	Q5A 38 11	
K743 1	痔核手術(脱肛を含む。)硬化療法	Q5F 18 30	
K743 2	痔核手術(脱肛を含む。)硬化療法(四段階注射法によるもの)	Q5F 18 30	
K743 3	痔核手術(脱肛を含む。)結紮術、焼灼術、血栓摘出術	Q5F 10 00	結紮術の場合
K743 3	痔核手術(脱肛を含む。)結紮術、焼灼術、血栓摘出術	Q5F 18 00	焼灼術の場合
K743 3	痔核手術(脱肛を含む。)結紮術、焼灼術、血栓摘出術	Q5F 17 00	血栓摘出術の場合
K743 4	痔核手術(脱肛を含む。)根治手術(硬化療法(四段階注射法によるもの)を伴わないもの)	Q5F 10 00	
K743 5	痔核手術(脱肛を含む。)根治手術(硬化療法(四段階注射法によるもの)を伴うもの)	Q5F 10 00	
K743 6	痔核手術(脱肛を含む。)PPH	Q5F 10 00	
K743-2	肛門括約筋切開術	Q5F 37 00	
K743-4	痔核手術後狭窄拡張手術	Q5F 33 00	
K743-5	モルガニー氏洞及び肛門管切開術	Q5F 37 00	
K743-6	肛門部皮膚剥離切除術	Q5G 10 00	
K744	裂肛又は肛門潰瘍根治手術	Q5F 10 00	
K745	肛門周囲膿瘍切開術	Q5G 16 00	
K746 1	痔瘻根治手術 単純なもの	Q5G 10 00	
K746 2	痔瘻根治手術 複雑なもの	Q5G 13 00	
K746-2	高位直腸瘻手術	Q5G 13 00	
K747	肛門良性腫瘍、肛門ポリープ、肛門尖圭コンジローム切除術	Q5G 10 00	
K748 1	肛門悪性腫瘍手術 切除	Q5E 11 00	
K748 2	肛門悪性腫瘍手術 直腸切断を伴うもの	Q5E 13 00	
K749	肛門拡張術(観血的なもの)	Q5E 33 00	
K750 1	肛門括約筋形成手術 癒痕切除又は縫縮によるもの	Q5E 33 00	
K750 2	肛門括約筋形成手術 組織置換によるもの	Q5E 33 00	
K751 1	鎖肛手術 肛門膜状閉鎖切開	Q5A 33 00	
K751 2	鎖肛手術 会陰式	Q5A 33 00	
K751 3	鎖肛手術 仙骨会陰式	Q5A 33 00	
K751 4	鎖肛手術 腹会陰、腹仙骨式	Q5A 33 00	
K751-2	仙尾部奇形腫手術	C4F 13 00	
K751-3	腹腔鏡下鎖肛手術(腹会陰、腹仙骨式)	Q5A 33 11	
K752 1	肛門形成手術 肛門狭窄形成手術	Q5E 33 00	
K752 2	肛門形成手術 直腸粘膜脱形成手術	Q5E 32 00	
K753	毛巣嚢、毛巣瘻、毛巣洞手術	Q5G 10 00	
K754	副腎摘出術(副腎部分切除術を含む。)	S11 12 00	
K754-2	腹腔鏡下副腎摘出術	S11 12 11	
K754-3	腹腔鏡下小切開副腎摘出術	S11 12 01	
K755 1	副腎腫瘍摘出術 皮質腫瘍	S11 12 00	
K755 2	副腎腫瘍摘出術 髓質腫瘍(褐色細胞腫)	S11 12 00	
K755-2	腹腔鏡下副腎髓質腫瘍摘出術(褐色細胞腫)	S11 12 11	
K756	副腎悪性腫瘍手術	S11 12 00	単純切除の場合
K756	副腎悪性腫瘍手術	S11 13 00	広汎切除の場合
K756-2	腹腔鏡下副腎悪性腫瘍手術	S11 13 11	
K757	腎破裂縫合術	S21 30 00	
K757-2	腎破裂手術	S21 30 00	
K758	腎周囲膿瘍切開術	S21 16 00	
K759	腎切半術	S21 11 00	
K760	癒合腎離断術	S21 15 00	
K761	腎被膜剥離術(除神経術を含む。)	S21 17 00	
K762	腎固定術	S21 38 00	
K763	腎切石術	S21 17 00	
K764	経皮的尿路結石除去術(経皮的腎瘻造設術を含む。)	S21 17 10	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K765	経皮的腎盂腫瘍切除術(経皮的腎瘻造設術を含む。)	S22 11 11	
K766	経皮的尿管拡張術(経皮的腎瘻造設術を含む。)	S33 33 11	部位が上部尿管
K766	経皮的尿管拡張術(経皮的腎瘻造設術を含む。)	S31 33 14	部位が上部尿管以外
K767	腎盂切石術	S22 17 00	
K768	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術(一連につき)	S31 17 44	
K769	腎部分切除術	S21 11 00	
K769-2	腹腔鏡下腎部分切除術	S21 11 11	
K769-3	腹腔鏡下小切開腎部分切除術	S21 11 11	
K770	腎嚢胞切除縮小術	S21 10 00	
K770-2	腹腔鏡下腎嚢胞切除縮小術	S21 10 11	
K770-3	腹腔鏡下腎嚢胞切除術	S21 10 11	
K771	経皮的腎嚢胞穿刺術	S21 16 14	
K772	腎摘出術	S21 12 00	
K772-2	腹腔鏡下腎摘出術	S21 12 11	
K772-3	腹腔鏡下小切開腎摘出術	S21 12 11	
K773	腎(尿管)悪性腫瘍手術	S21 12 00	部位が腎で、単純切除の場合
K773	腎(尿管)悪性腫瘍手術	S21 13 00	部位が腎で、広汎切除の場合
K773	腎(尿管)悪性腫瘍手術	S31 12 00	部位が尿管で、単純切除の場合
K773	腎(尿管)悪性腫瘍手術	S31 13 00	部位が尿管で、広汎切除の場合
K773-2	腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	S21 13 11	部位が腎
K773-2	腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	S31 13 11	部位が尿管
K773-3	腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術	S21 13 01	部位が腎
K773-3	腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術	S31 13 01	部位が尿管
K773-4	腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	S21 18 10	
K773-5	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	S21 11 1R	
K775	経皮的腎(腎盂)瘻造設術	S22 16 14	
K776	腎(腎盂)皮膚瘻閉鎖術	S22 10 00	
K777 1	腎(腎盂)腸瘻閉鎖術 内視鏡によるもの	S22 10 21	
K777 2	腎(腎盂)腸瘻閉鎖術 その他のもの	S22 10 00	
K778	腎盂形成手術	S22 33 00	
K778-2	腹腔鏡下腎盂形成手術	S22 33 11	
K779	移植用腎採取術(生体)	S21 42 00	
K779-2	移植用腎採取術(死体)	S21 42 00	
K779-3	腹腔鏡下移植用腎採取術(生体)	S21 42 11	
K780	同種死体腎移植術	S21 43 00	
K780-2	生体腎移植術	S21 43 00	
K781 1	経尿道的尿路結石除去術 レーザーによるもの	S31 17 21	
K781 2	経尿道的尿路結石除去術 その他のもの	S31 17 21	
K781-3	経尿道的腎盂尿管凝固止血術	S22 20 21	
K782 1	尿管切石術 上部及び中部	S33 17 00	部位が上部尿管
K782 1	尿管切石術 上部及び中部	S34 17 00	部位が中部尿管
K782 2	尿管切石術 膀胱近接部	S35 17 00	
K783	経尿道的尿管狭窄拡張術	S31 33 21	
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	S31 33 24	
K783-3	経尿道的尿管ステント除去術	S31 17 24	
K784	残存尿管摘出術	S31 12 00	
K784-2	尿管剥離術	S31 15 00	
K785	経尿道的腎盂尿管腫瘍摘出術	S32 11 21	
K785-2	腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術	S32 11 11	
K786	尿管膀胱吻合術	S41 30 00	
K787	尿管尿管吻合術	S31 33 00	
K788	尿管腸吻合術	S31 16 00	
K789	尿管腸膀胱吻合術	S41 30 00	
K790	尿管皮膚瘻造設術	S31 16 00	
K791	尿管皮膚瘻閉鎖術	S31 10 00	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K792 1	尿管腸瘻閉鎖術 内視鏡によるもの	S31 10 21	
K792 2	尿管腸瘻閉鎖術 その他のもの	S31 10 00	
K793	尿管腔瘻閉鎖術	S31 10 00	
K794	尿管口形成手術	S41 30 00	
K794-2	経尿道的尿管瘻切除術	S41 10 21	
K795	膀胱破裂閉鎖術	S51 30 00	
K796	膀胱周囲膿瘍切開術	S51 16 00	
K797	膀胱内凝血除去術	S51 17 00	高位切開の場合
K797	膀胱内凝血除去術	S51 17 21	経尿道的な場合
K798 1	膀胱結石、異物摘出術 経尿道的手術	S51 17 21	
K798 2	膀胱結石、異物摘出術 膀胱高位切開術	S51 17 00	
K798-2	経尿道的尿管凝血除去術(バスケットワイヤーカテーテル使用)	S31 17 21	
K799	膀胱壁切除術	S51 11 00	
K800	膀胱憩室切除術	S51 10 00	
K800-2	経尿道的電気凝固術	S51 18 21	
K800-3	膀胱水圧拡張術	S51 30 21	
K801 1	膀胱単純摘除術 腸管利用の尿路変更を行うもの	S51 12 00	
K801 2	膀胱単純摘除術 その他のもの	S51 12 00	
K802	膀胱腫瘍摘出術	S51 11 00	高位切開の場合
K802	膀胱腫瘍摘出術	S51 11 21	経尿道的な場合
K802-2 1	膀胱脱手術 メッシュを使用するもの	S51 30 00	
K802-2 2	膀胱脱手術 その他のもの	S51 30 00	
K802-3 1	膀胱後腫瘍摘出術 腸管切除を伴わないもの	S51 11 00	
K802-3 2	膀胱後腫瘍摘出術 腸管切除を伴うもの	S51 13 00	
K802-4	腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術	S51 11 11	
K802-5	腹腔鏡下膀胱部分切除術	S51 11 11	
K802-6	腹腔鏡下膀胱脱手術	S51 30 11	
K803 1	膀胱悪性腫瘍手術 切除	S51 11 00	単純切除の場合
K803 1	膀胱悪性腫瘍手術 切除	S51 13 00	広汎切除の場合
K803 2	膀胱悪性腫瘍手術 全摘(腸管等を利用して尿路変更を行わないもの)	S51 12 00	単純切除の場合
K803 2	膀胱悪性腫瘍手術 全摘(腸管等を利用して尿路変更を行わないもの)	S51 13 00	広汎切除の場合
K803 3	膀胱悪性腫瘍手術 全摘(尿管S状結腸吻合を利用して尿路変更を行うもの)	S51 12 00	単純切除の場合
K803 3	膀胱悪性腫瘍手術 全摘(尿管S状結腸吻合を利用して尿路変更を行うもの)	S51 13 00	広汎切除の場合
K803 4	膀胱悪性腫瘍手術 全摘(回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行うもの)	S51 12 00	単純切除の場合
K803 4	膀胱悪性腫瘍手術 全摘(回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行うもの)	S51 13 00	広汎切除の場合
K803 5	膀胱悪性腫瘍手術 全摘(代用膀胱を利用して尿路変更を行うもの)	S51 12 00	単純切除の場合
K803 5	膀胱悪性腫瘍手術 全摘(代用膀胱を利用して尿路変更を行うもの)	S51 13 00	広汎切除の場合
K803 6 イ	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用のもの	S51 10 21	
K803 6 ロ	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 その他のもの	S51 10 21	
K803-2 1	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 全摘(腸管等を利用して尿路変更を行わないもの)	S51 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
K803-2 1	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 全摘(腸管等を利用して尿路変更を行わないもの)	S51 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K803-2 2	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 全摘(回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行うもの)	S51 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
K803-2 2	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 全摘(回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行うもの)	S51 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K803-2 3	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 全摘(代用膀胱を利用して尿路変更を行うもの)	S51 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K803-2 3	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 全摘(代用膀胱を利用して尿路変更を行うもの)	S51 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K803-3 1	腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術 全摘(腸管等を利用して尿路変更を行わないもの)	S51 13 11	
K803-3 2	腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術 全摘(回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行うもの)	S51 13 11	
K803-3 3	腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術 全摘(代用膀胱を利用して尿路変更を行うもの)	S51 13 11	
K804	尿膜管摘出術	SW4 12 00	
K804-2	腹腔鏡下尿膜管摘出術	SW4 12 11	
K805	膀胱瘻造設術	S51 16 00	
K805-2	膀胱皮膚瘻造設術	S51 16 07	
K805-3	導尿路造設術	S51 16 00	
K806	膀胱皮膚瘻閉鎖術	S51 10 00	
K807	膀胱腔瘻閉鎖術	S51 10 00	
K808 1	膀胱腸瘻閉鎖術 内視鏡によるもの	S51 10 21	
K808 2	膀胱腸瘻閉鎖術 その他のもの	S51 10 00	
K809	膀胱子宮瘻閉鎖術	S51 10 00	
K809-2	膀胱尿管逆流手術	S51 30 00	尿管形成術を伴わない場合
K809-2	膀胱尿管逆流手術	S41 30 00	尿管形成術を伴う場合
K809-3	腹腔鏡下膀胱内手術	S41 30 11	
K810	ポアリー氏手術	S51 30 00	
K811	腸管利用膀胱拡大術	S51 30 00	
K812	回腸(結腸)導管造設術	S31 16 00	
K812-2 1	排泄腔外反症手術 外反膀胱閉鎖術	S51 30 00	
K812-2 2	排泄腔外反症手術 膀胱腸裂閉鎖術	S51 30 00	
K813	尿道周囲膿瘍切開術	S61 16 00	
K814	外尿道口切開術	S61 33 00	
K815 1	尿道結石、異物摘出術 前部尿道	S61 17 21	
K815 2	尿道結石、異物摘出術 後部尿道	S61 17 21	
K816	外尿道腫瘍切除術	S61 11 00	
K817 1	尿道悪性腫瘍摘出術 摘出	S61 11 00	
K817 2	尿道悪性腫瘍摘出術 内視鏡による場合	S61 11 21	
K817 3	尿道悪性腫瘍摘出術 尿路変更を行う場合	S61 13 00	
K818 1	尿道形成手術 前部尿道	S66 33 00	
K818 2	尿道形成手術 後部尿道	S64 33 00	
K819	尿道下裂形成手術	S61 30 00	
K819-2	陰茎形成術	S7B 32 00	皮弁による尿道再建を伴う場合
K819-2	陰茎形成術	S7B 43 00	自家遊離複合組織移植の場合またはそれ以外
K820	尿道上裂形成手術	S61 30 00	
K821	尿道狭窄内視鏡手術	S61 33 21	
K821-2	尿道狭窄拡張術(尿道バルーンカテーテル)	S61 33 24	
K821-3	尿道ステント前立腺部尿道拡張術	S61 33 24	
K822	女子尿道脱手術	S61 30 00	
K823 1	尿失禁手術 恥骨固定式膀胱頸部吊上術を行うもの	S61 30 00	
K823 2	尿失禁手術 その他のもの	S61 30 00	
K823-2	尿失禁又は膀胱尿管逆流現象コラーゲン注入手術	S61 31 21	
K823-3	膀胱尿管逆流症手術(治療用注入材によるもの)	S41 31 21	
K823-4	腹腔鏡下尿失禁手術	S81 38 11	
K823-5	人工尿道括約筋植込・置換術	S61 34 00	
K824	陰茎尖圭コンジローム切除術	S7B 10 00	
K825	陰茎全摘術	S7B 12 00	
K826	陰茎切断術	S7B 11 00	
K826-2	陰茎折症手術	S7B 30 00	
K826-3	陰茎様陰核形成手術	S83 32 00	
K827 1	陰茎悪性腫瘍手術 陰茎切除	S7B 11 00	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K827 2	陰茎悪性腫瘍手術 陰茎全摘	S7B 13 00	
K828 1	包茎手術 背面切開術	S7E 32 00	
K828 2	包茎手術 環状切除術	S7E 11 00	
K828-2 1	陰茎持続勃起症手術 亀頭－陰茎海綿体瘻作成術(ウィンター法)によるもの	S7B 16 10	
K828-2 2	陰茎持続勃起症手術 その他のシャント術によるもの	S7B 16 00	
K829	精管切断、切除術(両側)	S78 15 00	
K830	精巣摘出術	S7G 12 00	
K830-2 1	精巣外傷手術 陰嚢内血腫除去術	S7K 17 00	
K830-2 2	精巣外傷手術 精巣白膜縫合術	S7G 30 00	
K832	精巣上体摘出術	S7H 12 00	
K833	精巣悪性腫瘍手術	S7G 12 00	単純切除の場合
K833	精巣悪性腫瘍手術	S7G 13 00	広汎切除の場合
K834	精索静脈瘤手術	S7F 15 00	
K834-2	腹腔鏡下内精索静脈結紮術	S7F 15 11	
K834-3	顕微鏡下精索静脈瘤手術	S7F 15 02	
K835 1	陰嚢水腫手術 交通性陰嚢水腫手術	S7K 10 00	
K835 2	陰嚢水腫手術 その他	S7K 10 00	
K836	停留精巣固定術	S7G 38 00	
K836-2	腹腔鏡下腹腔内停留精巣陰嚢内固定術	S7G 38 11	
K837	精管形成手術	S78 33 02	
K838 1	精索捻転手術 対側の精巣固定術を伴うもの	S7F 38 00	
K838 2	精索捻転手術 その他のもの	S7F 38 00	患側の精巣固定術だけを行う場合
K838 2	精索捻転手術 その他のもの	S7G 30 00	精巣固定以外の場合
K839	前立腺膿瘍切開術	S76 16 00	
K840	前立腺被膜下摘出術	S76 10 00	
K841 1	経尿道的前立腺手術 電解質溶液利用のもの	S76 10 21	
K841 2	経尿道的前立腺手術 その他のもの	S76 10 21	
K841-2 1	経尿道的レーザー前立腺切除術 ホルミウムレーザーを用いるもの	S76 10 20	
K841-2 2	経尿道的レーザー前立腺切除術 その他のもの	S76 10 20	
K841-3	経尿道的前立腺高温治療(一連につき)	S76 18 21	
K841-4	焦点式高エネルギー超音波療法(一連につき)	S76 18 21	
K841-5	経尿道的前立腺核出術	S76 10 21	
K843	前立腺悪性腫瘍手術	S76 11 00	単純切除の場合
K843	前立腺悪性腫瘍手術	S76 13 00	広汎切除の場合
K843-2	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	S76 13 11	
K843-3	腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	S76 13 01	
K843-4	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	S76 13 1R	
K844	バルトリン腺膿瘍切開術	S86 16 00	
K845	処女膜切開術	S85 11 00	
K846	処女膜切除術	S85 11 00	
K847	輪状処女膜切除術	S85 11 00	
K848	バルトリン腺嚢胞腫瘍摘出術(造袋術を含む。)	S86 16 00	バルトリン嚢胞造袋術の場合
K848	バルトリン腺嚢胞腫瘍摘出術(造袋術を含む。)	S86 10 00	バルトリン腺嚢胞摘出術の場合
K849	女子外性器腫瘍摘出術	S82 11 00	
K850 1	女子外性器悪性腫瘍手術 切除	S82 11 00	
K850 2	女子外性器悪性腫瘍手術 皮膚移植(筋皮弁使用)を行った場合	S82 13 00	
K850-2	腔絨毛性腫瘍摘出術	S88 11 00	
K851 1	会陰形成手術 筋層に及ばないもの	S82 32 00	
K851 2	会陰形成手術 筋層に及ぶもの	S82 32 00	
K851-2	外陰・腔血腫除去術	S82 17 00	外陰血腫の場合
K851-2	外陰・腔血腫除去術	S88 17 00	腔血腫の場合
K851-3 1	癒合陰唇形成手術 筋層に及ばないもの	S87 32 00	
K851-3 2	癒合陰唇形成手術 筋層に及ぶもの	S87 32 00	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K852 1	腔壁裂創縫合術(分娩時を除く。)前又は後壁裂創	S88 30 00	
K852 2	腔壁裂創縫合術(分娩時を除く。)前後壁裂創	S88 30 00	
K852 3	腔壁裂創縫合術(分娩時を除く。)腔円蓋に及ぶ裂創	S88 30 00	
K852 4	腔壁裂創縫合術(分娩時を除く。)直腸裂傷を伴うもの	S88 30 00	
K853 1	腔閉鎖術 中央腔閉鎖術(子宮全脱)	S89 35 20	経腔的に行う場合
K853 1	腔閉鎖術 中央腔閉鎖術(子宮全脱)	S88 35 00	経腔的以外で行う場合
K853 2	腔閉鎖術 その他	S88 35 00	
K854	腔式子宮旁結合織炎(膿瘍)切開術	S88 16 20	
K854-2	後腔円蓋切開(異所性妊娠)	S88 16 20	
K855 1	腔中隔切除術 不全隔のもの	S88 10 20	
K855 2	腔中隔切除術 全中隔のもの	S88 10 20	
K856	腔壁腫瘍摘出術	S88 11 20	
K856-2	腔壁囊腫切除術	S88 10 20	
K856-3	腔ポリープ切除術	S88 10 20	
K856-4	腔壁尖圭コンジローム切除術	S88 10 20	
K857	腔壁悪性腫瘍手術	S88 11 00	
K858 1	腔腸瘻閉鎖術 内視鏡によるもの	S88 35 21	
K858 2	腔腸瘻閉鎖術 その他のもの	S88 35 00	
K859 1	造腔術、腔閉鎖症術 拡張器利用によるもの	S88 32 20	
K859 2	造腔術、腔閉鎖症術 遊離植皮によるもの	S88 32 00	
K859 3	造腔術、腔閉鎖症術 腸断端挙上によるもの	S88 32 00	
K859 4	造腔術、腔閉鎖症術 腸管形成によるもの	S88 32 00	
K859 5	造腔術、腔閉鎖症術 筋皮弁移植によるもの	S88 32 00	
K859-2	腹腔鏡下造腔術	S88 32 11	
K860	腔壁形成手術	S88 32 00	形成術だけを行う場合
K860	腔壁形成手術	S88 38 00	子宮摘出術後に腔固定を行う場合
K860-2	腔断端挙上術(腔式、腹式)	S88 30 00	開腹の場合
K860-2	腔断端挙上術(腔式、腹式)	S88 30 20	腔式の場合
K861	子宮内膜搔爬術	S8B 17 20	
K862	クレニツヒ手術	S89 20 00	
K863	腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術	S8B 10 11	
K863-2	子宮鏡下子宮中隔切除術、子宮内腔癒着切除術(癒着剥離術を含む。)	S8B 10 21	子宮中隔切除術の場合
K863-2	子宮鏡下子宮中隔切除術、子宮内腔癒着切除術(癒着剥離術を含む。)	S8B 11 21	子宮内腔癒着切除術の場合
K863-3	子宮鏡下子宮内膜焼灼術	S89 18 21	
K864 1	子宮位置矯正術 アレキササンダー手術	S89 36 20	
K864 2	子宮位置矯正術 開腹による位置矯正術	S89 30 00	
K864 3	子宮位置矯正術 癒着剥離矯正術	S89 30 00	
K865 1	子宮脱手術 腔壁形成手術及び子宮位置矯正術	S89 30 00	
K865 2	子宮脱手術 ハルバン・シャウタ手術	S89 30 20	
K865 3	子宮脱手術 マンチェスター手術	S89 38 20	
K865 4	子宮脱手術 腔壁形成手術及び子宮全摘術(腔式、腹式)	S89 30 00	開腹の場合
K865 4	子宮脱手術 腔壁形成手術及び子宮全摘術(腔式、腹式)	S89 30 20	腔式の場合
K865-2	腹腔鏡下仙骨腔固定術	S89 38 21	
K866	子宮頸管ポリープ切除術	S8A 10 20	
K866-2	子宮腔部冷凍凝固術	S8A 18 20	
K867	子宮頸部(腔部)切除術	S8A 11 20	
K867-2	子宮腔部糜爛等子宮腔部乱切除術	S8A 10 20	
K867-3	子宮頸部摘出術(腔部切断術を含む)	S8A 11 20	
K867-4	子宮頸部異形成上皮又は上皮内癌レーザー照射治療	S8A 18 20	
K871	子宮息肉様筋腫摘出術(腔式)	S89 10 20	
K872 1	子宮筋腫摘出(核出)術 腹式	S89 10 00	
K872 2	子宮筋腫摘出(核出)術 腔式	S89 10 20	
K872-2	腹腔鏡下子宮筋腫摘出(核出)術	S89 10 11	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K872-3	子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出術、子宮内膜ポリープ切除術	S8B 10 21	子宮内膜ポリープの場合
K872-3	子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出術、子宮内膜ポリープ切除術	S89 10 21	有茎粘膜下筋腫の場合
K872-4 1	痕跡副角子宮手術 腹式	S89 10 00	
K872-4 2	痕跡副角子宮手術 腔式	S89 10 20	
K872-5	子宮頸部初期癌又は異形成光線力学療法	S8A 18 20	
K873	子宮鏡下子宮筋腫摘出術	S89 10 21	
K876	子宮腔上部切断術	S89 11 00	
K876-2	腹腔鏡下子宮腔上部切断術	S89 11 11	
K877	子宮全摘術	S89 12 00	開腹の場合
K877	子宮全摘術	S89 12 20	腔式の場合
K877-2	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	S89 12 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
K877-2	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	S89 12 1R	ロボット支援下手術の場合
K878	広靱帯内腫瘍摘出術	S89 10 00	
K878-2	腹腔鏡下広靱帯内腫瘍摘出術	S89 10 11	
K879	子宮悪性腫瘍手術	S89 12 00	単純切除の場合
K879	子宮悪性腫瘍手術	S89 13 00	広汎切除の場合
K879-2	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術	S89 12 11	単純切除で、通常の腹腔鏡下手術の場合
K879-2	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術	S89 12 1R	単純切除で、ロボット支援下手術の場合
K879-2	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術	S89 13 11	広汎切除で、通常の腹腔鏡下手術の場合
K879-2	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術	S89 13 1R	広汎切除で、ロボット支援下手術の場合
K881	腹壁子宮瘻手術	S89 35 00	
K882	重複子宮、双角子宮手術	S8B 32 00	
K883	子宮頸管形成手術	S8A 10 20	
K883-2 1	子宮頸管閉鎖症手術 非観血的	S8A 30 21	
K883-2 2	子宮頸管閉鎖症手術 観血的	S8A 30 21	
K884	奇形子宮形成手術(ストラスマン手術)	S8B 32 00	
K885	腔式卵巣嚢腫内容排除術	S8E 16 20	
K885-2	経皮的卵巣嚢腫内容排除術	S8E 17 10	
K886 1	子宮附属器癒着剥離術(両側) 開腹によるもの	S8C 15 00	
K886 2	子宮附属器癒着剥離術(両側) 腹腔鏡によるもの	S8C 15 11	
K887 1	卵巣部分切除術(腔式を含む。) 開腹によるもの	S8E 11 00	
K887 2	卵巣部分切除術(腔式を含む。) 腹腔鏡によるもの	S8E 11 11	
K887-2 1	卵管結紮術(腔式を含む。)(両側) 開腹によるもの	S8D 15 00	
K887-2 2	卵管結紮術(腔式を含む。)(両側) 腹腔鏡によるもの	S8D 15 11	
K887-3 1	卵管口切開術 開腹によるもの	S8D 33 00	
K887-3 2	卵管口切開術 腹腔鏡によるもの	S8D 33 11	
K887-4	腹腔鏡下多嚢胞性卵巣焼灼術	S8E 18 11	
K888 1	子宮附属器腫瘍摘出術(両側) 開腹によるもの	S8C 12 00	
K888 2	子宮附属器腫瘍摘出術(両側) 腹腔鏡によるもの	S8C 12 11	
K888-2 1	卵管全摘除術、卵管腫瘍全摘除術、子宮卵管留血腫手術(両側) 開腹によるもの	S8D 12 00	
K888-2 2	卵管全摘除術、卵管腫瘍全摘除術、子宮卵管留血腫手術(両側) 腹腔鏡によるもの	S8D 12 11	
K889	子宮附属器悪性腫瘍手術(両側)	S8C 12 00	単純切除の場合
K889	子宮附属器悪性腫瘍手術(両側)	S8C 13 00	広汎切除の場合
K890	卵管形成手術(卵管・卵巣移植、卵管架橋等)	S8D 33 00	
K890-2	卵管鏡下卵管形成術	S8D 33 21	
K890-3	腹腔鏡下卵管形成術	S8D 33 11	
K891	分娩時頸部切開術(縫合を含む。)	S8A 37 20	
K892	骨盤位娩出術	SA7 19 20	
K893	吸引娩出術	SA7 19 20	
K894 1	鉗子娩出術 低位(出口)鉗子	SA7 19 20	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術 試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の 注意点
K894 2	鉗子娩出術 中位鉗子	SA7 19 20	
K895	会陰(陰門)切開及び縫合術(分娩時)	S82 30 00	
K896 1	会陰(腔壁)裂創縫合術(分娩時) 筋層に及ぶもの	S82 30 00	会陰裂創の場合
K896 1	会陰(腔壁)裂創縫合術(分娩時) 筋層に及ぶもの	S88 30 00	腔壁裂創の場合
K896 2	会陰(腔壁)裂創縫合術(分娩時) 肛門に及ぶもの	S88 30 00	
K896 3	会陰(腔壁)裂創縫合術(分娩時) 膣円蓋に及ぶもの	S88 30 00	
K896 4	会陰(腔壁)裂創縫合術(分娩時) 直腸裂創を伴うもの	S88 30 00	
K897	頸管裂創縫合術(分娩時)	S8A 30 20	
K898 1	帝王切開術 緊急帝王切開	SA7 19 00	
K898 2	帝王切開術 選択帝王切開	SA7 19 00	
K899	胎児縮小術(娩出術を含む。)	SA7 19 20	
K900	臍帯還納術	SA6 30 20	
K900-2	脱垂肢整復術	SA7 50 20	
K901	子宮双手圧迫術(大動脈圧迫術を含む。)	S89 20 20	
K902	胎盤用手剥離術	SA5 15 20	
K903 1	子宮破裂手術 子宮全摘除を行うもの	S89 12 00	
K903 2	子宮破裂手術 子宮腔上部切断を行うもの	S89 11 00	
K903 3	子宮破裂手術 その他のもの	S89 30 00	
K904	妊娠子宮摘出術(ポロー手術)	S89 12 00	
K905 1	子宮内反症整復手術(腔式、腹式) 非観血的	S89 30 00	
K905 2	子宮内反症整復手術(腔式、腹式) 観血的	S89 30 00	開腹の場合
K905 2	子宮内反症整復手術(腔式、腹式) 観血的	S89 30 20	腔式の場合
K906 1	子宮頸管縫縮術 マクドナルド法	S8A 36 20	
K906 2	子宮頸管縫縮術 シロッカー法又はラッシュ法	S8A 36 20	
K906 3	子宮頸管縫縮術 縫縮解除術(チューブ除去術)	S8A 36 20	
K907	胎児外回転術	SA1 50 40	
K908	胎児内(双合)回転術	SA1 50 20	
K909 1 イ	流産手術 妊娠11週までの場合 手動真空吸引法によるもの	SA8 17 30	
K909 1 ロ	流産手術 妊娠11週までの場合 その他のもの	SA8 17 20	
K909 2	流産手術 妊娠11週を超え妊娠21週までの場合	SA8 17 20	
K909-2	子宮内容除去術(不全流産)	SA8 17 20	
K910-2	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	SA7 18 11	
K910-3	胎児胸腔・羊水腔シャント術(一連につき)	SA1 16 17	
K911	胞状奇胎除去術	SA8 10 20	
K912 1	異所性妊娠手術 開腹によるもの	SA9 10 00	
K912 2	異所性妊娠手術 腹腔鏡によるもの	SA9 10 11	
K913 1	新生児仮死蘇生術 仮死第1度のもの	SAA 50 90	
K913 2	新生児仮死蘇生術 仮死第2度のもの	SAA 50 90	
K913-2 1	性腺摘出術 開腹によるもの	S7G 12 00	精巣の場合
K913-2 1	性腺摘出術 開腹によるもの	S8E 12 00	卵巣の場合
K913-2 2	性腺摘出術 腹腔鏡によるもの	S7G 12 11	
K914	脳死臓器提供管理料	ZZZ 50 90	
K915	生体臓器提供管理料	ZZZ 50 90	
K920 1 イ	輸血 自家採血輸血(200mLごとに) 1回目	Y11 43 90	
K920 1 ロ	輸血 自家採血輸血(200mLごとに) 2回目以降	Y11 43 90	
K920 2 イ	輸血 保存血液輸血(200mLごとに) 1回目	Y11 43 90	
K920 2 ロ	輸血 保存血液輸血(200mLごとに) 2回目以降	Y11 43 90	
K920 3 イ(1)	輸血 自己血貯血 6歳以上の患者の場合(200mLごとに) 液状保存の場合	Y11 41 10	
K920 3 イ(2)	輸血 自己血貯血 6歳以上の患者の場合(200mLごとに) 凍結保存の場合	Y11 41 10	
K920 3 ロ(1)	輸血 自己血貯血 6歳未満の患者の場合(体重1kgにつき4mLごとに) 液状保存の場合	Y11 41 10	
K920 3 ロ(2)	輸血 自己血貯血 6歳未満の患者の場合(体重1kgにつき4mLごとに) 凍結保存の場合	Y11 41 10	
K920 4 イ(1)	輸血 自己血輸血 6歳以上の患者の場合(200mLごとに) 液状保存の場合	Y11 43 90	

別表A Kコード外保連手術コード対応表

診療報酬コード	診療報酬術式名	外保連手術試案コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K920 4 イ(2)	輸血 自己血輸血 6歳以上の患者の場合(200mLごとに) 凍結保存の場合	Y11 43 90	
K920 4 ロ(1)	輸血 自己血輸血 6歳未満の患者の場合(体重1kgにつき4mLごとに) 液状保存の場合	Y11 43 90	
K920 4 ロ(2)	輸血 自己血輸血 6歳未満の患者の場合(体重1kgにつき4mLごとに) 凍結保存の場合	Y11 43 90	
K920 5 イ	輸血 希釈式自己血輸血 6歳以上の患者の場合(200mLごとに)	Y11 43 90	
K920 5 ロ	輸血 希釈式自己血輸血 6歳未満の患者の場合(体重1kgにつき4mLごとに)	Y11 43 90	
K920 6	輸血 交換輸血(1回につき)	Y11 43 90	
K920-2 1	輸血管理料 輸血管理料 I	ZZZ 50 90	
K920-2 2	輸血管理料 輸血管理料 II	ZZZ 50 90	
K921 1 イ	造血幹細胞採取(一連につき) 骨髄採取 同種移植の場合	Y12 42 10	
K921 1 ロ	造血幹細胞採取(一連につき) 骨髄採取 自家移植の場合	Y12 41 10	
K921 2 イ	造血幹細胞採取(一連につき) 末梢血幹細胞採取 同種移植の場合	Y12 42 10	
K921 2 ロ	造血幹細胞採取(一連につき) 末梢血幹細胞採取 自家移植の場合	Y12 41 10	
K922 1 イ	造血幹細胞移植 骨髄移植 同種移植の場合	Y12 43 90	
K922 1 ロ	造血幹細胞移植 骨髄移植 自家移植の場合	Y12 43 90	
K922 2 イ	造血幹細胞移植 末梢血幹細胞移植 同種移植の場合	Y12 43 90	
K922 2 ロ	造血幹細胞移植 末梢血幹細胞移植 自家移植の場合	Y12 43 90	
K922 3	造血幹細胞移植 臍帯血移植	Y17 43 90	
K923 1	術中術後自己血回収術(自己血回収器具によるもの) 濃縮及び洗浄を行うもの	Y11 41 90	
K923 2	術中術後自己血回収術(自己血回収器具によるもの) 濾過を行うもの	Y11 41 90	
K924	自己生体組織接着剤作成術	Y11 50 90	
K924-2	自己クリオプレシベート作製術(用手法)	Y11 50 90	
K930 1	脊髄誘発電位測定等加算 脳、脊椎、脊髄又は大動脈瘤の手術に用いた場合	ZZZ 50 9B	
K930 2	脊髄誘発電位測定等加算 甲状腺又は副甲状腺の手術に用いた場合	ZZZ 50 9B	
K931	超音波凝固切開装置等加算	ZZZ 50 90	
K932	創外固定器加算	ZZZ 50 90	
K933	イオンフォレーゼ加算	ZZZ 50 90	
K934	副鼻腔手術用内視鏡加算	ZZZ 50 91	
K934-2	副鼻腔手術用骨軟部組織切除機器加算	ZZZ 50 90	
K935	止血用加熱凝固切開装置加算	ZZZ 50 90	
K936	自動縫合器加算	ZZZ 50 90	
K936-2	自動吻合器加算	ZZZ 50 90	
K936-3	微小血管自動縫合器加算	ZZZ 50 90	
K937	心拍動下冠動脈、大動脈バイパス移植術用機器加算	ZZZ 50 90	
K937-2	術中グラフト血流測定加算	ZZZ 50 90	
K938	体外衝撃波消耗性電極加算	ZZZ 50 90	
K939 1	画像等手術支援加算 ナビゲーションによるもの	ZZZ 50 98	
K939 2	画像等手術支援加算 実物大臓器立体モデルによるもの	ZZZ 50 9B	
K939 3	画像等手術支援加算 患者適合型手術支援ガイドによるもの	ZZZ 50 90	
K939-2	術中血管等描出撮影加算	ZZZ 50 90	
K939-3	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	ZZZ 50 90	
K939-5	胃瘻造設時嚥下機能評価加算	ZZZ 50 90	
K939-6	凍結保存同種組織加算	ZZZ 50 90	
K939-7 1	レーザー機器加算 レーザー機器加算1	ZZZ 50 90	
K939-7 2	レーザー機器加算 レーザー機器加算2	ZZZ 50 90	
K939-7 3	レーザー機器加算 レーザー機器加算3	ZZZ 50 90	

別表B K番号STEM7対応表QA及び修正

診療報酬コード	STEM7	STEM7を細分化する時の注意点	修正内容	修正日(回答日)	ご質問	ご質問に対する回答
				2018/4/3	例えばK858 1のように、8と1の間に空白スペースは必要か、	Kコードのスペースについては、一般的にスペースを挿入する場合も、詰めて記載する場合もあると思います。こちらではスペースを挿入しました。
				2018/4/3	STEM7の中の空白スペースは意味のある9桁の記号と考えるべきなのか、7桁でも問題無いのか	STEM7はあくまで7桁ですが、STEM7の中の空白スペースは必ずしも必要のないものですが、人間の目を見たときの見やすさのために挿入しています。
K000	A11 30 00			2018/5/15	「K000創傷処理」の場合「A11 30 00」となっておりますが、頭部の場合に行った場合、操作対象部位は「A13体表・皮膚_頭部_頭皮」ですので「A13 30 00」と入力するのが正しいでしょうか。それともK番号STEM7対応表に記載してある「A11 30 00」を入力するのでしょうか。	独自にSTEM7を作成したものは用いず、K番号STEM7対応表に記載してある「A11 30 00」を記載してください。外保連試案では「K002 デブリードマン」(外保連試案36ページ)や「K003皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術」(外保連試案40ページ)などは、部位により細分化されているものもありますが、「K000創傷処理」(外保連試案36ページ)は部位によって細分化しておりません。
K000 1	A23 34 00	腹部開放創用局所陰圧閉鎖キット交換の場合	STEM7を細分化する時の注意点として「腹部開放創用局所陰圧閉鎖キット交換の場合」を追加	2019/4/5	「腹部開放創用局所陰圧閉鎖キット交換」が新規医療材料として認められ、保険収載されました。その際のSTEM7は、どれを選択したらよろしいでしょうか。	「STEM7を細分化する時の注意点」に「腹部開放創用局所陰圧閉鎖キット交換の場合」を追加し、STEM7は「A23 34 004」となります。
K000 2	A11 30 00	創傷処理(6歳以上)長径5cm以上10cm未満(筋、臓器に達する)の場合	STEM7を細分化する時の注意点として「創傷処理(6歳以上)長径5cm以上10cm未満(筋、臓器に達する)の場合」を追加	2019/4/5	「腹部開放創用局所陰圧閉鎖キット交換」が新規医療材料として認められ、保険収載されました。その際のSTEM7は、どれを選択したらよろしいでしょうか。	「腹部開放創用局所陰圧閉鎖キット交換の場合」のSTEM7は、これまでの「創傷処理」と異なりますので、「STEM7を細分化する時の注意点」に「創傷処理(6歳以上)長径5cm以上10cm未満(筋、臓器に達する)の場合」を追加しました。
K000 2	A23 34 00	腹部開放創用局所陰圧閉鎖キット交換の場合	STEM7を細分化する時の注意点として「腹部開放創用局所陰圧閉鎖キット交換の場合」を追加	2019/4/5	「腹部開放創用局所陰圧閉鎖キット交換」が新規医療材料として認められ、保険収載されました。その際のSTEM7は、どれを選択したらよろしいでしょうか。	「STEM7を細分化する時の注意点」に「腹部開放創用局所陰圧閉鎖キット交換の場合」を追加し、STEM7は「A23 34 004」となります。
K000 3 口	A11 30 00	創傷処理(6歳以上)長径10cm以上(筋、臓器に達する)の場合	STEM7を細分化する時の注意点として「創傷処理(6歳以上)長径10cm以上(筋、臓器に達する)の場合」を追加	2019/4/5	「腹部開放創用局所陰圧閉鎖キット交換」が新規医療材料として認められ、保険収載されました。その際のSTEM7は、どれを選択したらよろしいでしょうか。	「腹部開放創用局所陰圧閉鎖キット交換の場合」のSTEM7は、これまでの「創傷処理」と異なりますので、「STEM7を細分化する時の注意点」に「創傷処理(6歳以上)長径10cm以上(筋、臓器に達する)の場合」を追加しました。
K000 3 口	A23 34 00	腹部開放創用局所陰圧閉鎖キット交換の場合	STEM7を細分化する時の注意点として「腹部開放創用局所陰圧閉鎖キット交換の場合」を追加	2019/4/5	「腹部開放創用局所陰圧閉鎖キット交換」が新規医療材料として認められ、保険収載されました。その際のSTEM7は、どれを選択したらよろしいでしょうか。	「STEM7を細分化する時の注意点」に「腹部開放創用局所陰圧閉鎖キット交換の場合」を追加し、STEM7は「A23 34 004」となります。
K002 1	A67 17 00	部位が手(手指は除く)の場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正	2018/4/15		
K002 1	A6A 17 00	部位が手指の場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正	2018/4/15		
K002 1	A77 17 00	部位が足(足趾は除く)の場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正	2018/4/15		
K002 1	A7A 17 00	部位が足趾の場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正	2018/4/15		
K002 1	A11 17 00	部位が手、手指、足、足指以外の場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正	2018/4/15	肘部に対し、K002 1デブリードマン(100cm未満)を施行した際のSTEM7は、どれを選択したらよろしいでしょうか。	操作対象部位「A67 体表・皮膚_上肢_手」とは、第3階層までの部位(第4階層以下に細分化されているA68、A69、A6A、A6B、A6C、A6D、A6E、A6F、A6G、A6Hを含む)です。肘は「A65 体表・皮膚_上肢_肘」であり、「A67 体表・皮膚_上肢_手」と同様、第3階層までの部位で、異なります(図表1操作対象部位(階層あり)を参照ください)。この場合には「A65 体表・皮膚_上肢_肘」を操作対象部位とするSTEM7を設定してもいいのですが、あまりにも細分化してしまいますので「A11 17 00」を選択いただけたらと思います。ですが、STEM7を細分化する時の注意点が誤っていましたので「部位が手、手指、足、足指以外の場合」と修正しました。
K002 2	A51 17 00	部位が四肢の場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正	2018/4/15		
K002 2	A13 17 00	部位が頭皮の場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正	2018/4/15		

別表B K番号STEM7対応表QA及び修正

診療報酬コード	STEM7	STEM7を細分化する時の注意点	修正内容	修正日(回答日)	ご質問	ご質問に対する回答
K002 2	A15 17 00	部位が頸部の場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正	2018/4/15		
K002 2	A14 17 00	部位が顔面の場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正	2018/4/15		
K002 2	A11 17 00	部位が四肢、頭皮、頸部及び顔面以外の場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正	2018/4/15		
K002 2	A11 17 00	部位が四肢、頭皮、頸部及び顔面以外の場合		2018/4/24	デブリードマン(K002 2)の部位について質問です。こちらについて外保連候補には5つの部位があります。 ・A51 17 00: 部位が半肢の大部分の範囲 ・A13 17 00: 部位が頭部の大部分の範囲 ・A15 17 00: 部位が頸部の大部分の範囲 ・A14 17 00: 部位が顔面の大部分の範囲 ・A11 17 00: 部位が四肢、頭皮、頸部及び顔面以外の場合 Kコードでは合算した範囲を請求するとの事で今回の事例は「首、胸、背、右上肢」の部位のデブリードマンを実施した場合、どれを選択するかお教えてください。	システム上1つしか入力できない場合には、もっとも近いものを選択してください。今回「胸、背」の範囲が最も広ければ「A11 17 00」としてください。システム上、複数入力できるなら「A51 17 00」「A15 17 00」「A11 17 00」の3つを入力ください。
K002 3	A51 17 00	部位が四肢の場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正 四肢を超える範囲かで細分化していましたが、1つに統合しました。	2018/4/15		
K002 3	A11 17 00	部位が四肢以外の場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正	2018/4/15		
K007-2	ZZZ 50 14		STEM7の基本操作を修正	2018/3/15		
K026-2	B86 37 00		STEM7の操作対象部位、基本操作を修正	2018/10/5		
K027 1	B86 16 00		STEM7の操作対象部位を修正	2018/10/5		
K043 3				2018/5/19	恥骨骨髄炎にて骨搔爬術を行いました。「K043 3 骨搔爬術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他」を算定しましたが、該当するSTEM7がありません。どう入力すればよろしいでしょうか。	行っている手術に該当するKコードは「K043 3」は誤りで、「K116 脊椎、骨盤骨搔爬術」が正しいです。「Kコード STEM7対応表」で「K116」をご確認いただければ「STEM7を細分化する時の注意点」に「部位が恥骨結合」とありSTEM7は「C55 17 04」となります。
K043 3	BBK 17 04	部位が足趾骨	STEM7のアプローチ補助器械を修正	2018/6/22	STEM7のアプローチ補助器械は「4」が正しいのでは。	STEM7をBBK 17 04に修正します。
K044 2	BAG 30 44	部位が下腿骨		2018/4/12	「BAF足関節の骨」とは、脛骨・腓骨の遠位端、若しくは距骨などを示すのでしょうか。 「BAG下腿の骨」とは、どの骨になるのでしょうか。	操作対象部位として「BAF 足関節の骨」がありますが、これを用いたSTEM7はないと思います。イメージとしては脛骨・腓骨の遠位端と距骨にまたがる部位の手術にかかわる場合に「BAF 足関節の骨」を用いると考えていますが、Kコードや外保連術式にはそれを用いた術式は今のところないと思います。 「BAG下腿の骨」とは脛骨あるいは(又は)腓骨になります。
K044 3	C11 30 44	部位が脊椎	STEM7を細分化する時の注意点として「脊椎」を追加	2018/4/25	体幹ギプスで骨折非観血的手術(ペーラー法による)を行い「K044 3骨折非観血的整復術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他」を算定した場合、STEM7はどれになりますか。	「K044 3骨折非観血的整復術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他」に脊椎がありませんでした。新たに追加いたします。 STEM7はC11 30 44になります。
K044 3	C11 30 44	部位が脊椎		2018/5/15	部位が「腰椎」の場合はSTEM7コードはどのようになりますか。	STEM7を細分化する時の注意点として「部位が脊椎」を新たに追加いたしました。 この「脊椎」は今後「頸椎」「胸椎」「腰椎」などと精緻化される可能性もございますが、現状では操作対象部位が「脊椎」の「C11 30 44」を選択してください。
K045 3	C11 30 14	部位が脊椎	STEM7を細分化する時の注意点として「脊椎」を追加	2018/4/25		
K045 3	C51 30 14	部位が骨盤	STEM7を細分化する時の注意点として「骨盤」を追加	2018/4/25		
K046-2-3	B74 30 04	部位が胸郭	胸郭は保険収差されていないため削除に	2018/5/18		
K046-3	C11 30 14	部位が脊椎	STEM7を細分化する時の注意点として「脊椎」を追加	2018/4/25		

別表B K番号STEM7対応表QA及び修正

診療報酬コード	STEM7	STEM7を細分化する時の注意点	修正内容	修正日(回答日)	ご質問	ご質問に対する回答
K048 4	BBH 17 04	部位が足根骨		2018/4/24	踵骨骨折に対して「K048 4 骨内異物(挿入物を含む。)除去術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他」を行った場合のSTEM7はどれになりますか。	骨は足根骨に含まれますので、「STEM7を細分化する時の注意点」より「部位が足根骨」を選択いただければ、STEM7は「BBH 17 04」となります。
K048 4				2018/4/25	腰椎の骨内挿入物除去において「K048 4骨内異物(挿入物を含む)除去術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他」を実施しましたが、この中に「腰椎」に該当する項目がありません。	腰椎の骨内異物除去を行った場合には、K048 4でなく「K128脊椎、骨盤内異物(挿入物)除去術」が正しいKコードではないでしょうか。この場合には「脊椎異物の場合」に該当しますので、STEM7は「C11 17 04」になると思います。
K049 3	C11 11 04	部位が脊椎	STEM7を細分化する時の注意点として「脊椎」を追加	2018/5/1	尾骨の骨部分切除術を施行され、K049 3を算定したのですが、STEM7コードには部位に当てはまる部分がありません。このような場合はどうなりますか？	外保連術式には「S81-0095800 尾骨切除術」および「S81-0095700 仙骨切除術」がありますが、これに該当するKコードがありません。頸椎、胸椎、腰椎には「K142 5脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 椎弓切除」と思いますが、仙骨、尾骨にこの場合に「K049 3骨部分切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他」で算定するしかありません。新たにSTEM7を細分化する時の注意点として「部位が脊椎」を追加し、それぞれのSTEM7を「C11 11 04」としました。
K049 3	C51 11 04	部位が骨盤	STEM7を細分化する時の注意点として「骨盤」を追加	2018/5/1		
K050 3	C11 17 04	部位が脊椎	STEM7を細分化する時の注意点として「脊椎」を追加	2018/4/25		
K050 3	C51 17 04	部位が骨盤	STEM7を細分化する時の注意点として「骨盤」を追加	2018/4/25		
K050 3	B12 17 04	部位が上記以外の骨の場合	STEM7を細分化する時の注意点として「部位が上記以外の骨の場合」を追加(予定)	2018/6/22	下顎骨骨髄炎で腐骨摘出術を施行し「K050 3 腐骨摘出術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他」を算定しましたが、STEM7を細分化する時の注意点に「顎骨」がありません。STEM7コードは何を入力したらよいでしょうか。	個人的には「K050 3腐骨摘出術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他」は(四肢骨)欄にあり、ひとつ上の「K049 骨部分切除」に対応する形でKコードがあります。顎骨は(顔面骨、顎関節)欄にあるKコードから本来は選択すべきで、下顎骨の腐骨摘出術の場合「K050 3 腐骨摘出術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他」では算定できないと考えております。本来ならば「K437 顎骨部分切除術」の下に「腐骨摘出術 顎骨」のKコードがあるべきと思いますが、このような矛盾を解消するための一歩としてKコードに対応するSTEM7の入力をお願いしています。外保連試案でも S81-0101300 頭蓋骨腐骨搔爬術(D12 17 00) S81-0166400 顎骨腐骨摘出術(表在性)(D76 10 00) S81-0166500 顎骨腐骨摘出術(深在性)(D76 10 00) S81-0166600 顎骨腐骨摘出術(関節頭を含む)(D76 13 00) がありますが、それに対応するKコードは「なし」としており(K050 3と記載していない)、この術式はまだ保険収載されていないという判断です。ですが、近似する手術として「K050 3」が準用可能か厚生局に内議して認められているかは知りません。また腐骨も骨の一部ですので、下顎骨骨髄炎で腐骨摘出術を施行した場合に「K437 顎骨部分切除術」で算定してもいいと思います(支払基金で査定されているかはわかりませんが、慣例的にはるかに安い「K050 3 腐骨摘出術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他」で算定していることも多いかと思しますので「K050 3腐骨摘出術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その
K051 3	BBJ 12 04	部位が中足骨	STEM7の基本操作を修正	2018/3/15		
K051-2	BBJ 12 04	部位が中足骨	STEM7の基本操作を修正	2018/3/15		
K053 3				2018/5/15	「前額部」に「骨腫瘍切除術」を施行し、「K052 3 骨腫瘍切除術(その他)」にて算定しました。STEM7には、「額部」に該当するものはありません。「操作対象部位」を変更して「B12 11 04」としてよろしいでしょうか。	頭蓋骨に対する骨腫瘍切除術を行った場合には、「K052 3 骨腫瘍切除術(その他)」でなく、良性の場合「K161 頭蓋骨腫瘍摘出術」(STEM7はD12 11 02)、悪性の場合「K162 頭皮、頭蓋骨悪性腫瘍手術」(STEM7はD12 11 02)を算定するのが正しいのではないのでしょうか。STEM7は、外保連手術試案に掲載しているもの(厚労省HP別表に掲載している「KコードSTEM7対応表」に掲載しているもの)をご入力ください。独自に作成したものは用いないでください。

別表B K番号STEM7対応表QA及び修正

診療報酬コード	STEM7	STEM7を細分化する時の注意点	修正内容	修正日(回答日)	ご質問	ご質問に対する回答
K054 1	B23 32 0B	部位が上腕骨で、カスタムガイドを用いる場合		2018/10/5	カスタムガイドとは何をつかったものですか。たとえばK-wireを用いた場合が該当するのでしょうか。	カスタムガイド及びカスタムプレートとは、骨折変形治癒に対して矯正骨切りを行うシステムです。帝人ナカジマメディカルより供給され、現在はこれを用いた場合のみが該当します。K-wireは当てはまりません。
K054 2	B44 32 0B	部位が前腕骨で、カスタムガイドを用いる場合		2018/10/5	カスタムガイドとは何をつかったものですか。たとえばK-wireを用いた場合が該当するのでしょうか。	カスタムガイド及びカスタムプレートとは、骨折変形治癒に対して矯正骨切りを行うシステムです。帝人ナカジマメディカルより供給され、現在はこれを用いた場合のみが該当します。K-wireは当てはまりません。
K054 3	BBH 32 04	部位が足根骨	STEM7を細分化する時の注意点として「足根骨」を追加	2019/4/5	踵骨に施術した場合のコードがありません。	「K054 3骨切り術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他」の「STEM7を細分化する時の注意点」に「部位が足根骨」を追加し、精緻化しました。
K055-2	B91 32 04		STEM7の操作対象部位を修正	2018/10/5		
K055-3	B94 32 04		STEM7の操作対象部位を修正	2018/10/5		
K057 3	B61 32 04	部位が手根骨	STEM7を細分化する時の注意点として「手根骨」を追加(予定)	2018/10/5		
K057 3	BBH 32 04	部位が足根骨	STEM7を細分化する時の注意点として「足根骨」を追加(予定)	2018/10/5	踵骨部に施術した場合のコードがありません。	「K057 3 変形治癒骨折矯正手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他」に、STEM7を細分化する時の注意点を追加し、精緻化しました。
K057 3	C11 32 04	部位が脊椎	STEM7を細分化する時の注意点として「脊椎」を追加	2018/4/25		
K057 3	C51 32 04	部位が骨盤	STEM7を細分化する時の注意点として「骨盤」を追加	2018/4/25		
K059 3 イ	B12 43 00		診療報酬コードを修正(イの前に半角スペース)	2018/4/24		
K059 3 口	B12 43 00		診療報酬コードを修正(口の前に半角スペース)	2018/4/24		
K060-2 1	B29 10 00		Kコードの術式名を修正	2018/3/16	K060-21 観血的に行うものが抜けているのでは	K060-21の術式名を修正しました。
K060-2 2	B29 10 11		修正していません	2018/3/15		
K060-3 1	B28 16 04	部位が肩関節	診療報酬術式名を修正、関節内搔爬術→関節炎搔爬術	2018/4/24		
K060-3 1	B91 16 04	部位が股関節	診療報酬術式名を修正、関節内搔爬術→関節炎搔爬術	2018/4/24		
K060-3 1	BA2 16 04	部位が膝関節	診療報酬術式名を修正、関節内搔爬術→関節炎搔爬術	2018/4/24		
K060-3 1	B12 43 00	部位が胸鎖関節	診療報酬術式名を修正、関節内搔爬術→関節炎搔爬術	2018/4/24		
K060-3 2	B26 16 04	部位が肘関節	診療報酬術式名を修正、関節内搔爬術→関節炎搔爬術	2018/4/24		
K060-3 2	B42 16 04	部位が手関節	診療報酬術式名を修正、関節内搔爬術→関節炎搔爬術	2018/4/24		
K060-3 2	B64 16 04	部位が足関節および距骨周囲関節	診療報酬術式名を修正、関節内搔爬術→関節炎搔爬術	2018/4/24		
K060-3 2	BB2 16 04	部位が肩鎖関節	診療報酬術式名を修正、関節内搔爬術→関節炎搔爬術	2018/4/24		
K060-3 3	B26 16 04	部位が手指節間関節	診療報酬術式名を修正、関節内搔爬術→関節炎搔爬術	2018/4/24		
K060-3 3	B6B 16 04	部位が中手指節間関節	診療報酬術式名を修正、関節内搔爬術→関節炎搔爬術	2018/4/24		
K060-3 3	B6F 16 04	部位が中足趾節間関節	診療報酬術式名を修正、関節内搔爬術→関節炎搔爬術	2018/4/24		
K060-3 3	BBM 16 04	部位が足趾節間関節	診療報酬術式名を修正、関節内搔爬術→関節炎搔爬術	2018/4/24		
K066-5	BAB 11 00		診療報酬術式名を修正、摘出術→切除術	2018/4/24		
K066-6	BAB 11 11		診療報酬術式名を修正、摘出術→切除術	2018/4/24		
K074 1	BA9 30 00		診療報酬術式名を修正、摘出術→切除術	2018/4/24		
K074 2	BA7 30 00	部位が膝内側側副靭帯	診療報酬術式名を修正、摘出術→切除術	2018/4/24		
K074 2	BA8 30 00	部位が膝外側側副靭帯	診療報酬術式名を修正、摘出術→切除術	2018/4/24		
K074 3	B6G 30 00	部位が手指靭帯	診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		
K074 3	BBP 30 00	部位が足趾靭帯	診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		
K074 3	B19 30 00	部位が膝または手足の指以外	診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		
K074-2 1	BA9 30 11		診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		
K074-2 2	BA7 30 11	部位が膝内側側副靭帯	診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		
K074-2 2	BA8 30 11	部位が膝外側側副靭帯	診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		
K074-2 3	B6G 30 11	部位が手指靭帯	診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		
K074-2 3	BBP 30 11	部位が足趾靭帯	診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		
K074-2 3	B19 30 11	部位が膝または手足の指以外	診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		

別表B K番号STEM7対応表QA及び修正

診療報酬コード	STEM7	STEM7を細分化する時の注意点	修正内容	修正日(回答日)	ご質問	ご質問に対する回答
K079 1	BA9 30 00		診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		
K079 2	BA7 30 00	部位が内側側副靭帯	診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		
K079 2	BA8 30 00	部位が外側側副靭帯	診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		
K079 3	B6G 30 00	部位が手指靭帯	診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		
K079 3	BA9 30 00	部位が内側膝蓋大腿靭帯	診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		
K079 3	BBP 30 00	部位が足趾靭帯	診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		
K079 3	B19 30 00	部位が膝または手足の指以外	診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		
K079-2 1	BA9 30 11		診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		
K079-2 2	BA7 30 11	部位が内側側副靭帯	診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		
K079-2 2	BA8 30 11	部位が外側側副靭帯	診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		
K079-2 3	B6G 30 11	部位が手指靭帯	診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		
K079-2 3	BBP 30 11	部位が足趾靭帯	診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		
K079-2 3	B19 30 11	部位が膝または手足の指以外	診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		
K079-2 4	BA9 30 11		診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		
K081-1	BA2-34-04	人工骨頭挿入術・膝関節	膝関節は該当せず、削除	2018/6/22	K081 1のSTEM7を細分化する時の注意点で「人工骨頭挿入術・膝関節」とありますが、診療報酬上の術式名に「膝」が入っておりません。	外保連試算に「S82-0077700人工骨頭挿入術・膝関節」があり、この場所にいたしました。ご指摘の通り、このSTEM7は誤りです。外保連担当学会に確認して削除いたします。
K093-2	B6P 16 11		診療報酬術式名を修正、毛根→手根	2018/4/24		
K096-2	B82 17 40		STEM7のアプローチ方法を修正	2018/3/30		
K126 2	C11 14 04	組織採取術の場合	STEM7を細分化する時の注意点を追加し、精緻化	2018/6/22		
K126 2	C44 18 14	腰椎椎間板ヘルニアに対してコンドリアーゼを使用した場合	H30.5.25の疑義解釈で追加STEM7を細分化する時の注意点を追加し、精緻化	2018/6/22		
K131-2				2018/4/12	複数部位が関わる手術について:例えば脊椎の手術で胸椎から腰椎にかけて手術を施行した場合や頸椎から胸椎にかけて手術を施行した場合はどちらの部位を選択すればよろしいでしょうか。	1つのKコードに対するSTEM7が複数入力できる場合は2つ入力してください(たとえばK131-2 内視鏡下椎弓切除術で胸椎から腰椎にかけて行った場合、C34 11 11とC44 11 11を入力ください)。ただしシステム上1つしか入力できない場合は、主に行った手術のSTEM7を入力ください。
K133	C1A 10 04		診療報酬術式名を修正、靭→靭	2018/4/24		
K142 1	C33 38 04	部位が胸椎	STEM7の操作対象部位を修正	2018/6/22	「部位が胸椎」の操作対象部位は「C43」は誤りで、「C33」が正しいのでは。	STEM7をC33 38 04に修正します。
K142 4	C11 38 04	脊椎の前方後方同時手術の場合	この列を削除(部位を頸椎、胸椎、腰椎に細分化した際に削除し忘れました。この列を削除します)このSTEM7は使用しないで下さい。	2018/4/24		
K142 6	C34 37 04	部位が胸椎	STEM7の操作対象部位を修正	2018/3/15		
K142 6	C44 37 04	部位が腰椎	STEM7の操作対象部位を修正	2018/3/15		
K142-6	C14-37-04	椎弓形成手術の場合	この列を削除(部位を頸椎、胸椎、腰椎に細分化した際に削除し忘れました。この列を削除します)このSTEM7は使用しないで下さい。	2018/4/24	「K142 6脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。)椎弓形成」のSTEM7を細分化する時の注意点に「椎弓形成術の場合」とありますが、この意味が不明です。具体的にどのような場合に使用するのでしょうか。	部位を頸椎、胸椎、腰椎に細分化した際に削除し忘れしました。この列を削除します。
K169 2				2018/5/17	「K169 2 頭蓋内腫瘍摘出術 その他のもの」が5項目に分岐されていますが、選択が難しいです。	外保連術式にSTEM7がふられており、これを元に「KコードSTEM7対応表」が作られています。「K169 2 頭蓋内腫瘍摘出術 その他のもの」は、脳神経外科学会から提案された術式が掲載されています。わからない場合には主治医に5つの中のどれに該当するかを確認ください。

別表B K番号STEM7対応表QA及び修正

診療報酬コード	STEM7	STEM7を細分化する時の注意点	修正内容	修正日(回答日)	ご質問	ご質問に対する回答
K174 2	D2K 16 04			2018/5/15	「K174 2水頭症手術 シャント手術」のSTEM7のコードは「D2K 16 04」だけですが、この操作対象部位が「頭頸部_脳室」です。「腰椎くも膜下腔腹腔シャント手術」を行った場合もK174 2の算定可能ですが、この場合の操作対象部位は「E12 脊髄くも膜下腔」が正しいと思われませんが、どれを選択したらよいのでしょうか。	あくまでもSTEM7は外保連術式に振られているものです。外保連試案には「K174 2 水頭症手術 シャント手術」に該当する術式が4つ掲載されていますが(外保連試案96～99ページ)、いずれも脳室からシャントしている術式のみであり、STEM7は「D2K 16 04」です。ご指摘の「腰椎くも膜下腔腹腔シャント手術」が外保連試案にないことが問題であり、早急に担当学会に外保連試案に掲載いただく準備をしていただく予定です。外保連試案に掲載されて初めてその術式に該当するSTEM7が付きましますので、それまでは操作対象部位は誤っていますが、独自に新たなSTEM7を作成せずに、「D2K 16 04」の記載をお願いします。
K178 2	T12 18 13	脳動脈瘤塞栓術、脳動脈瘤母動脈塞栓術の場合	STEM7を細分化する時の注意点を追加し、精緻化	2018/6/22		
K178 2	T12 33 13	血管内脳血管形成術の場合	STEM7を細分化する時の注意点を追加し、精緻化	2018/6/22		
K178-3 1	T14 17 13		診療報酬術式名を修正、脳血管栓→脳血栓	2018/4/24		
K178-3 2	T13 17 13		診療報酬術式名を修正、脳血管栓→脳血栓	2018/4/24		
K181-1	D3B-50 0A		STEM7のアプローチ補助器械を修正	2018/3/15		
K181 1	D2A 50 0A		STEM7の操作対象部位を修正	予定		
K181-2	D3B-50 0A		STEM7のアプローチ補助器械を修正	2018/3/15		
K181 2	D2A 50 0A		STEM7の操作対象部位を修正	予定		
K181-2	D3B 50 0A		STEM7のアプローチ補助器械を修正	2018/3/15		
K181-3	D2A 17 00		STEM7の操作対象部位を修正	予定		
K181-4	D3B 50 0A		STEM7のアプローチ補助器械を修正	2018/3/15		
K181-5	D3B 50 0A		STEM7のアプローチ補助器械を修正	2018/3/15		
K182-3 2	B14 30 02		STEM7の操作対象部位を修正	2018/6/22		
K186	E11 15 02	脊髄硬膜内神経切断術の場合	STEM7を細分化する時の注意点を追加し、精緻化	2018/6/22		
K186	C24 11 04	頸椎に対して、骨形成的片側椎弓切除術及び髄核摘出術を併せて2椎間に行った場合	STEM7を細分化する時の注意点を追加し、精緻化	2018/6/22	骨形成的片側椎弓切除術及び髄核摘出術を併せて2椎間に行った場合は、K142でなく「K186 脊髄硬膜内神経切断術」に準じて算定するとあるが、この場合のSTEM7がない。	「K186 脊髄硬膜内神経切断術」に、STEM7を細分化する時の注意点を追加し、精緻化しました。
K186	C34 11 04	胸椎に対して、骨形成的片側椎弓切除術及び髄核摘出術を併せて2椎間に行った場合	STEM7を細分化する時の注意点を追加し、精緻化	2018/6/22	骨形成的片側椎弓切除術及び髄核摘出術を併せて2椎間に行った場合は、K142でなく「K186 脊髄硬膜内神経切断術」に準じて算定するとあるが、この場合のSTEM7がない。	「K186 脊髄硬膜内神経切断術」に、STEM7を細分化する時の注意点を追加し、精緻化しました。
K186	C44 11 04	腰椎に対して、骨形成的片側椎弓切除術及び髄核摘出術を併せて2椎間に行った場合	STEM7を細分化する時の注意点を追加し、精緻化	2018/6/22	骨形成的片側椎弓切除術及び髄核摘出術を併せて2椎間に行った場合は、K142でなく「K186 脊髄硬膜内神経切断術」に準じて算定するとあるが、この場合のSTEM7がない。	「K186 脊髄硬膜内神経切断術」に、STEM7を細分化する時の注意点を追加し、精緻化しました。
K190 1	E13 50 1A		STEM7のアプローチ補助器械を修正	2018/3/15		
K190 2	E13 50 0A		STEM7のアプローチ補助器械を修正	2018/3/15		
K190-2	E11 50 0A		STEM7のアプローチ補助器械を修正	2018/3/15		
K190-6 1	E11 50 1A		STEM7のアプローチ補助器械を修正	2018/3/15		
K190-6 2	E13 50 0A		STEM7のアプローチ補助器械を修正	2018/3/15		
K190-7	E11 50 0A		STEM7のアプローチ補助器械を修正	2018/3/15		
K282 1 イ	D4E 12 02		診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K282 1 口	D4E 12 02		診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K328-2	D57 34 02		診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K328-3	D57 50 02		診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K335-2	D68 11 21		STEM7の操作対象部位を修正	2018/3/15		
K335-3	D68 11 01		STEM7の操作対象部位を修正 診療報酬術式名を修正、上顎洞鼻外手術→上顎洞鼻外手術(ピリオドを削除)	2018/3/15		

別表B K番号STEM7対応表QA及び修正

診療報酬コード	STEM7	STEM7を細分化する時の注意点	修正内容	修正日(回答日)	ご質問	ご質問に対する回答
K371-2 1	D7F 10 20		Kコードを修正	2018/4/24		
K371-2 4	D7F 10 00		STEM7のアプローチ方法を修正	2018/6/22		
K379-2 1	D7G 13 00		診療報酬コードを修正、項番号に	2018/4/24		
K386	P33 16 00		STEM7の操作対象部位を修正	2018/3/15		
K387	D83 18 21		診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K418-2	D7D 32 00		診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K434-2	D74 32 00		診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K446 1 イ	D7B 30 10		STEM7のアプローチ方法を修正	予定		
K461-2 1	D8B 11 11		診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K461-2 2	D8B 12 11		診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K476				2018/4/12	乳癌センチネルリンパ加算 I の有無をどのようにSTEM7に反映させるのでしょうか	これら加算の有無によって将来的にはSTEM7も分けなければなりません、現在のところ加算の有無に関係なくKコードに対する対応するSTEM7を入力ください。
K476-2	P63 32 00		STEM7が1つになったため、注意点がなくなる(1対1対応に)	2018/3/15		
K504-2	P41 11 11	単純切除で、通常の胸腔鏡下手術の場合	通常の胸腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K504-2	P41 11 1R	単純切除で、ロボット支援下手術の場合	ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K504-2	P41 13 11	広汎切除で、通常の胸腔鏡下手術の場合	通常の胸腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K504-2	P41 13 1R	広汎切除で、ロボット支援下手術の場合	ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K513-2	P44 11 11	胸腺の場合(重症筋無力症を除く)で、通常の胸腔鏡下手術の場合	通常の胸腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K513-2	P41 10 11	胸腺以外の縦隔良性腫瘍の場合で、通常の胸腔鏡下手術の場合	通常の胸腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K513-2	P41 11 1R	縦隔良性腫瘍で、ロボット支援下手術の場合	ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K514-2 3	P21 13 11	通常の胸腔鏡下手術の場合	通常の胸腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K514-2 3	P21 13 1R	ロボット支援下手術の場合	ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K526 1	Q12 10 21		STEM7の操作対象部位を修正	予定		
K526-2 1	Q12 11 21		STEM7の操作対象部位を修正	予定		
K526-2 2	Q12 11 21		STEM7の操作対象部位を修正	予定		
K529-2 1	Q14 13 11		診療報酬術式名を修正、腹腔鏡→胸腔鏡	2018/3/30		
K529-2 2	Q14 13 11		診療報酬術式名を修正、腹腔鏡→胸腔鏡	2018/3/30		
K529-2 1	Q14 13 11	通常の胸腔鏡下手術の場合	通常の胸腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K529-2 1	Q14 13 1R	ロボット支援下手術の場合	ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K529-2 2	Q14 13 11	通常の胸腔鏡下手術の場合	通常の胸腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K529-2 2	Q14 13 1R	ロボット支援下手術の場合	ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K534-3	P51 30 11		診療報酬術式名を修正、腹腔鏡→胸腔鏡	2018/4/24		
K548 1	T32 33 23		診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K548 2	T32 33 13		診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K554-2 1	N1L 33 11	僧帽弁の場合で、通常の胸腔鏡下手術の場合	通常の胸腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K554-2 1	N1L 33 1R	僧帽弁の場合で、ロボット支援下手術の場合	ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K554-2 1	N1M 33 11	大動脈弁の場合で、通常の胸腔鏡下手術の場合	通常の胸腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K554-2 1	N1M 33 1R	大動脈弁の場合で、ロボット支援下手術の場合	ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K554-2 1	N1J 33 11	三尖弁の場合で、通常の胸腔鏡下手術の場合	通常の胸腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		

別表B K番号STEM7対応表QA及び修正

診療報酬コード	STEM7	STEM7を細分化する時の注意点	修正内容	修正日(回答日)	ご質問	ご質問に対する回答
K554-2 1	N1J 33 1R	三尖弁の場合で、ロボット支援下手術の場合	ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K554-2 1	N1K 33 11	肺動脈弁の場合で、通常の胸腔鏡下手術の場合	通常の胸腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K554-2 1	N1K 33 1R	肺動脈弁の場合で、ロボット支援下手術の場合	ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K554-2 2	N1N 33 11	通常の胸腔鏡下手術の場合	通常の胸腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K554-2 2	N1N 33 1R	ロボット支援下手術の場合	ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K560-2 1	T56 33 00		STEM7の操作対象部位を修正	2018/3/15		
K560-2 2 イ	T52 33 00		STEM7の操作対象部位を修正	2018/3/15		
K560-2 2 ニ	T52 33 00		STEM7の操作対象部位を修正	2018/3/15		
K560-2 2 ハ	T52 33 00		STEM7の操作対象部位を修正	2018/3/15		
K560-2 2 ロ	T52 33 00		STEM7の操作対象部位を修正	2018/3/15		
K560-2 3	T5F 33 00		STEM7の操作対象部位を修正	2018/3/15		
K561 1	TF3 30 13		診療報酬術式名を修正、ステンドクラフト→ステントグラフト	2018/4/3		
K561 2 イ	T54 33 13		診療報酬術式名を修正、ステンドクラフト→ステントグラフト	2018/4/3		
K561 2 ハ	T84 33 13		診療報酬術式名を修正、ステンドクラフト→ステントグラフト	2018/4/3		
K561 2 ロ	T72 33 13		診療報酬術式名を修正、ステンドクラフト→ステントグラフト	2018/4/3		
K571 2 ロ	N11 33 00		診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K595 1	N12 18 14		アプローチ補助器械を「X線透視」に修正	2018/6/22		
K595 2	N12 18 14		アプローチ補助器械を「X線透視」に修正	2018/6/22		
K596	N1E 50 14		アプローチ補助器械を「X線透視」に修正	2018/6/22		
K603-2 1	N11 50 00		診療報酬術式名を修正	2018/3/15		
K603-2 2	N11 50 90		診療報酬術式名を修正	2018/3/15		
K603-2 3	N11 50 90		診療報酬術式名を修正	2018/3/15		
K610 2	T41 33 00	肺動脈の場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正	2018/6/22	STEM7を細分化する時の注意点に「肺静脈の場合」とあるが、「肺動脈の場合」の誤りでは	STEM7を細分化する時の注意点を「肺動脈の場合」に修正します。
K610-3	TF5 33 00		STEM7の基本操作を修正	2018/3/15		
K610-4	TF5 33 00		STEM7の基本操作を修正	2018/3/15		
K610-5	TD3 33 00		STEM7の基本操作を修正	2018/3/15		
K611 2	TC1 50 04		STEM7の操作対象部位を修正	2018/3/15		
K611 3	TF5 50 04		STEM7の操作対象部位を修正	2018/3/15		
K611 3	TF5 50 04			2018/4/19	差往査対象部位が「TF5 血管」部位の明示されない血管「動静脈」となっていますが、部位が静脈とはっきりしている場合は、「TF4 血管」部位の明示されない血管「静脈」に変更して入力の方がよろしいのでしょうか。それとも、別表に従って「TF5」で入力すればよろしいのでしょうか。	STEM7は、外保連手術試案に掲載しているもの(厚労省HP別表に掲載している「KコードSTEM7対応表」に掲載しているもの)をご入力ください。STEM7コードはあくまでも代表的、最も一般的に行われている手術内容をコード化しております。部位をより詳細に分けたり、アプローチ補助器械を使った場合、使わない場合に分けたりしたSTEM7コードが本来の正しいコードであるというご指摘は、全くその通りです。ご指摘の「K611 3」につきましては動脈、静脈、腹腔内の3つに精緻化するのが妥当ですので、今後外保連手術委員会内で検討させていただきます。修正が公表されるまでは独自のSTEM7を作成せずに、「KコードSTEM7対応表」に掲載しているコードを記載してください。

別表B K番号STEM7対応表QA及び修正

診療報酬コード	STEM7	STEM7を細分化する時の注意点	修正内容	修正日(回答日)	ご質問	ご質問に対する回答
K611 3	TF5 50 04			2018/4/19	脊椎固定術、切除術 (K142 1、K142 2、K142 3、K142 4、K142 5、K142 6)では、アプローチ補助器械コードが「4」X線透視」となっているが、X線透視を行っていない場合はどのように入力すればよいか。 またナビゲーション支援加算をとっている場合はどのように入力するか。	STEM7は、外保連手術試案に掲載しているもの(厚労省HP別表に掲載している「KコードSTEM7対応表」に掲載しているもの)をご入力ください。STEM7コードはあくまでも代表的、最も一般的に行われている手術内容をコード化しております。アプローチ補助器械を使った場合、使わない場合に分けたSTEM7コードが本来の正しいコードであるというご指摘は、全くその通りです。 ご指摘の「K142 1」等につきましてはX線透視を行う場合が一般的と考えアプローチ補助器械コードを「4」としております。ですのでX線透視を行っていない場合も「KコードSTEM7対応表」に掲載しているC23 38 04あるいは、C43 38 04、C43 38 04から選択してください。 「ナビゲーションシステム」を使用した場合、アプローチ補助器械コードは8が正しいコードというご指摘は、全くその通りです。しかし現在の外保連術式は「ナビゲーションシステム」の使用の有無で術式を精緻化しておりません。「ナビゲーションシステム」を使用した場合でも、「KコードSTEM7対応表」に掲載しているC23 38 04あるいは、C43 38 04、C43 38 04から選択してください。
K614 5	TDG 33 03	下腿、足部動脈の場合		2018/6/22	「下腿、足部動脈の場合」のみアプローチ補助器械が「3」となっている。他は「0」だが正しいのか。	外保連試案術式を担当する主学会が「下腿、足部動脈の場合」の場合だけ、アプローチ補助器械として「DSA」が必要として掲載されています。この部位の場合のみアプローチ補助器械を「3」としてください。
K615 1				2018/4/3	複数部位が関わる手術について:外傷に対する血管塞栓術を内腸骨動脈と、腎動脈に行った場合、保険算定は「K615 1」1つで算定すべきものと考えていますが、STEM7は「内腸骨動脈 T85 20 13」「腎動脈 T81 20 13」になります。2つ入力するのか?それとも腹部の血管としてまとめて「T71 20 13」で一括とするのか?	1つのKコードに対するSTEM7が複数入力できる場合は2つ(今回の場合T85 20 13とT81 20 13)入力してください。ただしシステム上1つしか入力できない場合は、主に行った手術のSTEM7を入力してください。 このように複数部位にまたがる場合については今後の課題にさせていただきます。
K615 3	T11 18 13	上記の血管、出血以外の場合 →上記以外の場合		2018/5/15 5/23修正	内腸骨動脈に対して施行された「K615 3 血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)その他のもの」のSTEM7を教えてください。 QAに「K615 1 血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)止血術」では、内腸骨動脈の場合「T85 20 13」(骨盤部出血あるいは産科出血の場合)とありますが、「K615 3」で内腸骨動脈の場合は、このSTEM7を入力する時の注意点に該当するのでしょうか。	今回のSTEM7を選択する際には、算定したKコードに対してSTEM7が複数ある場合、「STEM7を細分化する時の注意点」から選んでいただくようにしていません。今回の内腸骨動脈に対して行われた場合には「上記以外の場合」になり、STEM7は「T11 18 13」です。 外保連試案では「血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)」では、血管ごとに同じように分類しているのではなく、塞栓術を行う目的、止血術や選択的動脈化学塞栓術、その他に応じて、術式が掲載されており、それに対してSTEM7が振られています。外保連試案をご確認ください(100～102ページ、142ページ、158ページ、194ページ)。

別表B K番号STEM7対応表QA及び修正

診療報酬コード	STEM7	STEM7を細分化する時の注意点	修正内容	修正日(回答日)	ご質問	ご質問に対する回答
K615 3	T11 18 13	上記以外の場合	STEM7を細分化する時の注意点を「上記の血管、出血以外の場合」から「上記以外の場合」に変更	2018/6/22	K615血管塞栓術は 1. 止血術 2. 選択的動脈化学塞栓術 3. その他のもの に分かれています。1. 止血術は「外傷等による動脈損傷が認められる患者に対し、血管塞栓を行った場合に算定する」と限定されていますが、その都道府県によって解釈が異なっているようです。 ①脾動脈瘤破裂に対する血管塞栓術、②結腸憩室出血に対する血管塞栓術の場合にはどのSTEM7を記載したらよいのでしょうか。	①脾動脈瘤破裂に対する血管塞栓術の場合、K615 1で算定できる場合は、STEM7を細分化する時の注意点「脾動脈の場合」より「T7G 20 13」を選択いただき、K615 3でしか算定できない場合は、STEM7を細分化する時の注意点「脾機能亢進症に対して」ならば「T7G 18 13」を、そうでなければ「上記の血管、出血以外の場合」の「T11 18 13」を選択してください。 ②結腸憩室出血に対する血管塞栓術の場合、K615 1で算定できる場合は、STEM7を細分化する時の注意点「腸管または腸間膜出血の場合」より「T7M 20 13」を選択いただき、K615 3でしか算定できない場合は、STEM7を細分化する時の注意点「上記の血管、出血以外の場合」より「T11 18 13」を選択してください。 ですが出血でもK615 3を算定することがあるようなので、STEM7を細分化する時の注意点を「上記の血管、出血以外の場合」から「上記以外の場合」に修正いたします。
K617-5	TE8 15 11		操作対象部位、アプローチ法、アプローチ補助機器を修正	予定		
K634	QAJ 35 11		診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K635-3	QA1 50 10		診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K655-2 1	Q21 11 11	良性の場合	良性の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K655-2 1	Q21 12 11	悪性の単純切除で、通常の腹腔鏡下手術の場合	悪性の単純切除で、通常の腹腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K655-2 1	Q21 12 1R	悪性の単純切除で、ロボット支援下手術の場合	ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K655-2 2	Q21 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合	通常の腹腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K655-2 2	Q21 13 1R	ロボット支援下手術の場合	ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K655-5 1	Q22 11 11	良性の場合	良性の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K655-5 1	Q22 12 11	悪性の単純切除で、通常の腹腔鏡下手術の場合	悪性の単純切除で、通常の腹腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K655-5 1	Q22 12 1R	悪性の単純切除で、ロボット支援下手術の場合	ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K655-5 2	Q22 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合	通常の腹腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K655-5 2	Q22 13 1R	ロボット支援下手術の場合	ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K657-2 1	Q21 12 11	良性および悪性の単純胃全摘で、通常の腹腔鏡下手術の場合	良性および悪性の単純胃全摘で、通常の腹腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K657-2 1	Q21 12 1R	悪性の単純胃全摘で、ロボット支援下手術の場合	ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K657-2 2	Q21 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合	通常の腹腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K657-2 2	Q21 13 1R	ロボット支援下手術の場合	ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K682-4	QA1 16 21	腹腔内膿瘍の場合	STEM7を細分化する時の注意点を追加し、精緻化	2018/10/5	STEM7が①肝胆道系疾患の場合 ②膵管系疾患の場合の2つの選択肢しかありませんが、ハルトマン術後の患者で、直腸が盲端になっており、そこにできた膿瘍(骨盤腔内膿瘍)に対して、超音波内視鏡下でドレナージを行った場合のSTEM7コードがありません。	STEM7を細分化する時の注意点に「腹腔内膿瘍の場合」を追加します。
K682-4	QA1 16 21	腹腔内膿瘍の場合	STEM7を細分化する時の注意点を追加し、精緻化	2018/10/5	内視鏡試案「E11-5M1360 超音波内視鏡下瘻孔形成術(腹腔内膿瘍に対するもの)」の部位コードには「QAE」とありますが、これを用いたSTEM7を用いてよろしいでしょうか。	内視鏡試案の部位コードは「QAH 腹腔・腹壁 腹腔周辺構造・その他 腹腔-腰部」となっていますが、操作対象部位はもう少し広く「QA1 腹腔・腹壁 腹腔」とし、STEM7は「QA1 16 21」としていただきます。 今後内視鏡試案の部位コードと手術コードの操作対象部位を一致させるよういたします。
K697-3 1 イ	Q72 18 11		診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K697-3 1 ロ	Q72 18 07	開腹の場合	診療報酬術式名を修正 STEM7を細分化する時の注意点を追加し、精緻化	2018/4/24 2018/6/22		

別表B K番号STEM7対応表QA及び修正

診療報酬コード	STEM7	STEM7を細分化する時の注意点	修正内容	修正日(回答日)	ご質問	ご質問に対する回答
K697-3 1 口	Q72 18 17	経皮的な場合	STEM7を細分化する時の注意点を追加し、精緻化	2018/6/22		
K697-3 2 イ	Q72 18 11		診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K697-3 2 口	Q72 18 07	開腹の場合	診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K697-3 2 口	Q72 18 17	経皮的な場合	診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K703 2	Q93 13 07	十二指腸温存膵頭切除術の場合	診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K703 2	Q94 13 07	膵頭十二指腸切除術の場合	診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K715 1	Q41 33 24	透視下の場合	STEM7を細分化する時の注意点を追加し、精緻化。アプローチ補助器機を修正	2018/6/22		
K715 1	Q41 33 27	超音波下の場合	STEM7を細分化する時の注意点を追加し、精緻化。アプローチ補助器機を修正	2018/6/22		
K719 3				2018/4/12	結腸悪性腫瘍手術(単純切除)、結腸悪性腫瘍手術(広汎切除)の違いについて教えてください。悪性腫瘍手術について:手術によっては、単純切除か広汎切除によってコードが異なるものがありますが、単純切除と広汎切除の明確な基準はありますか。癌のステージやリンパ節切除などによって決まっているものがあるのでしょうか。それともあくまでも医師の判断によってコードを選択してよいものなのでしょうか。	単純切除はリンパ節郭清を伴わない切除、広汎切除はリンパ節郭清を伴う切除や周囲臓器に浸潤した部分を含めて合併切除を行った場合になります。単純切除か広汎切除の区別のない場合もありますが、その場合には一覧表にあるKコードに対応するSTEM7を入力ください。
K719 3				2018/4/12	「結腸亜全摘又は結腸悪性腫瘍単純切除の場合」と「結腸悪性腫瘍広汎切除の場合」に分けております。S状結腸癌に対してS状結腸切除・所属リンパ節切除を行なった場合は、「結腸悪性腫瘍単純切除」でしょうか？それとも「結腸悪性腫瘍広汎切除」でしょうか？	「結腸亜全摘又は結腸悪性腫瘍単純切除の場合」これは良性疾患で結腸亜全摘を行った場合および悪性腫瘍で結腸悪性腫瘍単純切除(リンパ節郭清を行わない場合)を行った場合で「Q54 11 00」(基本操作が「切除」)になります。「結腸全切除の場合」これは良性疾患で結腸全切除を行った場合で「Q54 12 00」(基本操作が「全切除」)になります。「結腸悪性腫瘍広汎切除の場合」これは悪性腫瘍で結腸悪性腫瘍広汎切除(リンパ節郭清を行った場合)を行った場合で「Q54 13 00」(基本操作が「広汎切除」)になります。
K722	Q54 20 21	部位が結腸		2018/6/22	直腸に対して施行された、小腸結腸内視鏡的止血術(K722)のSTEM7は「Q54 20 21(部位が結腸)」でよろしいでしょうか？	診療報酬では部位別(第1款～第13款)ごとに分類されています。第9款腹部の「胃、十二指腸」に、K654内視鏡的消化管止血術があり、このSTEM7は「Q25 20 21」(操作対象部位は「Q25上部消化管・胃・十二指腸」です。「空腸、回腸、盲腸、虫垂、結腸」に、K722小腸結腸内視鏡的止血術があり、部位が小腸のSTEM7は「Q41 20 21」、部位が結腸のSTEM7は「Q54 20 21」としています。「盲腸」に、内視鏡的止血術のKコードありませんので、盲腸に対する内視鏡的止血術は保険収載されていないこととなります。実際には多くの施設で直腸に対してもK722を算定していると思いますが、保険診療上は結腸に対して行い、そのKコードを請求しましたということとなります。次回、診療報酬改定に向けては「K722小腸結腸内視鏡的止血術」の術式名を「小腸大腸内視鏡的止血術」に変更するように要望する必要があります。そうなればSTEM7も「Q51 20 21」(操作対象部位は「Q51下部消化管・大腸」)と変更しますが、現在では「Q54 20 21」と記載するしかありません。
K725-2	Q41 16 11	部位が小腸	Kコードの術式名を修正し、STEM7は2つに分けます	2018/3/15	K725-2の名称が腹腔鏡下腸瘻、虫垂瘻造設術と異なる。STEM7コードは正しいのかが分からないので精査必要	ご指摘の通りです。Kコードの術式名を修正し、STEM7は2つに分けました。
K725-2	Q52 16 11	部位が虫垂	Kコードの術式名を修正し、STEM7は2つに分けます	2018/3/15	K725-2の名称が腹腔鏡下腸瘻、虫垂瘻造設術と異なる。STEM7コードは正しいのかが分からないので精査必要	ご指摘の通りです。Kコードの術式名を修正し、STEM7は2つに分けました。

別表B K番号STEM7対応表QA及び修正

診療報酬コード	STEM7	STEM7を細分化する時の注意点	修正内容	修正日(回答日)	ご質問	ご質問に対する回答
K725-2				2018/6/22	結腸に対して腸瘻造設が施行された際に、「K725腸瘻、虫垂瘻造設術」「K726人工肛門造設術」のどちらで算定するかわかりにくく、「K725 腸瘻造設術」で算定するとSTEM7を細分化する時の注意点が「部位が小腸」「部位が虫垂」の2つしかなく、結腸がありません。どう対応したらよいでしょうか。	小腸あるいは虫垂に腸瘻を造設した場合には「K725腸瘻、虫垂瘻造設術」、結腸に腸瘻造設が施行した場合は「K726人工肛門造設術」(こちらの方が点数も高く、K939-3人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算の算定も可)で算定します。結腸に腸瘻を造設した場合には「K726人工肛門造設術」で算定しますのでSTEM7は「Q54 16 00」となります。
K735-4	Q41 33 24	部位が小腸	STEM7を細分化する時の注意点を追加し、精緻化	2018/10/5	空腸に対するステント留置術を行いました。選択肢に「空腸」または「その他」がありません。STEM7コードはどのように入力したらよいでしょうか。	STEM7を細分化する時の注意点に「部位が小腸」を追加します。
K737	Q5G 16 00		STEM7の操作対象部位を修正	2018/3/15		
K740-2 1	Q5A 11 11	通常の腹腔鏡下手術の場合	診療報酬術式名を修正。通常の腹腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K740-2 1	Q5A 11 1R	ロボット支援下手術の場合	診療報酬術式名を修正。ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K740-2 2	Q5A 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合	診療報酬術式名を修正。通常の腹腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K740-2 2	Q5A 13 1R	ロボット支援下手術の場合	診療報酬術式名を修正。ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K740-2 3	Q5A 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合	診療報酬術式名を修正。通常の腹腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K740-2 3	Q5A 13 1R	ロボット支援下手術の場合	診療報酬術式名を修正。ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K756	S11 12 00	単純切除の場合	STEM7を細分化する時の注意点を追加し、精緻化	2018/6/22		
K756	S11 13 00	広汎切除の場合	STEM7を細分化する時の注意点を追加し、精緻化	2018/6/22		
K773	S21 12 00	部位が腎で、単純切除の場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正	2018/6/22		
K773	S21 13 00	部位が腎で、広汎切除の場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正	2018/6/22		
K773	S31 12 00	部位が尿管で、単純切除の場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正	2018/6/22		
K773	S31 13 00	部位が尿管で、広汎切除の場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正	2018/6/22		
K773-5	S21 11 1R		ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K793	S31 10 00		診療報酬術式名を修正 腔→腔	2018/4/24		
K803 3	S51 12 00	単純切除の場合		2018/3/15	K803 3の名称が告示と違う	ご指摘の通りです。Kコードの術式名を修正しました。STEM7は修正ありません。
K803 3	S51 13 00	広汎切除の場合		2018/3/15		
K803-2 1	S51 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合	通常の腹腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K803-2 1	S51 13 1R	ロボット支援下手術の場合	ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K803-2 2	S51 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合	通常の腹腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K803-2 2	S51 13 1R	ロボット支援下手術の場合	ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K803-2 3	S51 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合	通常の腹腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K803-2 3	S51 13 1R	ロボット支援下手術の場合	ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K833	S7G 12 00	単純切除の場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正	2018/6/22		
K833	S7G 13 00	広汎切除の場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正	2018/6/22		
K843	S76 11 00	単純切除の場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正	2018/6/22		
K843	S76 13 00	広汎切除の場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正	2018/6/22		
K843-4	S76 13 1R		ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K850-2	S88 11 00		診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K851-2	S82 17 00	外陰血腫の場合	診療報酬術式名を修正 腔→腔	2018/4/24		
K851-2	S88 17 00	腔血腫の場合	診療報酬術式名を修正 腔→腔	2018/4/24		

別表B K番号STEM7対応表QA及び修正

診療報酬コード	STEM7	STEM7を細分化する時の注意点	修正内容	修正日(回答日)	ご質問	ご質問に対する回答
K853 1	S89 35 20	経腔的に行う場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正 腔→腔	2018/4/24		
K853 1	S88 35 00	経腔的以外で行う場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正 腔→腔	2018/4/24		
K854-2	S88 16 20		STEM7の操作対象部位を修正	2018/3/15		
K856-2	S88 10 20		診療報酬術式名を修正 腔→腔	2018/4/24		
K856-3	S88 10 20		診療報酬術式名を修正 腔→腔	2018/4/24		
K856-4	S88 10 20		診療報酬術式名を修正 腔→腔	2018/4/24		
K858 1	S88 35 21		Kコードを修正	2018/3/15	K858 K858-1, K858-2となっているが、ハイフンは不要ではないか	ご指摘の通りです。修正します。
K858 2	S88 35 00		Kコードを修正	2018/3/15	K858 K858-1, K858-2となっているが、ハイフンは不要ではないか	ご指摘の通りです。修正します。
K860	S88 38 00	子宮摘出後に腔固定を行う場合	STEM7を細分化する時の注意点を修正 腔→腔	2018/4/24		
K860-2	S88 30 00	開腹の場合	診療報酬術式名を修正 腔→腔	2018/4/24		
K860-2	S88 30 20	腔式の場合	診療報酬術式名を修正 腔→腔	2018/4/24		
K865 1	S89 30 00		診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K865 4	S89 30 00	開腹の場合	診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K865 4	S89 30 20	腔式の場合	診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K865-2	S89 38 21		診療報酬術式名を修正 腔→腔、「アプローチ補助器械」を「1」に修正	2018/4/24 2018/6/22		
K867-3	S8A 11 20		診療報酬術式名を修正 腔→腔	2018/4/24		
K872-4 2	S89 10 20		診療報酬術式名を修正 腔→腔	2018/4/24		
K877-2	S89 12 11	通常の腹腔鏡下手術の場合	通常の腹腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K877-2	S89 12 1R	ロボット支援下手術の場合	ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K879-2	S89 12 11	単純切除で、通常の腹腔鏡下手術の場合	単純切除で、通常の腹腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K879-2	S89 12 1R	単純切除で、ロボット支援下手術の場合	ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K879-2	S89 13 11	広汎切除で、通常の腹腔鏡下手術の場合	広汎切除で、通常の腹腔鏡下手術の場合はこちらを選択	2018/5/22		
K879-2	S89 13 1R	広汎切除で、ロボット支援下手術の場合	ロボット支援下手術の「アプローチ補助器械」を「R」と新規に設定したため	2018/5/22		
K889	S8C 13 00	広汎切除の場合	広汎切除の場合を追加します	2018/6/22	STEM7を細分化する時の注意点に「単純切除の場合」とあるが、「広汎切除の場合」がない	「広汎切除の場合」を追加しました。
K898				2018/4/12	複雑加算の有無をどのようにSTEM7に反映させるのでしょうか	これら加算の有無によって将来的にはSTEM7も分けなければなりません。現在のところ加算の有無に関係なくKコードに対する対応するSTEM7を入力ください。
K910-2				2019/4/5	「無心体双胎に対するラジオ波焼灼術」が「K910-2内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術」で算定可能となりましたが、STEM7はどれになりますか。	「双胎間輸血症候群にレーザー焼灼術を行った場合」も「無心体双胎に対するラジオ波焼灼術」の場合も、STEM7は同じ「SA7 18 11」になります。
K938	ZZZ 50 90		診療報酬術式名を修正	2018/4/24		
K939-2	ZZZ 50 90		診療報酬術式名を修正	2018/4/24		

ICH I における Extension codes の 概要と日本語対訳

8. Extension codes (use when needed)

Additional information about an intervention can be added by the use of extension codes. Extension codes are of the following types:

- Quantifiers
- Additional descriptive information for interventions
 - Initiating/maintaining/discontinuing
 - Relationship to other interventions/s
 - Unplanned
 - Tissue flaps or grafts
 - Standardisation or structure
 - Use of equipment or challenge
 - Enabling factors for behaviour change
 - Client
 - System level at which intervention directed
 - Creative therapy
 - Specific skills and techniques
 - Other methods
- Topology
 - Laterality
 - Measurement
 - Relational
- Telehealth
- Diagnostic tests
- Additional target
- Additional anatomy
- Medicaments
- Assistive products
- Therapeutic products

A given extension code may be used with any ICHI stem code to which it is applicable. Medicaments, Assistive products and Therapeutic products should be used where relevant with a stem code to describe the intervention. With the exception of telehealth, use of other extension codes is optional.

The ICHI stem code is to be reported first followed by an ampersand '&' followed by the extension code/s. Multiple extension codes are to be separated by '&'.

Syntax: ICHI intervention code&extension code&extension code e.g.:

- For '*Unplanned meniscopectomy of knee, right side*', assign:

MMD.ML.AA&XB03.0&XCA4

Where:

Stem code - MMD.ML.AA Meniscopectomy of knee

Additional descriptive information extension code - XB03.0 Unplanned intervention

Topology extension code for laterality - XCA4 Right

Further information on the use of specific extension codes is provided below.

8. Extension codes (必要時に使用します)

インターベンションにおける追加情報は、**Extension code** を使うことで追加できます。**Extension code** には下記のような項目があります：

- 数
- 付加的な記述、情報
 - 開始/維持/中止
 - 他のインターベンションとの関係
 - 予定外のもの
 - 組織弁または移植片
 - 標準化または構造
 - 機器の使用や試み
 - 行動前提条件
 - クライアント、依頼人
 - 介入が指示されたシステムレベル
 - クリエイティブセラピー
 - 特定のスキルとテクニック
 - その他の方法
- 部位
 - 左右
 - 測定
 - 関連
- テレヘルス
- 診断するためのテスト
- 追加の Target
- 追加の解剖学的情報
- 医薬品
- 補助製品
- 医療材料

Extension code を **Stem code** に付記することで、用いられます。医薬品、補助製品、医療製品については、インターベンションを記述する **Stem code** とともに使用する必要があります。テレヘルスを除いて、他のエクステンションコードの使用は任意です。

Stem code の後に '&' をつけ、その後に **Extension code** が続きます。複数の **Extension code** を付記することが可能で、'&' で区切ります。

構文：**Stem code&Extension code&Extension code**

「計画的に予定された右膝半月板形成術」は、

MMD.ML.AA&XB03.0&XCA4

Stem code - **MMD.ML.AA** 膝半月板形成術

追加情報を記載する **Extension code**：

XB03.0 Planned intervention 待機的介入（手術）

局所解剖学的エクステンションコード：**XCA4 Right** 右

特定のエクステンションコードの使用に関する詳細を以下に記します。

別表 C ICHI における Extension codes の概要と日本語対訳

8.1 Quantifiers

These extension codes are assigned to identify the number of:

- anatomical structures an intervention is performed on
- the same interventions performed in one episode of care
- therapeutic products inserted during an intervention

8.2 Additional descriptive information

Additional 'descriptive' information can be assigned to an ICHI stem code. Definitions, inclusions and excludes are provided as necessary to help explain the use of the extension codes.

Specific guidelines for the application of certain extension codes in this section are provided below:

8.2.1 Use of 'Enabling factors for behaviour change' extension codes

Behaviour change interventions often address factors that influence the behavioural choices people make. This extension code can be used to record additional information concerning the mechanism by which the intervention is intended to bring about change in a health-related behaviour, that is, to describe how the intervention is intended to work².

Examples of use are provided in the table below:

Extension code	Examples
XB07.0 Capability Intervention addressing the psychological and physical capacity required to engage in a behaviour	Community education campaign about immunisation VDA.PM.ZZ&XB07.0 Education to influence immunisation behaviours Counselling for alcohol use VAA.PP.ZZ&XB07.0 Counselling about alcohol use behaviours
XB07. – Opportunity Intervention addressing the social or physical factors that affect how easy or difficult it is to engage in a behaviour	Workplace policy to encourage and support breastfeeding VEH.WJ.ZZ&XB07.1 Policy change concerning breastfeeding behaviours Provision of workplace safety equipment VCB.RD.ZZ&XB07.1 Provision of products or services to support improved workplace safety behaviours
XB07.2 – Motivation Intervention addressing the automatic or reflective mental processes that energize and direct behaviour	Peer support program to help problem gamblers VAE.RE.ZZ&XB07.2 Provision of peer support for gambling behaviours Media campaign to change community attitudes towards domestic violence VBB.PM.ZZ&XB07.2&XB12.1 Media campaign to influence family and partner violence behaviours

8.1 「数」の Extension code

これらの Extension code は、次の数を識別するために付記します。

- 介入が行われる解剖学的構造
- 1 つのエピソードで同じインターベンションが繰り返し行われた
- インターベンション中に挿入された医療材料

8.2 「追加の説明情報」の Extension code

追加の「記述」情報を Stem code に付記することができます。必要に応じて定義、包含、および除外などの追加情報を説明するために、Extension code が使用されます。

特定の Extension code を付記する具体例を下に提示します。

8.2.1 「行動を変える要因を有効にする」 Extension code の使用

行動変化インターベンションは、人々が行う行動の選択に影響を与える要因に対処することがよくあります。この Extension code は、インターベンションが健康関連の行動に変化をもたらすことを意図しているメカニズム、すなわちインターベンションがどのように機能することを意図しているかを説明するためのメカニズムに関する追加情報を記載するために用います。

使用例を以下に示します。

XB07.0 Capability 能力

心理的および身体的に対処するインターベンション、行動に従事するのに必要な能力

例: 予防接種に関する地域教育キャンペーン

VDA.PM.ZZ&XB07.0 予防接種行動に影響を与える教育

例: アルコール使用のカウンセリング

VAA.PP.ZZ&XB07.0 アルコール使用行動に関するカウンセリング

XB07. – Opportunity 機会

社会的または物理的要因に対処するインターベンション

行動に参加するのがどれほど簡単か難しいかに影響します

例: 母乳育児を奨励し支援する職場方針

VEH.WJ.ZZ&XB07.1 母乳育児行動に関する政策変更

例: 職場安全装置の提供

VCB.RD.ZZ&XB07.1 改善された職場の安全行動を支援するための製品、サービスの提供

XB07.2 – Motivation 動機

自動または反射に対処するインターベンション、行動を活性化し指示する精神的プロセス

例: 問題の相場師を助けるための仲間支援プログラム

VAE.RE.ZZ&XB07.2 ギャンブル行動に対するピアサポートの提供

例: 家庭内暴力に対するコミュニティの態度を変えるメディアキャンペーン

VBB.PM.ZZ&XB07.2&XB12.1 家族およびパートナーの暴力行為に影響を与えるメディア
キャンペーン

別表 C ICHI における Extension codes の概要と日本語対訳

8.2.2 Use of ‘System level at which intervention directed’ extension codes

This extension code can be used to describe the level of the social-ecological system at which the intervention is intended to bring about change. While some interventions are aimed directly towards individuals (e.g., education about healthy eating delivered in schools), many are designed to bring about change at higher levels of the social- ecological system – that is, to influence health outcomes for individuals by changing aspects of the interpersonal, organisational, community or political environment in which they live. For example, training teachers to recognise and respond appropriately to bullying within a school environment (an intervention directed at ‘Organisation’ level) can lead to changes in the behaviour of children to reduce bullying.¹

Examples of use are provided in the table below:

Extension code	Examples
<p>XB09.0 – Individual system level the individual person for whom a health benefit is intended</p>	<p>Educational ‘heathy eating’ theatre performance delivered to children VEA.PM.ZZ&XB09.0 Education to influence eating behaviours</p>
<p>XB09.1 – Interpersonal system level the interpersonal environment of the individual including, e.g., members of an informal social network</p>	<p>Social media intervention to raise awareness about illicit drug use issues within a peer group VAC.VB.ZZ&XB09.1 Awareness raising to influence illicit drug use behaviours</p>
<p>XB09.2 – Organisation system level an association of people with a formal structure (e.g., school), including people who hold specific roles or positions within the organisation (e.g., teachers)</p>	<p>Training childcare workers in methods for promoting physical play among children VEB.PH.ZZ&XB09.2 Training to influence physical activity behaviours Installing water coolers in a workplace VEA.TM.ZZ&XB09.2 Environment modification to influence eating behaviours</p>
<p>XB09.3 – Community system level a geographical grouping of individuals (e.g., a district, city, neighbourhood)</p>	<p>Media campaign to increase knowledge about mental health issues VEL.PM.ZZ&XB09.3&XB12.1 Education to influence behaviours related to psychological health and wellbeing Erecting shade structures in a playground VEG.TK.ZZ&XB09.3 Public facilities or infrastructure development to support improved UV radiation exposure behaviours</p>

8.2.2 「介入が指示したシステムレベル」の Extension code

この Extension code は、インターベンションが変化をもたらすことを意図している社会生態学的システムのレベルを記述するために使用できます。いくつかのインターベンションは直接個人を対象としているが（例えば、学校で行われる健康的な食事についての教育）、その多くは社会生態系のより高いレベルで変化をもたらすように設計されている。彼らが住んでいる対人的、組織的、共同体的または政治的環境。例えば、学校環境内でのいじめを認識し、適切に対応するように教師を訓練すること（「組織」レベルでのインターベンション）は、いじめを減らすための子どもたちの行動の変化につながる可能性があります。使用例を以下に示します。

XB09.0 – Individual system level 個別システムレベル

健康上の利益を目的としている個人

例：子供に提供される教育的な「健康的な食事」の演劇パフォーマンス

VEA.PM.ZZ&XB09.0 摂食行動に影響を与える教育

XB09.1 – Interpersonal system level 対人関係システムレベル

以下を含む個人の対人環境

例：非公式のソーシャルネットワークのメンバー

ピアグループ内での違法薬物使用問題についての意識を高めるためのソーシャルメディア介入

VAC.VB.ZZ&XB09.1 違法薬物使用行動に影響を及ぼす意識向上

XB09.2 – Organisation system level 組織システムレベル

正式な構造（学校など）を持つ人々の関連付け

組織内で特定の役割や役職を担っている人（教師など）を含む

例：子供の間で身体的遊びを促進するための方法で保育士を訓練する

VEB.PH.ZZ&XB09.2 身体活動行動に影響を与えるためのトレーニング

例：職場でのウォータークーラーの設置

VEA.TM.ZZ&XB09.2 摂食行動に影響を与えるための環境改変

XB09.3 – Community system level コミュニティシステムレベル

個人の地理的グループ（地区、都市、近隣など）

例：精神衛生問題に関する知識を増やすためのメディアキャンペーン

VEL.PM.ZZ&XB09.3&XB12.1 心理的健康と福祉に関する行動に影響を与える教育

例：遊び場で日陰の構造を建てる

**VEG.TK.ZZ&XB09.3 改善された紫外線照射行動を支援するための公共施設または
インフラ整備**

別表 C ICHI における Extension codes の概要と日本語対訳

<p>XB09.4 – Political system components and/pr representatives of the social system of a given geographical entity</p>	<p>Enactment of legislation to regulate the sale of tobacco products VAB.WC.QD&XB09.4 Restrictions or requirements concerning the sale or distribution of tobacco products—enactment of legislation or regulations</p>
--	---

別表 C ICHI における Extension codes の概要と日本語対訳

XB09.4 – Political system 政治システム

特定の地理的エンティティの社会システムの構成要素および/または代表

例：たばこ製品の販売を規制する法律の制定

VAB.WC.QD&XB09.4 たばこ製品の販売または流通に関する制限または要件

- 法律または規制の制定

8.3 Use of ‘Telehealth’ extension codes

XH01 – Intervention performed with advice or assistance provided from a distant location

Incl. performing intervention with advice provided from a distant location; performing intervention with assistance provided via robotic control from a distant location.

XH02 – Intervention provided to recipient/s in a distant location

Incl. providing intervention directly to a person at a distant location (e.g., telephone counselling); performing intervention via robotic control; advising or assisting local provider to perform intervention.

XH03 – Interventions delivered via technology, without direct involvement of a human provider

Incl. asynchronous eHealth and mHealth interventions, and interventions delivered via websites and health care apps.

Extension codes XH01 and XH02 should be used where the intervention delivered involves telehealth (including telemedicine). Telehealth is defined as follows:

- *Telehealth is the use of information and communications technologies to deliver healthcare.*

Extension code XH01 should be recorded at the health care facility where the individual receiving the intervention is located, not where the distant provider is located.

Extension code XH02 should be recorded at the health care facility where the provider is located, not the location of the distant individual who is receiving the intervention.

Where an intervention is provided to a recipient(s) in a distant location, and there is a health care provider co-located with the recipient(s) who is also involved in provision of the intervention, the intervention may be recorded at both locations (e.g., two different hospitals). In such a case extension code XH02 *must* be used at the location that is distant from the recipient. This provides a mechanism to prevent double counting of the intervention when information across locations is aggregated.

Examples of use are provided below:

8.3 「Telehealth」テレヘルス（遠隔医療を含む）の Extension code

XH01 - 離れた場所から提供された助言または援助を受けてインターベンションが行われる
以下も含む

離れた場所から提供されたアドバイスでインターベンションを実行する。

遠隔地からロボット制御を介して提供される支援を受けてインターベンションを実行する。

XH02 - 離れた場所にいる受け手へのインターベンション

以下も含む

離れた場所にいる人に直接インターベンションを提供する(例えば電話相談)。

ロボット制御によるインターベンションの実行

地元の医療提供者へのインターベンションの助言または支援。

XH03 - 医療提供者の直接の関与なしに技術を介して提供されるインターベンション

以下も含む

非同期の eHealth および mHealth のインターベンション、および Web サイトやヘルスケアアプリを介して提供されるインターベンション。

提供されるインターベンションが遠隔医療(遠隔医療を含む)を含む場合は、Extension code XH01 および XH02 を使用する必要があります。

遠隔医療は次のように定義されます。

・遠隔医療は、医療を提供するための情報通信技術の使用です。

Extension code XH01 は、インターベンションを受けている個人がいる医療機関ではなく、離れた医療提供者がいる医療機関で用います。

Extension code XH02 は、インターベンションを受けている遠隔地の個人の場所ではなく、医療提供者がいる医療施設で用います。

離れた場所にいるレシピエントにインターベンションが提供され、そのインターベンションの提供にも関与しているレシピエントと同じ場所にいる医療提供者がいる場合、その介入は両方の場所で記録することができます。(例:2つの異なる病院)そのような場合は、受診者から離れた場所で Extension code XH02 を使用する必要があります。これは、場所にまたがる情報が集約されたときにインターベンションの二重登録を防ぐためです。

使用例を次ページに示します。

別表 C ICHI における Extension codes の概要と日本語対訳

	Coding at recipient's location	At location distant from recipient
Robotic surgical procedure (e.g., local excision of lesion of breast); local doctor supervises operation; remote doctor operates the controls	LCA.JI.AA&XH01	LCA.JI.AA&XH02
A specialist giving advice to a doctor at a distant location who is performing an intervention (e.g., thrombolysis)	IAA.DB.AF&XH01	IAA.DB.AF&XH02
Provision of tobacco cessation counselling via telephone	–	VAB.PP.ZZ&XH02
Doctor at hospital A conducts a series of mental function tests and sends results to neurologist at hospital B who uses the test results to conduct a neurological assessment	AT1.AC.ZZ	AZZ.AA.AH&XH02

別表 C ICHI における Extension codes の概要と日本語対訳

・「現地の医師の監視のもと、遠隔地の医師が行うロボット支援手術、乳房部分切除術」

乳房部分切除術の Stem code は「LCA.JI.AA - Local excision of lesion of breast」である。現地においては、離れた場所から提供された支援(ロボット支援手術)を受けて行われた医療行為(乳房部分切除術)であり、Extension Code として「XH01 - Intervention performed with advice or assistance provided from a distant location」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「LCA.JI.AA&XH01」となる。

遠隔地の医師は、患者とは離れた場所でロボット支援機器を操作し、乳房部分切除術を行うため、Extension Code として「XH02 - Intervention provided to recipient/s in a distant location」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「LCA.JI.AA&XH02」となる。

・「遠隔地から専門家による助言をもらい、現地の医師が頭蓋内動脈の血栓融解療法を行う」

頭蓋内動脈の血栓融解療法の Stem code は「IAA.DB.AF - Thrombolysis of intracranial artery」である。

遠隔地で現地の医師から受け取った患者の身体情報等を把握した専門医は、現地の医師に血栓融解療法の指示を行っており、Extension Code として「XH02 - Intervention provided to recipient/s in a distant location」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「IAA.DB.AF&XH02」となる。

現地では、離れた場所にいる専門医の助言を受けて血栓融解療法を行っており、Extension Code として「XH01 - Intervention performed with advice or assistance provided from a distant location」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「IAA.DB.AF&XH01」となる。

・「電話での禁煙カウンセリング」

禁煙カウンセリングの Stem code は「VAB.PP.ZZ - Counselling about tobacco use behaviours」である。医師と患者は対面の医療行為でなく、遠隔地の医師が離れた場所にいる患者にカウンセリングという医療行為を提供しており、医師を中心に考えることより Extension Code として「XH02 - Intervention provided to recipient/s in a distant location」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「VAB.PP.ZZ&XH02」となる。現地には医師がいないので、そこで行われた医療行為に ICHI コードはつかない。

・「A 病院の医師が一連の精神機能テストを行い、その結果を B 病院の神経内科医に送る。B 病院の神経内科医はその精神機能テスト結果をもとに神経学的評価を行う」

A 病院(精神機能テストを行った病院)での Stem code は「AS1.AC.ZZ - Test of mental functions」、Extension Code は「なし」で、ICHI コードは「AS1.AC.ZZ」となる。一方、送られたテスト結果をもとに神経学的評価を行った B 病院での Stem code は「AZZ.AA.AH - Neurological assessment」、Extension Code として「XH02 - Intervention provided to recipient/s in a distant location」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「AS1.AC.ZZ&XH02」となる。

8.4 Diagnostic tests

This extension code may be used to record when a diagnostic test is performed on a specimen:

Blood specimen taken for diagnostic testing of haemoglobin levels assign:

PZX.AH.XA&XJ33

Where:

Stem code – PZX.AH.XA Specimen collection, blood

Diagnostic test extension – XJ33 Haemoglobin (Hb)

8.5 Use of 'Additional target' extension codes

This extension code may be used to record an additional ICHI Target category when more than one target is referred to in the clinical statement for the intervention:

- The intervention statement involves more than one anatomical target, e.g.:

For '*Ventriculoperitonostomy*', assign:

AAE.LI.AA&XXKMA

Where:

Stem code - AAE.LI.AA Ventricular shunt

Additional target extension - XXKMA Peritoneum

- For '*Coronary artery bypass graft (CABG) from thoracic aorta to coronary artery*', assign:

HIA.LI.AA&XXHIG&XXHIA

Where:

Stem code - HIA.LI.AA Coronary artery bypass graft

Additional target extensions - XXHIG Aorta, thoracic & XXHIA Coronary artery

- Where a code with the required Action is not available for a specific Target, e.g.:

For '*Test of thermoregulatory function*', assign:

ET2.AC.ZZ&XXETG

Where:

Stem code - ET2 AC ZZ Test of functions of the metabolic and endocrine systems

Additional target extension - XXETG Thermoregulatory function

- To indicate that the application or prescription of a pharmaceutical is in relation to a specific target, an 'Additional Target' extension, e.g. XXKCA liver, may be used with the following codes to indicate where the pharmacotherapy is administered:

PZX.DB.AC Administering pharmacotherapy, per orifice

PZX.DB.AE Administering pharmacotherapy, percutaneous

PZX.DB.AF Administering pharmacotherapy, percutaneous transluminal

PZX.DB.AZ Administering pharmacotherapy, not elsewhere classified

8.4 「診断テスト」の Extension code

検体に対して何の診断目的で行われたかを記録するために使用する。

「ヘモグロビン値を調べるために血液を採取」

血液採取の Stem code は「PZX.AH.XA - Specimen collection, blood」、

これに「ヘモグロビン値を調べるため」という診断目的を明記する。

Extension Code として「XJ33 - Haemoglobin (Hb)」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「PZX.AH.XA&XJ33」となる。

8.5 「追加 Target」の Extension code

これは医療行為が複数のターゲットにまたがる場合に付加する Extension Code である。

・「脳室－腹腔シャント術」

この Stem Code は「AAE.LI.AA - Ventricular shunt」だが、髄液を腹腔内にドレナージするので

Extension Code として「腹腔内」の Target を追加する。「XXKM - Peritoneum」のなかの「XXKMA - Peritoneum and peritoneal cavity」を Stem code の後ろに「&」で連結し、

ICHI コードは「AAE.LI.AA&XXKMA」となる。

・「胸部大動脈－冠動脈吻合による冠動脈バイパス手術(CABG)」

この Stem Code は「HIA.LI.AA - Coronary artery bypass」だが、胸部大動脈と冠動脈をバイパスするので、Extension Code として「XXHIG - Aorta, thoracic」と「XXHIA - Coronary artery」を Stem code の後ろに「&」で連結し、

ICHI コードは「HIA.LI.AA&XXHIG&XXHIA」となる。

・「体温調節機能のテスト」

必要な Action を含むコードが特定の Target で利用できない場合には、次のようになります。

この Stem Code は「ET2.AC.ZZ - Test of functions of the metabolic and endocrine systems 代謝系と内分泌系の機能のテスト」だが、

Extension Code として「XXETG - Thermoregulatory function 体温調節機能」を Stem code の後ろに「&」で連結し、

ICHI コードは「ET2.AC.ZZ&XXETG」となる。

・医薬品の適用または処方が特定の標的に関連していることを示すために、「追加 Target」を用います。例えば 肝臓の XXKCA は、薬物療法が行われる場所を示すために次のコードと一緒に使用されることがあります。

PZX.DB.AC 経口的薬物療法の管理

PZX.DB.AE 経皮的薬物療法の管理

PZX.DB.AF 経皮経管的薬物療法療法の管理

PZX.DB.AZ 薬物療法の管理、他に分類されないもの

8.6 Use of 'Additional anatomy' extension codes

The following steps should be followed when deciding on whether an 'additional target' or 'additional anatomy' extension code is to be assigned to provide further anatomical detail to an existing stem code:

Step 1: Firstly, check additional target extension code and assign if one exists

Step 2: Then, if extension from additional target is not available as per step 1, assign an extension code from additional anatomy

For example: To record further detailed anatomy not covered by an additional target category, an extension code from 'Additional anatomy' may be assigned e.g.:

- For '*Reconstruction of the volar intercarpal ligaments of the hand*', assign:

MGL.ML.AA&XA47N4

Where:

Stem code - MGL.ML.AA Reconstruction of ligaments and fascia of hand and fingers

Additional anatomy extension - XA47N4 Volar intercarpal ligaments

ICHI includes the same list of Additional anatomy as ICD-11, and the lists will be maintained together.

8.7 Use of 'Medicament' extension codes

Where an intervention includes use of a medicament or chemical, the substance may be described using a Medicament extension code.

ICHI includes the same list of Medicament codes as in ICD-11, and the lists will be maintained together.

8.8 Use of 'Assistive products' extension codes

To record further information regarding an assistive product in association with an intervention, an extension code from 'Assistive products' may be assigned, e.g.:

- For '*Provision of hearing aids (digital)*', assign

UAF.RD.ZZ&XP305.01

Where:

Stem code - UAF.RD.ZZ Provision of products and technology for communication

Assistive products extension - XP305.01 Hearing aids (digital) and batteries

At present, ISO 9999 codes are not available for use as part of ICHI.

8.6 「追加の局所解剖」の Extension code

Stem code に、さらなる解剖学的詳細を記述するために「追加 Target」または「追加の局所解剖」の Extension code を付記するかは、以下の手順に従う必要があります。

ステップ 1: まず「追加 Target」の Extension code を確認し、ある場合はこれを付記します。

ステップ 2: 次に、ステップ 1 の「追加 Target」の Extension code が確認できない場合、「追加の局所解剖」を付記します。

例: 「追加 Target」カテゴリに含まれないより詳細な解剖学的構造を記録するために、「追加の局所解剖」からの Extension code を付記することができます。

・「手の掌側骨間靭帯の再建術」

この Stem Code は「MGL.ML.AA - Reconstruction of ligament and fascia of hand or finger」だが、手・手指の靭帯のなかの掌側手根骨間靭帯を再建するので、Extension Code として「XA47N4 Volar intercarpal ligaments」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「MGL.ML.AA&XA47N4」となる。

ICHI の「追加の局所解剖」は、ICD-11 と同じリストであり、それらのリストはまとめて管理されます。

8.7 「医薬品」の Extension code

インターベンションが医薬品または化学物質の使用の場合、「医薬品」の Extension code を付記します。

ICHI の「医薬品」は ICD-11 と同じ医薬品コードであり、それらのリストはまとめて管理されます。

8.8 「補助製品」の Extension code

インターベンションに関連して補助製品に関するさらなる情報を記録するために、「補助製品」の Extension code を付記します。

・「補聴器の提供(デジタル)」

この Stem Code は「UAF.RD.ZZ - Provision of products and technology for communication」(コミュニケーションのための製品と技術の提供)だが、補聴器を使ってコミュニケーションをとる場合には Extension Code として「XP300 - Assistive products and technology for communication」のなかの「XP305.01 - Hearing aids (digital) and batteries」を Stem code の後ろに「&」で連結し、ICHI コードは「UAF.RD.ZZ&XP305.01」となる。

なお障害者が使用する用具、機器に関する分類コードには障害者のためのテクニカルエイドの分類コード(ISO9999 コード)が広く用いられているが、これを ICHI コードの一部として使用することは現在許可されていない。

8.9 Use of 'Therapeutic products' extension codes

To record further information regarding a therapeutic product in association with an intervention, an extension code from 'Therapeutic products' may be assigned e.g.:

- For 'Insertion of bone anchoring conduction hearing device', assign:

CBA.DN.AC& XTA03.02

Where:

Stem code - CBA.DN.AC Implantation of internal device in middle ear, not elsewhere classified

Therapeutic products extension - XTA03.02 Bone anchoring system

8.10 Combining extension codes

Logically combined extensions should be grouped using round brackets (), with multiple use of these brackets being used to group 'groups' of extension codes.

Syntax: ICHI stem code&(extension code&extension code)&(extension&extension code)

Example 1: For '*Coronary artery bypass graft (CABG) to left diagonal coronary artery and right circumflex coronary artery*', assign:

- **HIA.LI.AA&(XCA3&XA2DD2)&(XCA4&XA4YJ3)**

Where:

Stem code - HIA.LI.AA Coronary artery bypass is combined with:

Topology extension - XCA3 Left

Additional anatomy extension - XA2DD2 Diagonal artery

and

Topology extension - XCA4 Right

Additional anatomy extension - XA4YJ3 Circumflex artery

8.9 「医療材料」の Extension code

インターベンションに関連して医療材料に関するさらなる情報を記録するために、「医療材料」の Extension code を付記します。

・「埋込型骨導補聴器移植術」

この Stem Code は「CBA.DN.AC - Implantation of internal device in middle ear, not elsewhere classified」(中耳の内部装置の移植、他に分類されていないもの)だが、医療材料として骨導補聴器を使う場合には Extension Code として「XT03 - Ear」のなかの「XT03.02 - Bone anchored hearing system」を Stem code の後ろに「&」で連結し、
ICHI コードは「CBA.DN.AC&XT03.02」となる。

8.10 Extension code を組み合わせる

論理的に組み合わせられた Extension code は、丸括弧()を使用してグループ化します。これらの括弧を複数回使用します。

構文: ICHI Stem code & (Extension code & Extension code) & (Extension code & Extension code)

例 1: 「左冠状動脈と右回旋冠状動脈への冠状動脈バイパス移植術 (CABG)」は、次のようになります。

Stem code は「HIA.LI.AA 冠状動脈バイパス術」は以下の Extension code と組み合わせられます:

Topology の Extension code - XCA3 左

「追加の局所解剖」の Extension code - XA2DD2 対角線動脈

そして

Topology の Extension code XCA4 Right に医療材料に関するさらなる情報を付記するために、「医療材料」の Extension code を付けます。

HIA.LI.AA & (XCA3 & XA2DD2) & (XCA4 & XA4YJ3) となります。

9. Interventions performed together

Situations will occur in which more than one ICHI intervention is delivered together in one treatment session. If a patient receives two or more independent interventions on the same date, or on different dates, they are not to be reported as interventions performed together. The syntax to be used for interventions performed together is described below.

9.1 Slash '/'

Where interventions are performed together and are represented by ICHI stem codes only, the first stem code should be separated from the second stem code by a slash "/".

Syntax: ICHI stem code/ICHI stem code

- Example 1: For '*Partial oesophagectomy with gastrostomy*', as per the 'code also' instruction assign:

KBA.JJ.AA/KBF.LI.AA

Where:

KBA.JJ.AA Partial oesophagectomy

KBF.LI.AA Gastric bypass

- Example 2: For '*Training in eating and drinking*', assign:

SMF.PH.ZZ/SMG.PH.ZZ

Where:

SMF.PH.ZZ Training in eating

SMG.PH.ZZ Training in drinking

- Example 3: For '*Educational theatre performance about alcohol and illicit drug use*', (a health promotion intervention), assign:

VAA.PM.ZZ/VAC.PM.ZZ

Where:

VAA.PM.ZZ Education to influence alcohol use behaviours

VAC.PM.ZZ Education to influence illicit drug use behaviours

ICHI stem codes that have associated extension codes may also be performed together. In such cases the syntax for recording extension codes should be used, as described in Section 8, using '&' and logically combined extensions grouped using '()'. Each stem code with its associated extension code/s can then be clustered using '/'.

9 一緒に行われた介入

1 回の治療セッションで複数の ICHI が一緒に行われる状況が発生します。患者が同じ日または異なる日に 2 つ以上の独立したインターベンションを受けた場合、それらは一緒に行われた介入として報告されるべきではありません。

一緒に行われたインターベンションに使用される構文は以下の通りです。

9.1 スラッシュ「/」

インターベンションが同時に実行され、ICHI Stem code のみで表される場合は、最初の Stem code と 2 番目の Stem code をスラッシュ「/」で区切ります。

構文: ICHI Stem code / ICHI Stem code

・例 1: 「胃瘻造設術を伴う部分食道切除術」の場合

KBA.JJ.AA / KBF.LI.AA

(KBA.JJ.AA 部分食道切除術、KBF.LI.AA 胃バイパス)

・例 2: 「飲食に関するトレーニング」の場合

SMF.PH.ZZ / SMG.PH.ZZ

(SMF.PH.ZZ 食事トレーニング、SMG.PH.ZZ 飲酒トレーニング)

・例 3: 「アルコールと違法薬物の使用に関する教育演劇の公演」(健康増進の介入)の場合

VAA.PM.ZZ / VAC.PM.ZZ

(VAA.PM.ZZ アルコール使用行動に影響を与える教育、VAC.PM.ZZ 薬物使用行動に影響を及ぼす教育)

関連する Extension code を持つ ICHI Stem code も一緒に記載することができます。このような場合は、セクション 8 で説明したように、「&」を使用して Extension code を記載するための構文を使用し、「()」を使用してグループ化された拡張機能を使用します。関連付けられた Extension code を含む各 Stem code は、「/」を使用してクラスタ化できます。

別表 C ICHI における Extension codes の概要と日本語対訳

Syntax: ICHI stem code&extension code/ICHI stem code&extension code&extension code

- Example 1: for '*Percutaneous transluminal angioplasty of left lower leg artery and percutaneous transluminal angioplasty of right lower leg artery with insertion of two stents*', assign:
IFA.LG.AF&XCA3/IFA.LH.AF&XAC4&XT01.24
Where:
Stem code - IFA.LG.AF Percutaneous transluminal angioplasty of artery of lower limb
Topology extension - XCA3 Left
Stem code - IFA.LH.AF Dilatation with insertion of stent or prosthesis of artery of lower limb
Topology extension - XCA4 Right
Therapeutic product extension - XT01.24 Endovascular stent
- Example 2: For '*Assisting and leading skills for mobility of hand and finger joints and exercises for muscles of the hand*', assign
MTB.PG.EC&XB11.5&XXMGJ/MUB.PG.EA&XB11.3&XXMGM
Where:
Stem code - MTB.PG.EC Assisting and leading movement skills exercise for mobility of joint functions
Additional descriptive extension – XB11.5 Movement techniques
Additional target extension - XXMGJ Joint of hand and fingers
Stem code - MUB.PG.EA Assisting and leading strength exercise for muscle power functions
Additional descriptive extension – XB11.3 Strength techniques
Additional target extension - XXMGM Muscle of hand

別表 C ICHI における Extension codes の概要と日本語対訳

構文: ICHI Stem code & Extension code / ICHI Stem code & Extension code & Extension code

・例 1: 「2 本のステントを挿入した左下肢動脈の経皮経管的血管形成術および右下肢動脈の経皮的経管的血管形成術」の場合

IFA.LG.AF と XCA3 / IFA.LH.AF と XCA4 と XT01.24

Stem cod - IFA.LG.AF 下肢動脈の経皮経管的血管形成術

- ・Topology の Extension code - XCA3 左
- ・Stem cod - IFA.LH.AF ステント挿入による拡張または下肢動脈のプロテーゼ
- ・Topology の Extension code - XCA4 Right
- ・「医療材料」の Extension code - XT01.24 血管内ステント

・例 2: 「手と指の関節の可動性に関する手助けと指導のスキルと手の筋肉の運動」の場合

MTB.PG.EC & XB11.5 & XXMGJ / MUB.PG.EA & XB11.3 & XXMGM

Stem cod - MTB.PG.EC 関節機能の可動性のための運動スキルの支援および指導

- ・「追加の説明情報」の Extension code - XB11.5 移動テクニック
- ・「追加 Target」の Extension code - XXMGJ 手と指の関節
- ・Stem cod - MUB.PG.EA 筋力機能のためのアシストおよび指導筋力トレーニング
- ・「追加の説明情報」の Extension code - XB11.3 強度テクニック
- ・「追加 Target」の Extension code - XXMGM マッスルオブハンド

公衆衛生上のインターベンションの場合、単一の ICHI ステムコードを使用しても適切に把握できない。インターベンションの内容を完全に伝達するために、必要に応じて上記の規則を使用する。

10. Packages of interventions

In some circumstances several interventions may be combined as a package. For example, a rehabilitation program may include a selection of interventions to be provided by a range of providers and disciplines.

Packages of interventions are reported using '+' between interventions. Each intervention may include extension codes.

Syntax: ICHI stem code&extension code + ICHI stem code&extension code&extension code

- Example 1: Rehabilitation program for a hand injury
MTB.PG.ZZ&XB11.5&XXMGJ+MUB.PG.ZZ&XB11.3&XXMGM+SIA.PN.ZZ&XB12.0+SIG.PH.ZZ
i.e., 'Assisting and leading movement skills exercise for mobility of joint functions; hand and fingers'
AND 'Assisting and leading strength exercise for muscle power functions; hand' AND 'Ergonomics
advising for lifting and carrying AND Training in fine hand use'
- Example 2: for a school-based health promotion initiative to improve sun protection behaviours of students that involves (i) erecting shade structures in the playground, (ii) providing students with hats, and (iii) running an education session for parents, assign:
VEG.TM.ZZ&XB09.2+VEG.RD.ZZ&XB09.0+VEG.PM.ZZ&XB09.1
i.e., Environment modification to influence UV radiation exposure behaviours; system level:
'organisation' AND 'Provision of products or services to support improved UV radiation exposure
behaviours'; system level: 'individual' AND 'Education to influence UV radiation exposure
behaviours'; system level: 'close interpersonal'

別表 C ICHI における Extension codes の概要と日本語対訳

10 インターベンションのパッケージ

状況によっては、いくつかのインターベンションを 1 つのパッケージとして組み合わせることができます。例えば、リハビリテーションプログラムは、ある範囲の医療提供者および専門分野によって提供されるべきインターベンションの選択できます。

インターベンションのパッケージはインターベンション間に「+」を使用して記載します。各インターベンションには Extension code を含むことがあります。

構文: ICHI Stem code & Extension code + ICHI Stem code & Extension code & Extension code

・例 1: 「手の怪我のためのリハビリテーションプログラム」の場合

MTB.PG.ZZ&XB11.5&XXMGJ + MUB.PG.ZZ&XB11.3&XXMGM + SIA.PN.ZZ&XB12.0 + SIG.PH.ZZ

すなわち「関節機能の可動性のための運動スキルの支援および指導」、「手と指および「筋力機能のための筋力運動の補助と指導」、「エルゴノミクスは、持ち上げて持ち運ぶことをお勧めしする、細かい手の使用でのトレーニング」

・例 2: 生徒の日焼け防止行動を改善するための学校ベースの健康増進イニシアチブで、(i) 遊び場に日よけ構造を組み立てる、(ii) 生徒に帽子を配る、(iii) 保護者のための教育セッションを実施割り当てます:

VEGTM ZZ&XB09.2 + VEG RD ZZ&XB 09.0 + VEG PM ZZ&XB 09.1

すなわち、紫外線照射挙動に影響を与えるための環境改変。システムレベル: 「組織」および「改善された紫外線照射行動を支援するための製品またはサービスの提供」。システムレベル: 「個人」および「紫外線曝露行動に影響を与えるための教育」。システムレベル: 「対人関係」をつなげます。

ICHI Granularity の概要と日本語対訳

別表 D ICHI Granularity の概要と日本語対訳

ICHI has been developed to meet defined use cases as described in the introduction to ICHI, which can be seen on the ICHI Beta-2 2018 Platform.

The ICHI use cases include:

Countries with no classification of health interventions

Some developed countries have constructed national classifications of health interventions, or adopted one from another country. However, many countries, particularly countries with less developed health systems, currently have no classification.

These countries lack the basic infrastructure to collect information on what is being done at the various levels of their health systems, with consequent adverse impacts on planning, quality and resource allocation.

Countries wishing to redevelop their national classification using ICHI

... Countries or organisations seeking to redevelop their classification of health interventions would be able, subject to a WHO licence, to extend ICHI by expanding particular ICHI interventions into more detailed sets of interventions. All interventions developed would need to be made available to WHO for use in ICHI as appropriate.

ICHI has **not** been designed to be a replacement classification for countries which have established classifications of medical and surgical interventions.

The granularity of ICHI has been designed to meet the two quoted use cases. The result is that the ICHI Beta-2 2018 version contains approximately 7,000 interventions, and the granularity is less than in many existing national classifications; the exception is ICD-9-CM Volume 3 which was used in the original design of ICHI content.

ICHI contains a large number of inclusion terms linked to axis categories and stem codes. These include synonyms for intervention titles. Inclusion terms provide a ready mechanism for locating the applicable ICHI stem code – they are utilised for this purpose in the current ICHI platform search tool and work very effectively. It is anticipated that further inclusion terms will progressively be added to improve search effectiveness.

ICHI は、「Introduction」に記載されているように、定義されたユースケースを満たすために開発されました。現在は ICHI プラットフォーム*には、暫定版である ICHI Beta-2 2018 が見ることができます。

*ICHI プラットフォーム <https://mitel.dimi.uniud.it/ichi/>

ICHI の使用例は次のとおりです。

保健介入の分類がない国

いくつかの先進国は、それぞれの国で保健・医療関連行為に関する分類を構築しているか、あるいは別の国からのものを採用しています。しかし、特に保健のシステム開発が進んでいない多くの国では、そのような分類を持っていません。

そのような国では、医療制度のさまざまなレベルで何が行われているかに関する情報を収集するための基盤となるインフラが整備されていないため、計画、品質、および資源配分に悪影響を及ぼします。

ICHI を使用してそれぞれの国での保健・医療関連行為に関する分類を再開発したい国

保健・医療関連行為に関する分類を再開発しようとする国や組織は、WHO のライセンスの下に、特定の ICHI のインターベンションを用いることで、より詳細な保健・医療関連行為のセットを作成することが可能になるでしょう。開発されたすべてのインターベンションは、適切な ICHI の使用のために WHO が入手可能な状態にする必要があります。

ICHI は、医療および外科的インターベンションの分類を確立している国において、これの代替りの分類になるようには設計されたものではありません。

ICHI の粒度は、2 つの引用されたユースケースを満たすように設計されています。その結果、ICHI Beta-2 2018 には約 7,000 件のインターベンションが含まれており、粒度はこれまでにある多くの国の分類よりも粗くなっています。例外は ICHI の元となった ICD-9-CM Volume 3 ですが。

ICHI には、軸のカテゴリと stem code にリンクされた、多数の Inclusion Terms (包含用語) が含まれています。ここにはインターベンションタイトルの同義語が含まれます。Inclusion Terms があるので、ICHI Stem code を探すことができます—ICHI プラットフォームの検索ツールで使われ、とても有効に機能しています。今後、検索機能を充実させるために、Inclusion terms が徐々に追加されることが予想されます。

別表 D ICHI Granularity の概要と日本語対訳

As ICHI content has been developed, extension codes have been added to enable users to add more detail to ICHI stem codes. As well, coding rules have been developed to allow multiple targets to be recorded for a given intervention. These developments have removed the need for the use of additional digits in intervention codes, such as has been used in the French classification *Classifications Commune des Actes Medicaux (CCAM)*. Digits were added to stem codes in early ICHI content development. They were dropped as it was realised that the use of extension codes would provide an alternative and more informative path for capturing additional information.

Large numbers of comments on ICHI content have been received through the ICHI Platform and via other feedback. Many comments have resulted in new inclusion terms as well as additional stem codes to reflect new approaches (via Means axis) for some of the existing interventions. The addition of new interventions has been necessary in some cases, but the overall granularity of ICHI has not been significantly increased through this process.

Adding additional detail in national adaptations of ICHI

The ICHI Development Group has recognised that countries may wish to use ICHI as the base for a redeveloped national interventions classification and, at the same time, retain the level of granularity of their existing national classification. It would be possible to base a redeveloped classification on the ICHI structure so that all codes in their national system can be mapped back to an ICHI code.

On the other hand, extension of ICHI may be preferred. The Group has discussed various methods to achieve this, including

- the use of national extension codes in addition to ICHI extension codes, and
- adding national detail to ICHI extension codes.

An example of an additional national extension code would be the setting for an intervention. There is no international standardisation of setting descriptions, but countries may have a standard set of descriptors (eg, general practice, community clinic, stand-alone day surgery, outpatient clinic, emergency room).

別表 D ICHI Granularity の概要と日本語対訳

ICHI のコンテンツが開発されるのにつれて、ユーザーが ICHI の Stem code に詳細を追加できるように Extension code が追加されました。これにより、インターベンションに複数の Target を記録できるようにコーディングルールが開発されています。これらの進歩により、フランス分類 CCAM (Classifications Commune des Actes Medicaux) で使用されているようなインターベンションコードの数字の追加使用の必要性がなくなりました。初期の ICHI コンテンツ開発では、数字が Stem code に追加されていました。Extension code を使用することで、追加の情報を捕らえるための代替的でより有益な方法が提供されることがわかったので、それらは削除されました。

ICHI のコンテンツに関する多くのコメントが ICHI プラットフォームおよび他のフィードバックを通じて寄せられました。多くのコメントは、既存のインターベンションに新しいアプローチ方法 (Means として) を反映するために、新しい Inclusion Terms を追加したり Stem code の追加をしたりすることが必要となりました。このようにして新しいインターベンションの追加が必要となったが、このプロセスを通じても ICHI の全体としては、粒度は大幅に増加していません。

National extension code (それぞれの国で作成した ICHI の追加情報)

ICHI 開発グループは、ICHI を元にそれぞれの国での保健・医療関連行為に関する分類が再開発されることを望んでおり、同時に既存の保健・医療関連行為に関する分類の粒度のレベルを維持したいと考えています。そのためには ICHI 構造に National extension code を取り入れることで、それぞれの国での保健・医療関連行為に関する分類コードと ICHI コードをマッピングすることが可能となっています。

一方で、ICHI 自体を増やす方が望ましいかもしれない。ICHI 開発グループは、これらの問題を解決するために以下の議論しています。

- ICHI Extension code に加えて、National extension code を使用
- ICHI Extension code に National extension code を追加

National extension code を用いるのは、インターベンションの設定のためです。どのように設定するかは国際標準化はありませんが、作成する国は標準的な記述子のセット (例: 一般練習、コミュニティクリニック、日帰り手術、外来診療所、救急室) があります。

別表 D ICHI Granularity の概要と日本語対訳

Such an extension code could be described using the syntax YCCXnn, where Y indicates a national extension code, CC represents a country code, X the specific country extension code, nn the extension code values.

Example

Closed reduction of nose in emergency room

MAE.LD.AH – stem code from ICHI

Y01 – national extension + Country code

XER – emergency room national extension code

Code would look like:

MAE.LD.AH&Y01XER

Such extension codes could be added to an ICHI Foundation, and so be available for adoption in other countries. A simplifying possibility for internal country use would be the syntax (Xnn), where the brackets denote a national extension code. National extension codes would be linked to a stem code and other extension codes using the standard link syntax '&'.

The second method is adding additional detail to ICHI extension codes. For example, ICHI contains the Therapeutic Product extension code XT05.01 Lens. To distinguish a folding from a rigid lens, an extra digit could be added in brackets, with values 1 or 2: XT05.01(1) Folding Lens. If it was desired to include extensions of this type in an ICHI Foundation, an appropriate syntax would be needed.

別表 D ICHI Granularity の概要と日本語対訳

そのような Extension code は、構文 YCCXnn を使用して記述します。Y は National extension code であることを、CC は国別コードを、X は特定の国内拡張コードを、nn は拡張コード値を表します。

例

鼻骨の非観血的整復術

MAE.LD.AH — ICHI の Stem code

Y01 — National extension code であること+国番号 01

XER — 救急室で行われたインターベンションの国内コード

以上のものを用いて、コードは次のようになります。

MAE.LD.AH&Y01XER

そのような Extension code は、ICHI ファウンデーションに追加することができ、他の国でも採用することが可能となります。それぞれの国での使用する際、(Xnn) で示す括弧内の構文は National extension code であり、簡略化できる可能性があります。National extension code は、ICHI の通常の Extension code と同様 '&' を用いて、Stem code や Extension code と同様に連結できます。

2 番目の方法は、ICHI Extension code における詳細コードを追加することです。例えば、ICHI には治療用製品の Extension code「XT05.01 Lens」があります。このレンズを、折りたたみと剛性レンズとに区別するために、(1)または(2)を Extension code の後ろに追加することができます。折りたたみレンズの場合には「XT05.01(1)」として。このような National extension code は、ICHI ファウンデーションに登録する場合は、適切な構文が必要となります。

Conclusion

ICHI use cases, established early in the ICHI development process, have led to the existing level of granularity in ICHI. It would not be desirable to significantly increase the granularity of ICHI. Brief reasons include:

- The practical consideration of maintaining the classification – the more granular it is, the harder to maintain
- Ability to map from existing national classifications to ICHI – the more granular, the less likely that satisfactory maps from existing classifications will be possible
- Greater granularity will tend to reduce reliability (coding consistency)
- A highly detailed classification would tend to have lower utility for countries presently without a classification.

Over time, additional granularity may be added to ICHI through the updating process, based on specific arguments at the time and considered against all the use cases.

結論

ICHI の粒度は、ICHI 開発プロセスの早い段階から現時点にもものと同じレベルです。ICHI の粒度を大幅に細かくすることは望ましくありません。その理由は以下の通りです。

- 分類を維持するための実際の配慮 — より細かいと保守が困難になります。
- 現在使われている各国の保健・医療関連行為に関する分類と ICHI とのマッピング — 細かすぎると、満足のいくマッピングができなくなります。
- 粒度を荒くすると、信頼性(コーディングの一貫性)が低下する傾向があります。
- 高度に細分化された分類では、現在保健・医療関連行為に関する分類を持たない国では利用価値が低くなってしまいます。

時間の経過とともに、具体的な議論に基づいて、すべてのユースケースに対して ICHI は考慮され、追加される可能性がありますので、今後はその更新プロセスを通じて粒度は変化していくと考えています。

別紙 4

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Izutsu M., Kawase H	Comparing ICHI to the Japanese health intervention classifications	WHO Collaborating Centre for the Family of International Classifications (FIC) in the Netherlands.; Newsletter on the WHO-FIC	Volume14, Number 1	6-8	2016
川瀬弘一、 岩中 督、 大江和彦	WHO-FIC医療処置手術コード標準化の動向と外保連手術コードSTEM 7との比較	医療情報学	Nov;38 (Suppl.)	28-30	2018
川瀬弘一	医療行為の国際分類 (ICHI) の動向について	保健医療科学	67(5)	499-507	2018